

奪フカ如キハ放肆ノミ擅縦ノミ邪侈淫逸ノミ豈真ノ自由ナランヤ  
自由權ハ法律ノ保護スル所ナリ各人ハ法律ノ保護ニ依リテ安全ニ其ノ自由ヲ享  
有スルコトヲ得而シテ法律カ各人ノ自由ヲ保護スルハ必ス他人ノ自由ヲ侵犯セ  
ス及公益ヲ害セサルノ範圍内ニ於テス故ニ各人ハ偏ニ法律ノ制限ノ範圍内ニ於  
テ自由ヲ享有スルモノニシテ絶對無限ニ之ヲ享有スルコトヲ得ルモノニハ非サ  
ルナリ自由權ノ中特ニ憲法ニ於テ保障スルモノアリ憲法ニ於テ自由權ヲ保障ス  
ルハ必ス國會ノ協賛ヲ經タル法律ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ制限スルコト能ハ  
サルノ義ヲ示スモノナリ乃チ法律ヲ以テスト雖モ此種ノ自由權ヲ全然剝奪スル  
コトハ決シテ爲シ能ハサル所ナリ若シ之ヲ爲サンカ是レ法律ヲ以テ憲法ヲ變更  
スルモノナリ故ニ憲法ヲ改廢スルニ非サルヨリハ其ノ保障スル自由權ヲ人民ヨ  
リ奪ヒ去ルコト能ハサルナリ是レ憲法ノ保障ノ極メテ重スヘシト爲ス所以ナリ  
自由權ハ之ヲ大別シテ有形的自由權無形的自由權有形的及無形的自由權ノ三種  
ト爲スコトヲ得ヘシ有形的自由權トハ人身自由ノ權居住來往自由ノ權住所安固  
ノ權信書秘密ノ權ノ類是ナリ無形的自由權トハ思想自由ノ權信教自由ノ權言論

出版自由ノ權ノ類是ナリ有形的及無形的自由權トハ集會結社自由ノ權遺言自由  
ノ權契約自由ノ權職業自由ノ權ノ類是ナリ今略左ニ此等ノ權利ヲ論列スヘシ

(一) 人身自由ノ權

我カ帝國憲法第二十條ニ曰ク日本臣民ハ法律ニ依ルニ非スシテ逮捕監禁審問處  
罰ヲ受クルコトナシト是レ即チ人身自由ノ權利ヲ保障スルモノナリ昔シハ官吏  
カ其ノ私情ニ任シテ故ナク無辜ノ民ヲ拘禁處罰シタルコト往々ニシテ之アリシ  
所ナレトモ今ヤ文明ノ恩賜ニ依リ人民ハ法律ニ規定セル場合ニ於テ法定ノ手續  
ニ依ルニ非サレハ決シテ其ノ身體ノ自由ヲ拘束セラルコトナキニ至レリ故ニ  
官吏カ不法ニ人ヲ逮捕監禁シタルトキハ刑法ニ於テ重ニ從テ之ヲ處罰ス(刑二七  
八條乃至二八〇條)獨リ官吏ノミ然リト爲スニ非スシテ乃チ私人ト雖モ擅ニ人ヲ  
逮捕監禁シタルトキハ亦刑法上ノ制裁ヲ免ルコト能ハサルナリ(刑三二二條)乃  
至三二五條)審問ハ裁判官之ヲ行フヲ以テ本則トス審問ニハ拷問掠治ノ方法ヲ用  
弗ルコトヲ許サス若シ之ヲ用弗ルトキハ罰アリ(刑二八二條)刑訴九四條)而シテ處  
罰ニ至リテハ法律ニ正條アルニ非サレハ何等ノ所爲ト雖モ之ヲ罰スルコトヲ得



ス法律ノ正條ニ依ラサル裁判ハ無効タリ(刑二條刑訴二六九條)是レ皆憲法ノ大旨ニ副フテ人身自由ノ權利ヲ保護スル所以ナリ官吏又ハ私人カ不法ニ人ヲ逮捕監禁シタルトキハ獨リ刑事上ノ責任ヲ生スルノミナラス又民事上ノ責任ヲ生シ即チ被害者ニ對シテ損害ノ賠償ヲ爲サルヘカラサルナリ(民七〇九條七一〇條)人民ハ法律ニ依リテ構成設置セラレタル裁判官ノ裁判ヲ受クルノ權ヲ有スルカ如キモ亦人身自由ノ權利ヲ保護スルノ一端タリ故ニ人民ハ獨立司直ノ官府タル裁判所ニ就キテ其ノ權利ノ保護ヲ受クルコトヲ得ヘシ權勢家カ或ル一種ノ人ヲ中傷センカ爲メニ臨時ノ裁判若クハ委員ノ類ヲ設ケテ偏私ノ裁判ヲ爲サシムルカ如キハ憲法ノ嚴禁スル所ナリ(憲二四條)

(二) 居住來往自由ノ權

昔シハ封建ノ世諸藩各其ノ疆域ヲ劃シ藩民ノ他藩ニ移轉スルコトヲ許サズ靈智ノ人類ヲシテ殆ト植物ト其ノ類ヲ同フセシメタルハ背理ノ最モ甚タシキモノナリ故ニ文明國ニ於テハ人民ヲシテ其ノ國土内何レノ地ニモ自由ニ來往居住スルコトヲ得シム唯海外ニ旅行スル者ハ政府ノ許可ヲ受クルコトヲ要シ徵兵適齡者

監視ノ刑ニ服スル者ハ隨意ニ他行スルコトヲ得サルカ如キ警察行政其ノ他ノ必要ヨリ此ノ自由ヲ制限スルコトアリト雖モ是レハ必ス法律ノ規定ニ依ルヘキモノニシテ行政ノ處分ヲ以テ妄リニ之ヲ剝奪スルコトヲ得サルナリ(憲二二條)

(三) 住所安固ノ權

英國ノ諺ニ之アリ曰ク我カ家屋ハ我カ城郭ナリト蓋シ玉公ノ威官權ノカヲ以テスト雖モ妄リニ之ニ入ルコトヲ得サルヲ謂フナリ夫レ住所ハ人ノ安宅ナリ人ノ秘密ノ伏藏スル所ナリ若シ他人妄リニ之ニ侵入スルコトヲ得ハ人何ニ由リテ其ノ安寧ヲ保ツコトヲ得ンヤ故ニ各國ノ憲法大抵此ノ權利ヲ保障セサルハナシ而シテ此ノ權利ヲ侵害スル者ハ刑事上及民事上ノ制裁ヲ免レサルナリ唯警察司法又ハ收稅等ノ必要ヨリシテ人ノ住所ニ侵入シ搜索スルコトアリト雖モ是レハ必ス法律ノ定メタル場合ニ於テ且法定ノ手續ニ依リテ之ヲ行ハサルヘカラサルナリ(憲二五條刑一七條一七一二條民七〇九條)

(四) 信書秘密ノ權

信書ハ思想ヲ載セテ隔地者ニ傳達スルモノニシテ人ノ交際上必要欠クヘカラサ



ル所ナリ若シ妄リニ之ヲ開披シ又ハ破毀シテ以テ其ノ秘密ヲ侵スコトヲ許スト  
キハ各人ハ他人ニ對シテ意思ヲ表示スルコトヲ禁止セラレタルト同一ニシテ其  
ノ自由幸福ヲ滅殺セラル、コト少小ナラサルヘシ故ニ戰時事變又ハ犯罪ノ搜查  
破産ノ場合等法律ノ特定セル場合ノ外ハ決シテ其ノ秘密ヲ侵スコトヲ得ス若シ  
之ヲ侵ストキハ郵便規則ノ制裁ヲ免レサルナリ(憲二六條)

以上ノ諸權ハ即チ有形的自由權ニ屬スルモノナリ但住所安固ノ權ハ他方ヨリ見  
レハ財產權保障トモナルモノナレトモ此ニハ人ハ其ノ住所内ニ於テ自由ノ舉措  
ヲ爲シ得ルノ點ヨリ見テ人身自由ノ權ニ牽聯スル一箇ノ權利トナシタルナリ又  
信書秘密ノ權モ書狀ヲ破毀セラレサルノ點ヨリ見レハ財產權ノ保障トナリ自由  
ニ思想ヲ發表スルノ點ヨリ見レハ無形的自由權ニ屬スヘシ然レトモ此ニハ自由  
ニ通信ト云フ外形的行為ヲ爲シ得ルノ點ヨリ見テ姑ク有形的自由權ノ中ニ列記  
シタルノミ

(五) 思想自由ノ權

思想ノ自由ハ内界ニ於テハ絕對無限ナリ之ヲ外界ニ發表スルニ及ヒテハ法律ノ

制限ニ從ハサルヘカラス而シテ法律ハ唯他人ノ權利ヲ侵害セス及社會ノ秩序ヲ  
破壞セサル程度ニ於テ之ヲ制限スルノミ故ニ各人ハ法律ノ制限内ニ於テハ自由  
ニ其ノ思想ヲ發表スルコトヲ得ヘキナリ之ヲ思想自由ノ權利ト謂フ思想ノ自由  
ハ内界ニ於テ絕對無限ナリト言フ所以ハ思想ハ無形ニシテ目睹ルヘカラス手捉  
ルヘカラス苟モ外界ノ動作ニ發表セサル限りハ之ヲ窺ヒ知ルコトヲ得ヘカラス  
シテ法律威力ヲ以テ之ヲ羈束セント欲スルモ決シテ爲シ能ハサル所ナレハナリ  
夫レ人身ハ之ヲ桎梏スルコトヲ得ヘシ思想ハ之ヲ制縛スルコトヲ得ヘカラス昔  
シコンドルセーニ猩猩獄ニ在ルヤ死ノ旦夕ニ迫ルヲ顧ミス從容トシテ世界人類ノ  
幸福ヲ念想シ書ヲ著ハシテ之ヲ後世ニ垂レタリ是ノ時ニ當リテコンドルセー身  
ハ幽暗ノ小室ニ在リト雖モ心ハ萬里ノ外千載ノ後ニ在リシナリ思想自由ノ奪フ  
ヘカラサルコト此ノ如シコンドルセーハ君子ナリ其ノ思念スル所極メテ光明正  
大ナリ然レトモ思想ノ自由ハ獨リ君子之ヲ有スルノミナラス小人亦之アリ小人  
間居シテ不善ヲ念想シ或ハ人ノ財ヲ奪ハンコトヲ冀ヒ或ハ人ノ妻ヲ姦センコト  
ヲ圖ル是レモ亦自由ナリ法律ノ得テ禁スル所ニ非サルナリ然レトモ是レハ法律



上ノ談ノミ若シ宗教道德ノ上ヨリ云フトキハ人ハ決シテ惡心邪念ヲ起スヘカラ  
ス煩惱雜慮ヲ生スヘカラス是レ其ノ嚴禁スル所ナリ若シ夫レ人ハ自由意思ヲ有  
スルヤト云フ根本問題ハ哲學ノ論スル所ナリ一派ノ說ニ依レハ人ノ意思モ他ノ  
萬有ト同シク因果必然ノ法則ニ支配セラレ思想ノ生滅ハ必ス然ラサルヲ得サル  
モノアリテ然ルモノニシテ人ノ意思ヲ以テ左右スルコトヲ得ルモノニ非ス昔シ  
希臘王ピクマリオンノ刺客ヲ恐ル、ヤ金城鐵壁ノ中ニ在リト雖モ其ノ畏怖心ヲ  
消スルコト能ハス英王チャールズノ不眠ノ病ニ罹ルヤ如何ナル手段ヲ盡スモ其  
ノ憂思ヲ散スルコト能ハス思想ノ自由ナラサルコト此ニ見ルヘシト云ヘリ然レ  
トモ此ノ論ノ如キハ全ク人類ノ自由ヲ否認スルモノニシテ余輩ノ俄ニ首肯シ能  
ハサル所ナリ人類ノ自由ト必然ノ法則ト並ヒ行ハレテ相悖ラサルコトハ既ニ述  
ブル所ナリ

人カ其ノ思想ヲ外界ニ發表スルニハ主トシテ宗教教育言論出版等ニ依ル故ニ此  
等ノ自由權ハ皆思想自由權ノ分派タリ而シテ法律ハ此等ノ自由權ニ對シテ各其  
ノ制限ヲ規定セリ

云 信教自由ノ權

政治ハ肉體ノ安全ヲ保護シ宗教ハ精神ノ安全ヲ保護ス肉體ノ安全アルモ精神ノ  
安全ナキトキハ幸福ノ人タルコトヲ得ス之ニ反シテ精神ノ安全アルトキハ肉體  
ノ安全ナキモ幸福ノ人タルコトヲ得ヘシ是レ宗教ノ政治ヨリモ貴シト爲ス所以  
ニシテ且人ハ必ス一箇ノ信條ナカルヘカラサル所以ナリ抑モ宗教ハ眞理ニ適合  
セサルヘカラスシテ眞理ハ唯一單純ナルトキハ宗教モ亦唯一單純ナラサルヘカ  
ラサルカ如シ然レトモ今日ハ未タ人類一致ノ宗教ヲ見ルニ至ラス故ニ各人ハ其  
ノ眞理ニ適合スト思惟スル所ノ宗教ヲ信仰スルノ外アラサルナリ人ノ信仰ハ決  
シテ外ヨリ之ヲ強ユヘキニ非ス國家カ一箇ノ宗教ヲ把リテ之ヲ人民ニ命令シ之  
ヲ奉セサル者ヲ戮辱シ又ハ其ノ公權私權ヲ剝奪シタルノ例往々ニシテ之アル所  
ナレトモ此ノ如キハ人民ニ安心立命ノ地ヲ奪フモノニシテ悖理ノ甚タシキノミ  
ナラス徒ニ世ノ紛擾ヲ醸スノミニシテ決シテ其ノ效ヲ奏スルコト能ハサルカ故  
ニ今日文明諸國ニ於テハ大抵信教自由ノ大則ヲ認メサルモノナキニ至レリ但信  
教ノ自由ハ思想ノ自由ノ分派ナルカ故ニ内心ノ作用ニ屬スル間ハ絶對無限ナリ



ト雖モ之ヲ禮拜儀式布教演說等外形ノ動作ニ發表スルニ及ヒテハ公共ノ秩序安寧ヲ保持スルノ點ヨリシテ警察行政等ノ制限ニ服從セサルヘカラス苟モ此ノ制限ニ觸悟セサル限リハ自家ノ所信ヲ主張シテ他ノ宗派ヲ攻撃スルモ固ヨリ信教ノ自由ヲ侵害スルモノハ非サルナリ(憲二八條)

(七) 教育自由ノ權

往時歐洲ニ在リテ教育ハ僧侶ノ專業ニ屬シ異宗ノ人ハ往々教育ヲ受クルコト能ハサルノ陋風アリシ爲メ佛國ノ革命以來自由思想勃興ノ結果トシテ教育自由ノ原則ヲ憲法中ニ掲クルモノアルニ至レリ抑モ教育ノ自由ト云フ語ハ如何ナル意義ヲ有スルヤ教育ヲ受クルモ受ケサルモ各人ノ自由ナリトノ義ニ非サルコト明クシ何トナレハ教育ヲ受ケテ智能ヲ啓發スルハ獨リ人類道德上ノ本分タルノミナラス又法律上ノ義務ニシテ子弟就學ノ義務ハ大抵各國ノ法律ニ於テ命令強制スル所ナレハナリ故ニ教育ノ自由ト云フ語ヲ正面ヨリ解スレハ苟モ國家ノ秩序風紀ヲ紊亂セサル限リハ如何ナル教育ヲ施シ又ハ受クルモ各人ノ自由ナリトノ意義ト見サルヘカラス然ルニ今日ノ制度ハ頗ル之ニ反シ少ナクトモ初等教育ニ

在リテ教員ハ國家ノ檢定セル資格ヲ有セサルヘカラス教科ハ一定ノ類別順序ニ從ハサルヘカラス而シテ凡ソ國民タル者ハ或ル期間必ス此ノ教育ヲ受ケサルヘカラス其ノ餘ノ教育ニ在リテモ公認ノ資格ヲ得ンカ爲メニハ必ス法定ノ教科ヲ履修セサルヘカラス唯教育ハ國家ノ專業ニ非スシテ一個人モ隨意ニ之ヲ行フコトヲ得ト雖モ其ノ人カ一定ノ資格ヲ有シ且法定ノ教科ヲ教授スルニ非サレハ此ノ教育ヲ受クルモ國民ハ就學ノ義務ヲ免ルコト能ハス又公認ノ資格ヲ得ルコト能ハサルナリ之ニ依リテ見レハ今日ノ教育カ自由主義ニ反スルコトハ僧侶ノ專業ニ屬セシ時代ト相距ルコト遠カラサルナリ唯今日ノ教育ハ頗ル公平ニシテ且恰モ國家民人ノ需用ニ適應スルモノ、如シト雖モ然レトモ其ノ徒ニ形式ニ流レ且教科過重ノ爲メ少年子弟ノ氣魄ヲ銷磨シテ陰裏ノ艸木ノ如クナラシムルノ弊アルコトハ識者ノ夙ニ認ムル所ナリ此ノ時ニ當リテ豪傑ノ士簡切奇拔ノ教育ヲ施シテ以テ一世ヲ麾キ國人之ヲ便トスルモ國家ハ尙ホ惡法ヲ株守シテ之ヲ禁壓セントス余輩ハ教育自由ノ原則ノ大ニ當代ニ必要ナルコトヲ信スル者ナリ

(八) 言論出版自由ノ權



言論ハ言語ニ依リテ思想ヲ發表スルノ方法ナリ夫レ人既ニ思想ノ自由ヲ有スルトキハ之ヲ發表スル言論モ亦自由ナラサルヘカラス然レトモ言論ハ社會上及政治上ノ勢力ニシテ往々國家ノ秩序風紀ヲ紊亂スルノ結果ヲ生スルカ故ニ國家ハ法律ヲ以テ言論ノ自由ヲ制限スルコトアルナリ即チ警察法ヲ以テ國民ノ政談演說ヲ監視シ刑法ヲ以テ人ヲ誹譏スル者ヲ罰シ流言浮說ヲ爲シテ人ヲ狂惑シタル者ヲ罰スルノ類是ナリ

出版ハ文字ヲ以テ思想ヲ發表スルノ方法ナリ言論出版共ニ思想ヲ發表スルノ方法ナレトモ言論ハ一時ニ止マリテ勢力ノ及フ所狭ク出版ハ永久ニ亘リテ勢力ノ及フ所廣シ故ニ出版ニ對スル法律ノ制限ハ言論ニ比シテ稍嚴重ナルモノアリ即チ著作權法新聞紙條例等ニ於テ著書及定時ノ刊行物ノ發行ヲ規律シ刑法ニ於テ交書圖書ヲ以テ人ヲ侮辱誹譏シタル者ヲ罰シ風俗ヲ害スル冊子圖書ヲ陳列販賣シタル者ヲ罰スルノ類是ナリ

夫レ社會ノ活動進歩スル所以ノモノハ人々其ノ所信ヲ發揮シテ相衝擊シ相協和シ相銷磨シ相融合シ以テ當世ノ思想ヲ形造シ以テ國民ノ趨舍ヲ指示スルニ因レ

リ故ニ言論出版ノ自由ハ社會進歩ノ必要條件ナリ若シ國民此ノ自由ヲ有スルコトナク數千年來ノ制度傳説ニ籠罩セラレ奮テ其ノ外ニ脱出スルコト能ハサルトキハ其ノ國民ハ必ス腐敗泯沒スルニ至ルヘキナリ唯夫レ諸種ノ思想勃トシテ萌生スルニ當リテヤ其ノ間或ハ狂暴詭激ノ論說アリテ以テ人心ヲ蠱惑スルコトナキヲ保セス然レトモ是レハ決シテ憂フルニ足ラサルナリ世自ラ公心アリ人々自衛ノ力アルトキハ此ノ如キノ論說ハ一時勝ヲ制スルカ如キノ觀アルモ久シカラスシテ有力ナル真理ノ打撃ニ遭フテ自然ニ其ノ迹ヲ斂ムルニ至ルヘキナリ若シ強テ之ヲ撲滅セント欲スルトキハ却リテ反抗ノ氣燄ヲ激シ適ニ以テ禍亂ヲ醸生スルニ足ランノミ今一譬喩ヲ設ケテ之ヲ說カン此ニ君主制ノ國アリテ其ノ國民中ニ共和制ヲ主張スル者アリトセン若シ言論出版ノ自由アランカ國民互ニ辯難攻撃シテ其ノ利害得失ヲ窮極シ果シテ以テ是ト爲ストキハ之ニ依リテ國家ヲ改造スヘク以テ非ト爲ストキハ之ヲ棄却スルニ躊躇セサルヘシ之ニ反シテ此ノ如キノ論說ヲ以テ大ニ國家ニ危害アリト爲シテ法令警察ヲ以テ之ヲ壓伏シ民ノ口ヲ塞キ民ノ耳目ヲ塗リ其ノ得失ヲ考究聞知スルコトヲ得サラシムルトキハ民



反リテ其ノ善美ナランコトヲ想像シテ漸ク之ニ嚮往スルノ心ヲ生スヘシ民心一  
タヒ離ル、トキハ復タ收拾スヘカラス姑息ノ手段ヲ以テ之ヲ救ヘンコト難シ若  
シ之ヲ人民ノ自由論議ニ委子白日ノ下ニ其ノ本體真相ヲ曝ストキハ人民必ス曰  
ハシ此ノ如キモノハ我カ君主制ニ比シテ何ノ優ル所カアラント又之ヲ顧ル者ナ  
カルヘシ余輩故ニ曰ク公益政治ニ關スル言論出版ハ絶對的ニ自由ナラシムヘシ  
唯誹譏侮辱等一個人ノ私益ヲ害スルモノニ對シテ多少ノ制限ヲ加フヘキノミト  
余輩常ニ竊ニ思フ人類ハ靈智アル動物ナリ真理ニ從テ行動スヘキモノナリ凡ソ  
天地ノ間剛強ナルモノ何ソ限ラン然レトモ未タ人心ヲ支配スル真理ノ銳利ナル  
ニ及フモノハアラサルナリ國際法上一片ノ理論ハ能ク堅牢鐵ノ如キニコライノ  
教會堂ヲ粉齋セシムルコトヲ得ヘシ刑法民法ノ理論ハ能ク幾千萬人ノ生命財產  
ヲ與奪スルコトヲ得ヘシ「ダイナマイト」モ其ノ猛ヲ比スルニ足ラス剛鐵モ其ノ強  
ヲ較スルニ足ラス所謂王公モ其ノ勢ヲ失シ良平モ其ノ智ヲ失シ岩崎平專モ其ノ  
富ヲ失スルモノハ其レ唯真理カ真理ヲ打發シテ一世ノ人心ヲ指導スルハ學徒ノ  
任務ナリ世ノ經世實用ノ學ニ從フ者豈自ラ輕スヘケンヤ宜シク真理ヲ討究シ愛

好シ身ヲ以テ之ニ徇シ之カ爲メニハ刀鋸鼎鑊ヲモ避ケサルノ決心ナカルヘカ  
サルナリ真理ト信シナカラ口言フコト能ハス身行フコト能ハス邊邊囁囁處女  
者ノ如クナルハ決シテ大丈夫ノ襟度ニ非ザルナリ  
以上ノ諸權ハ即チ無形的自由權ニ屬スルモノナリ

(九) 集會結社自由ノ權

集會及結社ハ共ニ衆思ヲ交通シ群方ヲ聯結スルノ方法ナリ唯集會ハ概シテ一時  
ニ止マリ且何人モ參集スルコトヲ得ヘシト雖モ結社ハ永久ニ亘リ且一定ノ社員  
ニ非サレハ之ニ與カルコトヲ得ス是ヲ異ト爲スノミ語ニ曰ク集合ハ勢力ナリト  
故ニ此ノ二者カ社會上政治上ノ勢力タルコト勿論ニシテ國家ハ全ク之ヲ各人ノ  
自由ニ放任スルコト能ハス而シテ結社ハ集會ニ比シテ其ノ勢力著大ナルカ故ニ  
之ニ對スル法律ノ制限モ稍嚴重ナリ即チ社交上ノ集會ニ關シテハ何等ノ制限ナ  
ク政治上ノ集會ニ關シテハ刑法及集會法等ノ制限アリ私益ヲ目的トスル結社ニ  
對シテハ民法商法等ニ登記公告ヲ爲サシムルノ規定アリ公益ヲ目的トスル結社  
ニ對シテハ主務官廳ノ許可ヲ受ケシムルノ規定アリ殊ニ政治ヲ目的トスル結社



ニ對シテハ政社法ニ於テ種々ノ制限ヲ規定セリ要スルニ人民ハ此等ノ法律ノ範圍内ニ於テ集會及結社ノ自由ヲ有スルモノナリ

(十) 遺言自由ノ權

相續ニ單純相續及遺言相續ノ二種アリ被相續人カ遺言ヲ爲サシテ死亡シタルトキハ其ノ相續ハ法律ノ規定ニ依リテ支配セラル是レ即チ單純相續ナリ然ルニ被相續人ハ遺言ヲ以テ其ノ財産ヲ相續人以外ノ者ニ與フルコトヲ得但財産ノ半額又ハ三分ノ一ヲ相續人ニ遺留スルコトヲ要ス之ヲ遺留分ト稱ス是レ即チ遺言相續ナリ而シテ遺言自由ノ權トハ被相續人カ法律ノ制限内ニ於テ遺言ヲ以テ自由ニ其ノ財産ヲ處分スルノ權利ヲ謂フ唯遺言ノ自由ニ對スル法律ノ制限ニ關シテハ各國ノ立法及學說寬嚴ノ差アリテ一様ナルコト能ハス之ニ就キテハ遺言禁止主義遺言無制限主義及折衷主義ノ三主義アリ遺言禁止主義ハ遺言ヲ絕對的ニ禁止シ被相續人ヲシテ遺言ヲ以テ其ノ死後ニ對スル財産ノ處分ヲ爲スコトヲ得サラシメントスルモノナリ其ノ理由ノ要點ハ人カ財産ヲ所有シテ之ヲ使用收益處分スルコトヲ得ルハ其ノ一生涯ニ止マルヘキモノニシテ其ノ死後ニ對シテ之

ヲ處分スルコトヲ得ヘキニ非ス若シ所有者ハ死後ニ對シテマテモ其ノ財産ヲ處分スルコトヲ得ルモノトスルトキハ是レ恰モ死者カ所有權ヲ有スルカ如キモノニシテ不條理ノ甚シキモノナリ而シテ所有者ハ其ノ死亡ト同時ニ其ノ所有權ヲ喪失スヘキモノナリ然ラハ其ノ財産ハ何人ニ歸屬スヘキヤト云フニ相續人ハ得テ取得スルノ權利アルヘカラス何トナレハ人々自己ノ勞力ニ依リテ財産ヲ取ラスヘキハ天地ノ常經ニシテ相續人ハ單ニ先人ノ所生タリ又ハ先人ト或ル親族上ノ關係ヲ有スルノ一事ノミヲ以テ徒爾トシテ其ノ財産ヲ取得スルノ理アルヘカラサレハナリ故ニ其ノ財産ハ國庫ニ沒入シテ公共ノ用ニ供スルノ外アルヘカラス唯父母ハ其ノ子孫ヲ長育スル天然ノ本分ヲ有スルモノナルカ故ニ被相續人ニ幼少ニシテ獨立ノ生活ヲ營ムコト能ハサル子孫アルトキハ其ノ獨立スルニ至ルマテ生活ニ必要ナル資料ヲ相續財産ノ中ヨリ割與スヘキノミト云フニ在リ此ノ主義ハ從來社會主義ノ徒ノ唱道スル所ニシテ多少ノ理趣ナキニ非スト雖モ稍極端詭激ニ失スルヲ以テ未タ世論ノ認ムル所トナラス且此ノ主義ハ獨リ遺言ヲ禁止スルニ止マラスシテ相續ノ制度ヲモ全廢セントスルモノナリ遺言無制限主義



ハ之ト正反對ニシテ遺言ハ絶對的ニ遺言者ノ自由ニ放任シテ毫モ之ヲ制限スル所アルヘカラスト云フモノナリ其ノ理由ノ要點ハ人カ營々トシテ勤勉勞働シテ財産ヲ蓄積スル所以ノモノハ獨リ自己一生ノ間之ヲ受用セント欲スルカ爲メノミナラス之ヲ子孫ニ傳ヘ又ハ他人ニ與ヘテ以テ自ラ憚セント欲スルカ爲メナリ是レ固ヨリ人間正當ノ願欲ニシテ毫モ之ヲ擯斥スルノ理ナシ然ルニ今若シ全ク之ヲ禁絶シテ所有者ヲシテ其ノ財産ヲ子孫ニ傳フルコトヲ得サラシメ又ハ死後ニ對シテ自由ニ之ヲ處分スルコトヲ得サラシメハ誰レカ又役々トシテ力ヲ財産ノ利殖ニ致ス者アランヤ此ノ如キハ頗ル生産力ヲ沮敗シ獨リ一個人ノ福祉ヲ損スルノミナラス社會ノ利益ヲ害スルモノナリ故ニ所有權ハ十分ニ之ヲ保護シ所有者ヲシテ其ノ欲スルカマ、ニ其ノ財産ヲ處分スルコトヲ得シメサルヘカラス然ルニ今日ノ法律カ遺留分ノ制度ヲ設ケ所有者ハ必ス其ノ財産ノ幾分ヲ其ノ相續人ニ遺留スヘキモノトシ其ノ殘餘ノ財産ニ非サレハ遺言ヲ以テ自由ニ之ヲ處分スルコトヲ得サルモノトスルハ頗ル所有權ノ行使ヲ妨害スルモノニシテ生産力ノ發達ヲ沮止スルモノナリ或ハ曰ハン相續人モ又之ヲ保護スヘキニ非スヤト

然リ相續人モ亦固ヨリ之ヲ保護スヘキモノナリ然レトモ相續ハ被相續人ヲシテ其ノ財産ヲ子孫ニ傳フルコトヲ得シメンカ爲メニシテ相續人ヲシテ財産ヲ取得セシメンカ爲メニ非ス換言スレハ相續ハ被相續人ノ爲メニシテ相續人ノ爲メニ非ス故ニ被相續人カ其ノ財産ヲ子孫ニ傳フルコトヲ欲セスンハ強テ之ヲ傳ヘシムルノ理ナシ相續人ヲ保護スルハ唯被相續人ノ意思ニ反セサル限度内ニ於テスヘキノミ或ハ曰ハン家ヲ存續セシムルコトモ亦必要ナルニ非スヤト然レトモ單ニ祖先ノ遺産ニ倚賴スル懶惰素餐ノ人ヲ以テ成レル家ヲ存續セシムルハ社會上何等ノ效益アルコトナシ被相續人ノ意思ニ反シテ強テ此ノ如キノ家ヲ存續セシムルノ必要ナシ殊ニ獨身者ハ自由ニ其ノ財産ノ全部ヲ處分スルコトヲ得ルニ婚姻シテ子孫ヲ擧ケタル者ハ此ノ自由ヲ有セストスルハ是レ獨身者ニ厚ク結婚者ニ薄キモノニシテ不權衡ノ甚タシキモノナリ要スルニ遺留分ノ制度ハ全然之ヲ廢棄シ遺言ヲシテ絶對的ニ自由ナラシムヘシト云フニ在リ此ノ主義ハ一派ノ經濟學者ノ主張スル所ナルモ是レモ亦稍極端ニシテ未タ立法者ノ採用スル所トナルニ至ラス今日ノ立法ハ恰モ此ノ兩極端ノ中間ニ在ルモノト謂フヘシ今日諸國



ノ法律ハ大抵遺留分ノ制度ヲ認メ遺言者ハ遺留分ノ規定ニ反セサル限りハ遺言ヲ以テ自由ニ其ノ財産ヲ處分スルコトヲ得ルモノトセリ唯遺留分ノ數量ニ關シテ多少ノ相違アルノミ是レ即チ折衷主義ナリ(民一〇六五條一一三〇條一一三一條)

(十一) 契約自由ノ權

凡ソ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反セサル限りハ各人ハ如何ナル契約ト雖モ自由ニ之ヲ訂結スルコトヲ得ヘシ是レ民法上ノ大原則ナリ抑モ契約自由ノ原則ハ從來自由家ノ極メテ崇重シ且極メテ擴張セシ所ナリト雖モ近來社會主義ノ徒ハ之ニ反對シ契約ハ必シモ當事者ノ自由ニ放任セスシテ法律之ニ干涉スヘシト論スル者アリ其ノ議論ノ主眼ハ資本家ト勞動者トノ間ニ成立スル雇傭契約ニ對シテ制限ヲ加フヘシト云フニ在リ蓋シ資本家ハ概シテ富有ナルヲ以テ勞動者ヲ得スト雖モ敢テ生活ニ困ムコトナシト雖モ勞動者ハ一日其ノ職業ヲ得サレハ饑餓ヲ免レスシテ其ノ狀況大ニ相同シカラス且機械ノ進歩人口ノ増殖等其ノ他種々ノ原因ヨリシテ勞動者ハ職業ヲ得ルコト甚タ困難ナルカ故ニ如何ナル苛酷ノ條

件ト雖モ之ヲ承諾シ極メテ低廉ナル賃銀ヲ以テ過重ノ勞務ニ服シ其ノ狀恰モ機械半馬ト同シ乃チ雇主ハ低價ニ人カヲ使用シテ巨富ヲ隴斷シ勞動者ハ晝夜役々トシテ僅ニ餓死ヲ免ル、ノミ是レ彼ノ獨國ノ有名ナル社會黨ノ首領カル、マルクスヲシテ資本ハ支拂ハレサル勞力ノ賃銀ナリト絶叫セシメタル所以ナリ此ノ狀態ハ決シテ之ヲ契約者ノ自由ニ放任スヘカラス是レ近時歐洲諸國ニ於テ勞動時間制限法、勞動者保險法、婦女及幼者ノ勞動制限法等ノ續々トシテ制定セラル、所以ナリ想フニ是レモ亦自由主義ノ民法ノ缺潰ノ一箇處タルヘシ

(十二) 職業自由ノ權

昔シハ人ノ職業ハ其ノ階級ニ依リテ定マリ公卿ノ子ハ生レナカラニシテ公卿タリ如何ニ凡庸ナルモ其ノ位ヲ失ハス匹夫ノ子ハ生レナカラニシテ匹夫タリ如何ニ材能アルモ自ラ拔出スルコト能ハス殊ニ農工商ニ在リテハ職業組合ト云フモノアリテ之ニ入ルニ非サレハ其ノ職業ヲ營ムコト能ハス而シテ之ニ入ルニハ一定ノ資格條件ヲ要シ容易ノ事ニ非ス此ノ如キハ社會ノ秩序ヲ保持スルニ就キテハ或ハ便利ナルヘキモ其ノ文化ヲ發達スルニ就キテハ極メテ不適當ナリ夫レ社



會ノ文化ハ人々各其ノ天分ヲ發揮シテ餘蘊ナク奇異變幻ノ材紛然トシテ雜出シ相盪擊シ相衝摩シ蓄積醞釀シテ此ニ燦爛ノ美ヲ呈スルモノナリ今日ハ此ノ眞理ヲ認メ各人ヲシテ其ノ材能ニ應ジテ自由ニ其ノ欲スル所ノ職業ニ從事スルコトヲ得シム人ハ必ス一箇ノ職業ヲ有シ自力ニ依リテ生活スヘキコト道德上ノ本分ナリト雖モ法律ハ敢テ人ニ必ス職業ヲ有スヘキコトヲ命セサルカ故ニ何等ノ職業ニ從事セサルモ亦其ノ自由ナリ

商業自由ノ權モ亦職業自由ノ權ノ一種タリ但官吏ハ商業ヲ營ムコト能ハス未成年者又ハ妻カ商業ヲ爲スニハ法定代理人又ハ夫ノ許可ヲ受ケサルヘカラス是レ此ノ自由權ニ對スル制限ナリ又勞働自由ノ權ト云フモノアリ勞働者ハ今日甲ノ雇主ノ爲メニ勞働スルモ明日ハ去リテ乙ノ雇主ノ爲メニ勞働スルモ其ノ自由タリ復タ昔時奴隸カ一定ノ主人若クハ土地ニ隸屬シ終身之ヲ去ルコト能ハサルカ如キコトナシ唯契約ヲ以テ勞働ノ期間ヲ定ムルトキハ固ヨリ之ニ從ハサルヘカラスト雖モ我カ新民法ニ依レハ此ノ期間ハ五年ヲ超過スルコトヲ得ス且其ノ期間内ト雖モ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ直ニ契約ヲ解除スルコトヲ得ルモ

ノトセリ(民六二六條、六二八條)

以上ノ諸權ハ即チ有形的及無形的自由權ニ屬スルモノナリ有形的自由權ハ或ハ之ヲ身體自由權ト稱シ無形的自由權ハ之ヲ思想自由權ト稱シ有形的及無形的自由權ハ之ヲ行爲自由權ト稱スルコトヲ得ヘシ然レトモ法律ハ要スルニ行爲ノ準則ヲ定ムルモノナルカ故ニ是レハ唯法律ノ保護スル客體ノ主タル性質ニ本ツキテ大體ニ稱呼分別シタルノミ單純ノ自由ト自由ノ權利トノ異ナル所ハ前ニモ述ヘタルカ如ク單純ノ自由ハ法律ノ干涉セサル行爲ノ範圍ニシテ自由ノ權利ハ法律カ自由ノ物ヲ保護シタルモノナリ抑モ權利ト云フトキハ其ノ中既ニ制限ノ義ヲ含ムモノニシテ絶對無限ノ權利ト云フモノアルコトナシ何トナレハ權利ハ人ト人トノ關係ニシテ二人相對スルトキハ一方ノ權利ハ他方ノ權利ニ依リテ制限セラル、コトヲ免ルヘカラサレハナリ故ニ自由ノ權利ト云フモ法律ノ制限内ニ於テ自由ヲ享有シ法律ノ保護ヲ受クルコトヲ得トノ義ニシテ法律ノ保護スル自由ハ絶對無限ナリトノ意ニ非サルナリ即チ法律ハ先ツ自由其ノ物ノ範圍ヲ劃定シ從テ此ノ劃定シタル自由ヲ保護スルモノナリ唯法律ハ



何ヲ標準トシテ其ノ保護スヘキ自由ノ範圍ヲ制限劃定スヘキヤ是レ立法上ノ問題ニシテ學者各其ノ見ル所ヲ異ニシ容易ニ解決スルコトヲ得サル所ノモノナリ唯此ニ一言セント欲スル所ノモノハ今日ノ法律ハ立法者カ一時ノ理論ニ適シ實際ニ合スト爲ス所ノモノニ從ヒテ任意ニ之ヲ制作シタルモノニシテ決シテ萬古不易ノ大則ニ本ツキタルモノニ非サルコト是レナリ從テ立法者ノ法律ヲ制作スルヤ恰モ盲者ノ道ヲ行クニ唯自己ノ適當ナリト感スル所ノ地ニ向テ足ヲ投スルカ如キト一般ニシテ謬戾錯過甚タ多ク一條項ノ理由ヲ求ムルモ議論百出シテ其ノ歸一スル所ヲ知ラサルモノ比々トシテ皆然リ豈歎スルニ勝ユヘケンヤ

## 第二章 私法

私權ヲ規定スルモノハ私法ナリ私法ノ主要ナルモノハ民法商法及民事訴訟法ナリ勿論私權ノ一部ハ憲法刑法其ノ他ノ公法中ニモ存スル所ナリト雖トモ是レ固ヨリ特例ニ屬ス左ニ民法商法及民事訴訟法ノ意義沿革編制其ノ相互ノ關係等ヲ畧述セントス

### 第一節 民法

民法ノ定義ハ實質上及形式上ノ二點ヨリ之ヲ下スコトヲ得ヘシ  
 實質上ヨリ民法ノ定義ヲ下ストキハ民法トハ民事ニ關スル普通私法ノ原則ヲ定ムル法令ノ全體ナリト謂フコトヲ得ヘシ其ノ民法ハ原則法ナリト云フハ此ヲ以テ民事ノ手續ヲ定ムル民事訴訟法破産法登記法其ノ他ノ特別法ト區別セシカ爲メナリ其ノ民法ハ普通私法ナリト云フハ此ヲ以テ特別私法タル商法ト區別セシカ爲メナリ而シテ民法ハ民事ニ關スル法令ナリト云フトキハ民事ト云フ語ノ意義ヲ確定セサルヘカラス是レ甚タ困難トスル所ナリ然レトモ民事トハ人ノ生活上當然ニ生スヘキ事項ナリト云ハ、略其ノ意義ヲ盡セリト謂フコトヲ得シ蓋シ人生レテ財産所有ノ事ナキコトヲ得ス從テ賣買貸借保證代理等ノ事端ヲ發生シ來ルハ決シテ免レサル所ナリ余輩姑ク之ヲ名ツケテ財産事項ト謂ハン又人ハ夫婦親子後見隱居相續遺言等ノ事項ナキコトヲ得ス余輩亦之ヲ名ツケテ身分事項ト謂ハン此ノ財産事項及身分事項ハ人ノ生活上當然ニ生スヘキ事項ニシテ即



チ民事ナリ民法ノ規定スル所ナリ故ニ曰ク民法トハ民事ニ關スル普通私法ノ原則ヲ定ムル法令ノ全體ナリト和蘭ウハンベンムリ一曰ク民法中ノ財産事項ヲ規定スル物權及債權ノ規則ト身分事項ヲ規定スル親族及相續ノ規則トハ相互ニ交渉スル所ナシ之ヲ同一ノ法典中ニ規定スルハ何等ノ理由ナキモノナリ宜シク兩截シテ財産法及身分法ノ二法ト爲スヘシ而シテ余輩ハ其ノ財産法ヲ命名シテ經濟的私法若クハ金錢法ト爲サン是レ民法ノ真正ノ領域ナリト斯ノ言ヤ一見奇警ノ如クナルモ是レ其ノ一ヲ知リテ未タ其ノ二ヲ知ラサルモノナリ財産法ト身分法トハ相交渉スル所ナシト云フハ誤レリ此ノ二法ハ共ニ人ノ生活上普通ニ生スヘキ事項ナリト一條ノ繩鎖ニ依リテ緊シク相聯結セラレ截斷セント欲シテ能ハサル所ナリ是レ古來民法カ財産及身分ノ二法ヲ含ミタル完全圓滿ノ一體ニシテ後世之ヲ改ムルコト能ハサル所以ナリ

形式上ヨリ民法ノ定義ヲ下セハ民法トハ民法ト名ツクル法典其ノ物ヲ謂フ此ノ定義ハ最モ嚴正明確ナルモノニシテ通常學者カ民法ト喚ヒ做ス所ノモノハ即チ此ノ意義ニ從フナリ

民法ノ沿革ヲ述フルハ法律歴史ノ領分ニ屬ス余輩ハ簡單ニ之ヲ附言セント欲ス抑モ我カ邦ニ於テ始メテ民法ト云フ語ヲ生シタルハ明治六年故實作麟祥氏カ政府ノ命ヲ受ケテ佛蘭西六法ヲ翻譯スルノ際、刻意創作スル所ニ出ツ、勿論我カ邦ニ於テモ婚姻、相續、財産所有等民事關係ハ往古ヨリ存セシ所ナリト雖モ之ニ關スル法律制度ハ極メテ朦朧粗雜ニシテ殆ト全ク自然ノ慣習ニ一任シタルモノナリ今日余輩カ民法ト呼ヒ做ス所ノモノハ歐洲ヨリ舶來シタルモノニシテ本邦固有ノモノニ非ス故ニ我カ邦ニ於ケル民法ハ僅ニ二三十年ノ沿革ヲ有スルニ過キス然ルニ民法ノ本家タル歐洲ニ在リテハ民法ハ殆ト三千年ノ生命發達ヲ有スルモノナリ歐洲ニ於ケル民法ノ濫觴ハ實ニ羅馬十二銅標ニ在リト謂フヘシ十二銅標ハ紀元前四百五十年羅馬ニ於テ貴族ト平民トノ軋轢ノ末平民ノ勝利ノ結果トシテ現ハレタルモノナリ是ヨリ先キ羅馬ニ於テハ政權貴族ニ在リ裁判モ貴族中ニ之ヲ掌ル閥閥家アリテ往古ヨリ傳ハリタル法律ニ依リテ之ヲ行ヒタルモノナリ其ノ法律ハ文字ニ記載シテ傳ヘタルヤ將タ口語ニテ傳ヘタルヤ今ニ於テ攷フヘカラス然レトモ深ク人民ニ秘シテ唯裁判ヲ掌ル貴族ノミ之ヲ知ルコトヲ得タルモ



ノナリ恰モ我カ徳川氏百箇條ノ與書ニ其係役人之外不可有他見者也ト記セシモノト其ノ揆ヲ同フス然ルニ人民ハ此ノ如キ曖昧ナル法律ニ其ノ生命財産ヲ託スルコトヲ欲セス遂ニ貴族ニ迫リテ之ヲ十二ノ銅版ニ鐫刻シテ「ホローム」ト名ツクル市場ニ揭示セシメタリ此ノ市場ハ人民カ交易ノ爲メ定期ニ集會スル康衢ニシテ裁判其ノ他一切ノ政治ハ皆此處ニ於テ舉行シタルモノナリ後世國會及裁判所ヲ公開スルノ習ハ蓋シ此ニ本ツクモノナリ其ノ後羅馬益盛大トナリ近傍諸國ノ民流入スルニ及ヒテ羅馬人ハ頗ル排外ノ氣象ニ富ミタルヲ以テ法律ヲ分チテ國民法及普通法ノ二種ト爲シ又内國判事及外國判事ヲ置キ内國判事ヲシテ國民法ニ依リテ羅馬人相互ノ争訟ヲ裁判セシメ外國判事ヲシテ普通法ニ依リテ羅馬人ト外國人トノ間又ハ外國人相互ノ間ニ生シタル争訟ヲ裁判セシメタリ判事ハ一年ノ任期ヲ以テ人民ヨリ公選セラレタルモノニシテ其ノ就任ノ初告知書ト名ツクルモノヲ發スルノ習ナリキ此ノ告知書ハ判事カ其ノ就任中ニ依リテ以テ裁判ヲ行フヘキ標準原則ヲ示シタルモノニシテ羅馬法ノ發達ニ與リテ最モ力アリシモノナリ今日米國大統領カ就任ノ初教書ヲ發布シテ其ノ政綱ヲ宣言スルモノ蓋

シ此ノ衣鉢ヲ傳フルモノナリ判事ハ通例法律大家ニシテ就任セサル間ハ代言辯護ノ業務ニ從事シ且法律學ヲ講究教授シタル者ナリ當時ノ學風ハ一定ノ順序ヲ追フテ學理ヲ討究スルモノニ非スシテ互ニ難問ヲ發シテ辯難攻撃シ他人ヲ挫折スルヲ以テ其ノ能事ト爲セリ今日米國ノ法律研究ハ頗ル此ノ風アリト聞ク此ノ如クニシテ羅馬ハ共和制ノ終末即チ紀元前一百年ニ達セリ羅馬法ハ蓋シ此ノ間ニ於テ十分ノ發達ヲ遂ケ其ノ精微ヲ窮極シタルモノナリ其ノ後羅馬ハ帝國トナリ歷代ノ帝王多數ノ法令ヲ發シ碩學鴻儒ノ著述亦少ナカラスト雖モ要スルニ共和制時代ニ發達セル法律上ノ理論ヲ編纂輯録シタルニ過キス而シテ其ノ最モ顯著ナルモノヲヂユスチニアン帝ノ法典編纂事業ト爲ス帝ハ紀元五百二十七年ヨリ五百六十五年マテノ治世ニ於テ數多ノ法典ヲ編纂セリ其ノ有名ナルモノヲ「パンダクト」又ハ「ヂゼスト」會典及「インスチチュート」教科書ノ二ト爲ス會典ハ學士トトリボニアノ總裁トシテ十六名ノ委員カ羅馬法曹三十九大家ノ說ヲ集メタルモノニシテ其ノ引用セシ著書ノ數二千有餘部凡ソ三百萬行ノ論說ヲ一部凡ソ十五萬行ノ書中ニ收載シタルモノナリト云フ教科書ハヂユスチニアン帝カ會典ノ



極メテ浩瀚ニシテ法律學生ノ爲メニ不便ナルヲ以テ更ニトリポニア外二名ノ學士ニ命シテ其ノ綱領ヲ編輯セシメタルモノナリト云フ教科書ハ四卷九十八章ニ分チ人事編、財産編及訴訟編ノ順序ニ依リテ編制セリ後世羅馬法ト稱スルモノハ即チ此ノ會典及教科書ヲ指スモノナリ羅馬滅亡ノ後ハ中古暗黒ノ世トナリ學問制度其ノ全滅ニ近シ第十一世紀ニ至リテ伊太利ポロナ府ニイルネリアスト云フ人アリテ羅馬法注釋學ヲ唱ヘ其ノ後第十六及第十七世紀ニ至リテ佛國ニドノ1、デユムーラン、ポチエ等ノ法律大家輩出シテ益羅馬法ヲ講究シ遂ニ今世紀ノ初ニ至リテナポレオン法典ノ編纂ヲ見ルニ至レリ爾來歐洲諸國競テ民法ヲ編纂スルニ至リタルモ要スルニ羅馬法ニ淵源セサルハナシ獨リ英國ハ民法ヲ編纂セスト雖モ其ノ所謂衡平法ハ實ハ羅馬法ニシテ唯英人固有ノ自尊心ヨリ之ニ羅馬法ノ名稱ヲ附セサルノミメーン曰ク羅馬法ハ法律ノ寶藏ナリ吾人ハ之ヲ研究スルニ從テ益吾人ノ未タ曾テ識ラサル所ノモノヲ發見ス今日ノ法律ハ未タ其ノ半ニモ及ハサルナリト亦以テ羅馬法ノ精神カ如何ニ今日ノ法律ニ勢力ヲ及ボスカヲ見ルヘシイーリング曰ク羅馬ハ三タヒ世界ヲ統一セリ第一ハ政治ヲ以テシ第二

ハ宗教ヲ以テシ第三ハ法律ヲ以テスト蓋シ經ヒスト謂フヘシ近世ノ民法ハ其ノ編纂法ノ點ヨリ之ヲ大別シテ佛蘭西派民法及獨逸派民法ノ二種ト爲ス佛蘭西派民法トハ一千八百四年ノナポレオン法典ヲ首トシ之ニ模倣シテ制定シタル白耳義伊太利西班牙和蘭澳太利等諸國ノ民法ヲ總稱スナポレオン法典ハ全典ヲ分チテ前加編、人事編、財産編及財産取得編ノ四編ト爲ス其ノ餘諸國ノ民法ハ多少修正スル所アリト雖モ大體之ト同シ而シテナポレオン法典ハ實ニ羅馬ノ教科書ニ本ツク獨逸派民法トハ一千八百六十五年ノサキソン民法ヲ首トシテ次テ之ニ依リテ編制シタルバ、リア民法及獨逸帝國民法ヲ指ス獨逸帝國民法ハ僅ニ近年ニ至リテ確定施行セラレタルモノナリサキソン民法ハ全典ヲ分チテ總則編、物權編、債權編、親族編及相續編ノ五編ト爲ス此ノ編纂法ハ從前ノ編纂法ニ對シテ實ニ一新機軸ヲ出タシタルモノナリ然レトモ其ノ差異ノ要點ハ偏ニ身分法ト財産法トノ位置ヲ顛倒シタルノ點ニ存ス其ノ理由トスル所ハ主トシテ古代ニ於テ人ノ權利義務ハ其ノ身分ニ依リテ定マリタルモノナルカ故ニ羅馬法ハ身分法ヲ其ノ編首ニ置キタルモノナリ然ルニ今日ハ社會ノ狀況一變シ人ノ權利義務ハ契約其ノ他



財産上ノ關係ニ依リテ定マルモノ寧ロ多キカ故ニ宜シク財産法ヲ以テ民法ノ編首ニ置クヘシト云フニ在リバ、リア民法モ亦固ヨリサキソン民法ニ倣ヒタルモノナレトモ唯物權編ト債權編トヲ顛倒シ全典ヲ分チテ總則編債權編物權編親族編及相續編ノ五編ト爲セリ物權編ト債權編トヲ顛倒シタル理由ハ主トシテ債權編ハ獨リ法律的諸關係中重要ナル部分ヲ占ムルノミナラス其ノ原則ハ私法中他ノ部分ヨリ援引シ來ルモノ甚タ少ナク反リテ他ノ部分ノ準則トナルモノ多キカ故ニ物權編ニ先タ、シムヘシト云フニ在リ而シテ獨逸帝國民法ハバ、リア民法ノ編制ヲ採レリ抑モ獨逸派民法ニ於テ從前ノ民法ニ對シテ此ノ如キ改革ヲ加ヘタルモノハ固ヨリ近世ニ於ケル法理研究ノ結果ナリト雖モ獨逸ニ於テハ從來羅馬會典ノ研究最モ盛ニシテ之ヨリシテ種々ノ原理ヲ發見シ遂ニ新民法ノ編纂ヲ馴致シタルモノナルカ故ニ余輩ハ獨逸派民法モ其ノ根底ニ於テハ亦羅馬法ニ出ツルモノナリト斷言スルニ躊躇セス故ニ曰ク佛蘭西派民法ハ羅馬法、インス、チチュートニ本ツキ獨逸派民法ハ羅馬法、パンデクトニ本ツキ各當時ノ理論ヲ以テ之ヲ裁節シタルモノニシテ均シク羅馬法ノ窠臼ヲ脱セサルモノナリト顧ミテ本

邦ノ民法ハ如何我カ民法ハ曩キニ佛人ポアソナードノ起草ニ係ルモノヲ發布セルモ施行セラル、ニ及ハスシテ修正ノ爲メ延期セラレ法典調査會ヲ設ケテ之ヲ修正セシメ三十一年七月十六日ヨリ施行セラレタリ而シテ舊民法ハ主トシテナポレオン法典ニ依リ新民法ハサキソン民法ノ編制ヲ採レリ之ニ依リテ言ヘハ我カ民法ハ佛蘭西派民法ヨリ獨逸派民法ニ變シタルモノナリ然レトモ是レハ唯其ノ外形ヲ謂フノミ其ノ内容ニ至リテハ世界各國ノ民法ヲ參照シ且我カ固有ノ習慣ヲ斟酌セリト稱スルモノ固ヨリ專ラ獨逸派民法ニ依リタルモノニハ非サルナリ

夫レ民法ハ三千年ノ發達ヲ有スト稱セラル然ラハ其ノ中ニ一大原理ノ串穿スルアリテ萬世ニ亘リテ泯ヒサルモノアルカ非耶余輩久シク之ヲ求メテ不敏ニシテ未タ之ヲ得ルコト能ハサルナリ或ハ曰ク民法ハ自然法ニ出ツ故ニ其ノ本根堅實ナリ彼ノ立法者ノ朝ニ令シテ暮ニ改ムルカ如キ人爲的法律トハ日ヲ同フシテ語ルヘカラサルナリト蓋シ其ノ意ニ謂フ人類カ外物ヲ所有シ又ハ婚姻ヲ爲スカ如キハ自然ノ法則ニ出ツ立法者ノ裁成スルコトヲ得ルモノハ唯其ノ末節ノミ其ノ



大本ニ至リテハ決シテ變易スルコトヲ得サルナリト或ハ曰ク民法ハ正義ヲ重シ  
 公平ヲ尊トフ契約ヲ履踐セシムルハ是レ正義ナリ王公ノ威ヲ以テスルモ匹夫ノ  
 産ヲ奪フコト能ハサラシムルハ是レ公平ナリト余輩誠ニ其ノ言ニ服ス然レトモ  
 其ノ所謂自然法ト云ヒ正義公平ト云フモノ果シテ萬人ノ肯認シテ異辭ナキ所ナ  
 ルカサビニ一曰ク法律ハ人民ノ間ニ自然ニ發生スルモノニシテ立法者ノ制作ス  
 ルモノニ非ストクールセルスヌイユ曰ク民法ノ原則カ立法者ノ創意ニ出テタリ  
 トスルハ誤レリ其ノ原則ハ時々變更スルコトアリト雖モ常ニ動カスヘカラサル  
 一大原則アリテ之カ根本ヲ爲セリト此等ノ言ニ徵スレハ民法中ニ一原則ノ存ス  
 ルハ殆ト疑フヘカラス然レトモ其ノ一大原則トハ果シテ何物ノ余輩竊ニ思ヘラ  
 ク凡ソ一切ノ人事ハ悉ク人類ノ本性ヲ保全スルヲ以テ其ノ歸宿ト爲ストキハ民  
 法モ亦此ヲ以テ根底ト爲スモノニハ非サルカ近者歐洲ニ於テハ法律上ニ新學派  
 若クハ實驗學派ト稱スルモノアリ犯罪人ノ研究ヨリ現行刑罰制度ノ不完全ナル  
 コトヲ攻撃シテ頗ル世ノ耳目ヲ驚カセリ乃チ揚言シテ曰ク民法ノ如キモ數千年  
 來舊說ヲ墨守シテ變スルコト能ハサルハ陋ト謂フヘシ將ニ次テ實驗學派ノ侵蝕ヲ

免レザラントスト然レトモ未タ民法ノ根礎ヲ震撼スルカ如キ言説ヲ出タシタル  
 コトヲ聞カス要スルニ民法ノ根幹タル萬古不易ノ原則ハ姑ク之ヲ不問ニ附セシ  
 然レトモ民法カ其ノ編纂當時ノ思潮ニ從テ種々ノ異采ヲ帶フルコトハ掩蔽スヘ  
 カラスボードリーラカンチーヌリーナポレオン民法ヲ籠蓋スル大則ヲ擧ケテ個  
 人ノ自由財産ノ安固政教ノ分離及各人ノ平等ノ四箇ト爲セリ見ルヘシナポレオ  
 ン民法カ如何ニ當時ノ思想ニ浸淫セラレタルカヲ蓋シ歐洲諸國ハ佛國大革命以  
 來自由制度ヲ以テ建國ノ根礎ト爲スカ故ニ其ノ民法モ亦悉ク自由主義個人主義  
 ノ色采ヲ帶ヒサルハナシ之ニ模倣シタル我カ民法ノ如キモ亦安ソ此ニ免ルコ  
 トヲ得ンヤ然ルニ此ノ自由主義ノ民法ニ對シテ極力反抗ノ氣勢ヲ張ルモノハ社  
 會主義ナリ社會主義ハ個人所有權ヲ非トシ契約ノ自由ヲ非トシ相續ヲ非トシ甚  
 タシキハ婚姻ノ制度ヲモ廢止セントスルモノナリ其ノ言論往々狂暴詭激ニ涉リテ  
 輒ク實行スヘカラサルカ如シト雖モ又多少ノ眞理ヲ包藏スルコトナシトセス將來  
 民法ハ安ソ此ノ點ヨリ大潰裂ヲ生セサルヲ知ランヤ社會主義ノ色采ヲ帶フルコ  
 トナキヲ知ランヤ社會主義ハ經濟上ニ於テハ勞働問題タリ法律上ニ於テハ民法



問題タリ世ノ法學者忽トシテ此ニ省思セサルモノハ余輩怪訝ニ堪ヘサル所ナリ

## 第二節 商法

商法ノ定義モ亦民法ト同シク實質上及形式上ノ二點ヨリ下スコトヲ得ヘシ  
 民法ノ定義ニ對シテ實質上ヨリ商法ノ定義ヲ下セハ商法トハ商事ニ關スル特別  
 私法ノ原則ヲ定ムル法令ノ全體ナリト謂フコトヲ得ヘシ商法カ民事ノ手續ヲ定  
 ムル民事訴訟法登記法等ニ對シテ原則法タルコトハ民法ト同シ然レトモ民法ハ  
 民事ニ關スル普通私法ニシテ商法ハ商事ニ關スル特別私法ナルコト是レ其ノ相  
 異ナル所ナリ而シテ商事ト云フ語ハ民事ト同シク甚タ解シ難キ所ナレトモ商事  
 トハ商行為ニ關スル事項ナリト云ハ、大過ナカルヘシ商行為ノ定義ハ法律及學  
 說ニ於テ之ヲ明示セント企テタルモノナキニ非スト雖モ皆失敗ニ歸セリ中ニ就  
 キテ稍正確ナルモノハ商行為トハ射利ノ目的ヲ以テ他人間ノ仲介ヲ爲スコトヲ  
 謂フトノ定義ナリ然レトモ商行為以外ニモ射利ヲ目的トスル行為アリ又商行為  
 ハ必スシモ他人間ノ仲介ヲ爲スノミニ限ラサルカ故ニ此ノ定義モ決シテ完全ナ

リト謂フヘカラス此ノ如ク商行為ノ定義ヲ下スコトハ甚タ困難ナルカ故ニ近  
 來ノ商法ハ其ノ定義ヲ掲ケスシテ其ノ種類ヲ列記スルノ方法ヲ取レリ我カ新商  
 法モ列記主義ニ依リ第二百六十三條乃至第二百六十五條ニ於テ其ノ種類ヲ限定  
 セリ故ニ商行為トハ商法ニ商行為トシテ列記シタル行為ニシテ商事トハ此等ノ  
 商行為ニ關スル事項ナリト謂フヘシ此ノ如ク言フトキハ或ハ商事トハ商法ニ規  
 定スル事項ナリト云ハンコト寧ロ直截簡明ナルヘシ若シ民事ト云フ語ニ對シテ  
 商事ノ意義ヲ云ハ、或ハ商事トハ人ノ生活上偶然ニ生スヘキ事項ナリト言フコ  
 トヲ得ルヤモ知レス蓋シ人ノ生活上生シ來ルヘキ事項ハ之ヲ必然的當然的及偶  
 然的ノ三種ト爲スコトヲ得ヘシ死亡ノ如キハ必然的事項ナリ契約婚姻ノ如キハ  
 當然的事項ナリ民事ノ中ニハ必然的事項ナキニ非スト雖モ寧ロ當然的事項ヲ多  
 シトスルカ故ニ余輩ハ民事トハ人ノ生活上當然ニ生スヘキ事項ナリト云ヒタル  
 ナリ商事ノ中ニハ必然的事項ナシ當然的事項ハ之ナキニシモ非スト雖モ寧ロ偶  
 然的事項ヲ多シトス故ニ或ハ民事ニ對シテ商事トハ人ノ生活上偶然ニ生スヘキ  
 事項ナリト云ヒ得サルニ非サルヘシトハ思惟スレトモ此ノ如キハ極メテ漠然タ



リト謂フヘシ

形式上ヨリ商法ノ定義ヲ下セハ商法トハ商法ト名シタル法典其ノ物ヲ謂フ是レハ民法ノ形式上ノ定義ト相同シ

商法ノ沿革ハ民法ト全ク其ノ行徑ヲ異ニス商法モ其ノ起源ハ甚タ古シト雖モ羅馬法ニ出テタルモノニ非スシテ寧ロ地中海沿岸ノ諸港其ノ他ノ諸都市ノ習慣ニ本ツキタルモノナリ而シテ近世商法ノ基ヲ成スモノハ實ニ一千六百七十三年及一千六百八十一年ノ佛國ルイ第十四世ノ海上令ニシテ爾來歐洲ハ商業極メテ盛大トナリタルカ爲メ幾多ノ法令慣習ヲ生シ遂ニ之ヲ湊合シテ乃チ今日ノ商法ヲ成スニ至レリ蓋シ商法ノ規定ハ之ヲ二大截シテ陸上商法及海上商法ト爲スコトヲ得ヘシ而シテ其ノ夙ク立法ノ目的トナリ法律ノ體裁ヲ具ヘタルモノハ海上商法ノ部分ナリトス陸上商法ハ大抵民法ノ原則ニ從ヒ唯必要已ムヘカラサルモノニ就キテ商法ニ特別ノ規定ヲ設ケタルノミ故ニ當初ノ商法ハ海上商法主ニシテ其ノ規則多ク陸上商法從ニシテ其ノ規則少ナカリシナリ然ルニ其ノ後陸上ノ商業非常ニ發達シ種々ノ規則ヲ設ケサルヘカラサルニ至リタルヲ以テ今日ハ陸上

商法反リテ其ノ主要ナル部分ヲ占メ海上商法ハ之ニ從屬スルノ姿トナリ主從ノ地位全ク顛倒スルニ至レリ抑モ商事モ亦個人相互ノ關係タルトキハ海商ノ如キ特別ノ事項ハ姑ク之ヲ除外スルトスルモ陸商ニ至リテハ全ク民法ノ規則ニ從フヲ以テ足レリトスヘシ何カ故ニ之カ爲メニ特別ノ規則ヲ設ケルニ至リタルカ是レニハ自ラ其ノ理由アル所ナリ民法ハ羅馬法以來ノ原則ヲ繼承シ頗ル公正ヲ重スト稱セラル然レトモ其ノ規則往々迂遠煩雜ニシテ機敏信用安全ヲ崇重スル商業上ノ需用ニ應スル能ハサルモノアリ而モ商業ノ尙ホ微々タルニ當リテハ忍ヒテ之ニ從フコトヲ得ヘキモ商業ノ極メテ隆昌トナリタル近世ノ社會ニ在リテハ決シテ之ニ從フコト能ハス是レ商法カ民法ノ外ニ獨立シタル理由ノ一ナリ且民法ノ規定事項ト商法ノ規定事項トハ賣買會社寄託代理等ノ如ク同一ノモノナキニ非スト雖モ此等ニ就キテハ上ノ理由ニ依リテ特別ノ規則ヲ設ケサルヘカラス然ルニ海商手形保險運送倉庫問屋等ノ如キ全ク商法ニノミ特別ナル事項甚タ多ク之ニ要スル規定モ亦少ナカラス加フルニ商業一般ニ對シテ特別ノ原則ヲ認ムルノ必要アリ到底之ヲ一部民法法典中ニ編入スルコトヲ得ヘカラス是レ商法カ



民法ノ外ニ獨立シタル理由ノ二ナリ以上ノ理由アルカ爲メ今日歐洲諸國ニ於テハ大抵民法商法ノ二法典具存セザルハナシ本邦ニ於テモ亦之ニ倣ヒテ此ノ二法典ヲ制定セリ我カ商法ハ獨人ロイスレルノ起草ニ係リ明治二十三年四月法律第三十二號ヲ以テ公布セラレタリシモ民法ト同シク修正ノ爲メ延期セラレ其ノ一部ハ修正ヲ經テ明治二十六年七月一日ヨリ實施セラレ其ノ殘部ハ偶然ノ事情ヨリ修正ヲ受クルニ及ハスシテ三十一年七月一日ヨリ一時實施セラレタリシモ遂ニ三十二年六月十六日ヨリ法典調查會ニ於テ修正シタル新商法カ施行セラルコトナリ舊商法ハ全ク其ノ跡ヲ歛ムルニ至レリ

民法ハ普通私法ニシテ商法ハ特別私法ナリ其ノ關係ハ前ニ述フルカ如シ今又贅セス唯此ニ一言セント欲スルモノハ民法及商法中ノ共通ノ事項ニ關スル規定ハ漸次歸一スルノ傾向アルコト是レナリ而シテ其ノ勝ヲ占メテ後ニ殘ルモノハ商法ノ規定ナリ蓋シ民法ハ數百千年來因襲慣用スル所ニシテ其ノ規定往々現代ノ事情ニ適セサルモノアリ之ニ反シテ商法ハ當世ノ需用ニ應シテ作成スル所ナルカ故ニ反リテ今日ノ事態ニ合スルモノアルヲ以テナリ宜ナル哉タレールカ商法

ヲ稱シテ進歩的且侵略的ノ法律ト爲セルヤ然レトモ今日ノ社會ノ進歩ノ程度ハ未タ民事ト商事トカ絕對的ニ同一ノ法規ニ服從スルノ域ニ達セザルナリ又民法及商法ヲ同一ノ法典ニ編纂スヘシトノ論モ亦未決ノ問題ナリ蓋シ民法ハ普通法ニシテ商法ハ特別法ナルトキハ同一ノ規定事項ニ關シテハ先ツ民事ニ關スル原則ヲ揭ケ次ニ商事ニ關スル特別ノ規定ヲ置キ以テ此ノ二者ヲ同一ノ法典中ニ編入スルコトヲ得サルニ非ス乃チ瑞西義務法典ノ如キハ此ノ方式ニ依ルモノニシテ學者ノ嘖々トシテ稱道スル所ナリ然レトモ民事及商事ハ未タ全然同一ノ法規ニ服從スルニ至ラス且民法ト商法トハ各特別ノ事項ヲ含ミ之ニ要スル規定モ亦少小ナラサレハ之ヲ同一ノ法典中ニ編入スルトキハ或ハ錯雜混淆ノ憂ヲ免レサルヘシ要スルニ今日ノ狀況ニ在リテハ民法及商法ハ之ヲ二箇ノ法典ニ分別スルヲ以テ實際上ノ便宜ニ副フルモノト謂フヘキナリ

### 第三節 民事訴訟法

民事訴訟法ハ私法上ノ權利義務ニ就キテ個人相互ノ間ニ爭訟疑議ノ起リタルト



キ之ヲ裁判スル手續ヲ定ムル規則ノ全體ナリ民事訴訟法ノ民法及商法ニ於ケルハ猶ホ刑事訴訟法ノ刑法ニ於ケルカ如ク體法用法ノ關係ヲ有スルモノナリ即チ民法及商法ニ於テハ個人間ニ於ケル權利義務ノ本體ヲ規定シ民事訴訟法ニ於テハ其ノ權利ヲ侵害シ若クハ義務ニ違背シタル者アリタルトキ之ヲ回復セシメ若クハ之ヲ履行セシムル作用ヲ規定スルモノナリ刑事訴訟法及民事訴訟法ハ共ニ用法ニ屬スト雖モ然レトモ刑事訴訟法ハ統治者ノ公權ヲ侵害シタル者アリタルトキ統治機關ノ一部タル檢事力之ニ代ハリ原告トシテ公訴ヲ提起シ刑事裁判所カ之ヲ裁判スルノ手續ヲ定ムルモノニシテ民事訴訟法ハ一個人ノ私權ヲ侵害シタル者アリタルトキ被害者カ私訴ヲ提起シ民事裁判所カ之ヲ裁判スルノ手續ヲ定ムルモノナリ刑事訴訟法ハ公益ノ防禦ヲ主眼トシ民事訴訟法ハ私益ノ保護ヲ主眼トス從テ刑事訴訟法ハ嚴正ニシテ民事訴訟法ハ寬大ナリ刑事訴訟ニ在リテハ檢事自由ニ其ノ公訴ヲ拋棄スルコトヲ得スト雖モ民事訴訟ニ在リテハ原告隨意ニ其ノ私訴ヲ拋棄スルコトヲ得ヘシ是レ刑事訴訟法及民事訴訟法ノ相異ナル要點ナリ而シテ民事訴訟法ト稱スル題號中ノ民事ト云フ語ハ最モ廣汎ノ意義ニ

用非民事及商事ノ二者ヲ包含スルモノナリ

法語ニ曰ク各人ハ自ラ裁判ヲ爲スコトヲ得スト蓋シ各人ハ假令其ノ權利ヲ侵害セラル、モ自ラ其ノ腕力ニ訴ヘテ之カ回復ヲ求ムルコトヲ得ス必スヤ權利保護ノ統治者機關タル裁判所ニ其ノ救濟ヲ請求セサルヘカラスト云フノ意ナリ而シテ民事訴訟法ハ即チ此ノ救濟方法ヲ規定スルモノナリ夫レ民法及商法ニ於テ如何ニ綿密ニ各人ノ私權ヲ規定スルモ若シ之ヲ侵害シタル者アリタルトキ之ヲ救濟スル方法ノ規定ニシテ粗漏不備ナランニハ民法及商法ノ規定モ亦徒然ニ歸シテ已マンノミ是レ民事訴訟法ノ極メテ必要ナリトスル所以ナリ故ニ民事訴訟法ノ目的ハ私權ノ侵害ヲ救濟シ以テ個人ノ私闘ヲ杜絶シ以テ社會ノ秩序ヲ保持スルニ在リ民事訴訟法カ能ク此ノ目的ヲ達センカ爲メニハ真正ノ事實ヲ發見シテ權利義務ノ所在ヲ明確ニシ嚴正ニ法律ヲ適用シテ以テ伸張セラレサルノ權利ナカラシメ冤枉セラレタルノ義務ナカラシメサルヘカラス然レトモ之カ爲メニ多クノ時日ト費用トヲ要スルトキハ反リテ當事者ノ爲メニ不利益タルコトヲ免レス故ニ民事訴訟法ノ規定ハ一方ニ於テ綿密正確ノ態度ナカルヘカラサルト同時



ニ他方ニ於テ簡約敏捷ノ姿致ナカルヘカラス是レ正ニ立法者苦心ノ存スル所ナリ

民事訴訟ハ道德ノ旨意ニ背反スルヤ否ヤ世間往々自家ノ權利ヲ伸張センカ爲メニ訴訟ヲ提起スル者ヲ指シテ不道德ノ人ト爲ス此ノ言果シテ正當ナルヤ余輩ヲ以テ之ヲ見ルニ義務カ任意ニ其ノ義務ヲ履行セサルニ當リテ權利者カ裁判所ニ請求シテ之ヲ履行セシムルハ決シテ道德ノ旨意ニ背反スルモノニ非ス然レトモ義務者カ誠實敦朴ノ人ニシテ敢テ義務ヲ逃レントスル者ニ非ス唯種々ノ不幸災厄ニ遭遇シ義務ヲ履行セント欲スルモ事實之ヲ爲スコト能ハサルカ如キ場合ニ於テ尙ホ自己ニ權利アルノ故ヲ以テ直ニ之ヲ訴追シ窘迫スルニ至リテハ頗ル道德ノ旨意ニ背反スルモノト謂ハサルコトヲ得ス況ヤ正當ノ權利ナクシテ妄リニ訴訟ヲ提起シ平地ニ風波ヲ惹起スル健訟ノ風ノ如キ若クハ權利ニ假託シテ不當ノ要求ヲ爲スコト高利貸ノ如キニ至リテハ尤モ道德ニ背反スルモノナリ且訴訟ハ假令正當ノ權利ニ本ツキ道德上毫モ非難スル所ナシトスルモ尙ホ經濟上ノ利益ト相容レサルモノアリ諺ニ之アリ曰ク百兩ノ代價ニ編笠一個ト又曰ク最モ良

果ヲ得タル訴訟ハ最モ惡結果ニ局ヲ結ヒタル和解ニ如カスト和解若クハ仲裁ニ依リテ未タ訴訟ヲ提起セサル中ニ争ヲ止ムルハ當事者雙方ノ爲メ最モ利益ナリト十分ニ利益ヲ得ヘキ訴訟ニ在リテモ其ノ結果此ノ如シ況ヤ始メヨリ利益ナキ訴訟ハ之ヲ言サ、ルニ如カス故ニ曰ク利益ナクレハ訴權ナシト民事訴訟法ハ成ルヘク權利者ヲ保護シ必ス其ノ權利ヲ伸張セシメンコトヲ期スト雖モ義務者ニシテ其ノ義務ヲ履行スルノ資力アラサルトキハ又之ヲ奈何トモスルコト能ハサルナリ要スルニ訴訟ハ必要已ムコトヲ得サル場合ノ外ハ之ヲ提起セサルヲ以テ正當且有益ナリトス語ニ曰ク人ノ才智ハ之ヲ用非ルコト須ラク楯ノ如クナルヘシ決シテ劍ノ如クスヘカラスト余輩訴訟ニ就キテモ亦云フ、

民事訴訟法ハ私法ナルヤ將タ公法ナルヤ之ニ關シテハ或ハ之ヲ公法トスルアリ或ハ之ヲ私法トスルアリ或ハ之ヲ公私混淆ノ法律ナリトスルアリテ議論一定セス其ノ之ヲ公法ナリトスル者ハ民事訴訟法ヲ統治機關ノ一部タル裁判所ト訴訟當事者トノ關係ヲ規定スルノ點ヨリシテ觀察シタルモノナリ其ノ之ヲ私法ナリトスル者ハ民事訴訟法ヲ訴訟當事者相互ノ關係ヲ規定スルノ點ヨリシテ觀察シ



タルモノナリ其ノ之ヲ公私混淆ノ法律ナリトスル者ハ民事訴訟法ノ一部ハ裁判所ト當事者トノ關係ヲ規定シ其ノ一部ハ當事者相互ノ關係ヲ規定スルモノト爲スニ由ルナリ若シ公法及私法ノ區別ハ法律全體ノ區別ニ非スシテ法律中ノ各條規ノ區別ナリトスルトキハ第三說ハ或ハ穩當ナルヘシト雖モ今日普通ノ見解ニ於テハ公法及私法ノ區別ヲ以テ法律全體ノ區別ナリトシ唯其ノ大體ノ性質ニ依リテ其ノ何レニ屬スヘキヤヲ定ムルモノト爲セリ而シテ民事訴訟法ヲ以テ公法ナリトスルノ學者モ少ナカラスト雖モ余輩ノ見ル所ヲ以テスレハ民事訴訟法ハ斷然之ヲ私法ノ一種ト見做スヘキモノナリ余輩既ニ曰ク民法及商法ハ私法ノ本體ヲ定メ民事訴訟法ハ私權ノ作用ヲ定ム民事訴訟法ハ私權ノ侵害ヲ救済スル方法ヲ規定スル法律ナリト私權ヲ規定スル法律ハ私法ナリ然ルニ民事訴訟法ハ私權ヲ規定スルモノナリ故ニ民事訴訟法ハ私法ナリ或ハ民事訴訟法カ裁判所ト訴訟當事者トノ關係ヲ規定スルノ故ヲ以テ之ヲ公法ナリト爲スト雖モ若シ此ノ故ヲ以テ民事訴訟法ヲ公法ナリト云フコトヲ得ハ民法及商法モ亦公法ナリト謂ハサルヘカラス蓋シ民法及商法ハ個人相互間ノ權利義務ヲ規定スルモノナリト雖

モ其ノ之ヲ規定スルモノハ即チ統治者ニシテ統治者カ之ヲ規定シタルニ依リテ個人ハ權利ヲ有スルコトヲ得ルナリ此ノ點ヨリ言ヘハ民法及商法モ亦統治者ト個人トノ關係ニシテ即チ公法ナリト謂フコトヲ得ヘシ然ルニ民事訴訟法ハ個人ノ權利ヲ侵害シタル者アリタルトキ之ヲ救済スルノ方法ヲ規定スルモノナリ其ノ救済ヲ爲ス者ハ統治者ノ機關タル裁判所ナリト雖モ其ノ救済ヲ受クル者ハ個人ノ權利ニ外ナラス然ラハ統治者カ民法及商法ニ於テ個人ノ權利ヲ規定スルト民事訴訟法ニ於テ私權侵害ノ救済方法ヲ規定スルト統治者カ個人相互ノ關係ニ干涉シ其ノ權利ヲ保護スルコトハ全ク同一ナリト謂ハサルヘカラス唯民法及商法ニ於テハ統治者カ單純ニ個人ノ權利ヲ規定スルニ止ルモ民事訴訟法ニ於テハ統治者カ裁判所ヲシテ私權侵害ヲ救済セシムルノ差異ナルノミ換言スレハ民法及商法ニ於テハ統治者ノ意思カ一般且隱暗ニ存在シ民事訴訟法ニ於テハ統治者ノ意思カ直接且表現ニ發動ス然レトモ其ノ私權ヲ規定スルハ全ク相同シ故ニ既ニ民法及商法ヲ以テ私法ト爲ストキハ民事訴訟法モ亦必ス私法ト爲サ、ルコトヲ得サルナリ



民事訴訟法ノ編制ハ始メニ訴訟主格即チ裁判所及當事者ノ事ヲ規定シ次ニ訴訟手續ヲ規定シ終リニ強制執行ヲ規定ス蓋シ一ノ訴訟ヲ起サント欲スル者ハ先ツ其ノ管轄裁判所ノ何レタルヤヲ知り且訴訟當事者タルニハ如何ナル資格ヲ具有セサルヘカラサルヤヲ知ラサルヘカラス既ニ裁判所及當事者ヲ知ルトキハ訴訟ヲ爲スノ方式ヲ知ラサルヘカラス既ニ訴訟ヲ爲スノ方式ヲ知リ之ニ依リテ裁判ヲ受ケタルトキハ之ヲ執行セシムルノ手續ヲ知ラサルヘカラス民事訴訟法ハ即チ此ノ事物自然ノ順序ニ從ヒ右三段ノ事項ヲ規定シタルモノナリ

民事及刑事ノ裁判ハ古代ニ於テハ今日ノ如ク明白ニ分科セサリシト雖モ其ノ並ヒ存セシコトハ固ヨリ疑ヲ容レズ而シテ理論上ノ順序ハ體法カ用法ニ先ダツヘキモノナリト雖モ沿革上ノ順序ハ用法カ反リテ體法ノ前ニ在リタルモノナリ東西諸國古今ノ史乘ニ徴シテ訴訟手續ノ沿革ヲ研究セシコトハ法律學上亦頗ル興味アル所ナレトモ此ニ之ヲ叙述スルコトヲ得ス我カ現行民事訴訟法ハ獨逸民事訴訟法ニ模倣シテ制定シタルモノニシテ本邦古來ノ沿革トハ何等ノ聯繫ナキコト刑事訴訟ト同シ明治十七年五月始メテ獨逸人テヒヨールニ託シテ民事訴訟法ヲ

起草セシメ別ニ民事訴訟法取調委員ヲ設ケテヒヨールノ草案ヲ審査セシメタリ然ルニ其ノ草案極メテ不完全ナリシヲ以テ更ニ獨逸人モツセーニ託シテ之ヲ修正セシメントセシニモツセー之ヲ辭セリ是ニ於テ取調委員自ラ草案ヲ作り審議確定シタルモノ即チ現行法ナリ現行法ハ明治二十三年三月法律第二十九號ヲ以テ公布セラレ翌二十四年一月一日ヨリ施行セラレ以テ今日ニ至ルモノナリ民事訴訟法ハ民法商法ノ規定ヲ待タスシテ單獨ニ施行スルコトヲ得サルニ非スト雖モ又此ノ二法ノ規定ト對應シテ其ノ用ヲ爲スモノナキニ非ス且現行民事訴訟法ハ不備不明ノ點甚タ多シ故ニ民事訴訟法ハ民法商法修正ノ結果トシテ遠カラスシテ大ニ修正ヲ受クルコトアルヘキナリ



## 第四編 公權及公法

本編ニ於テハ先ツ民權ノ種類タル國民權及統治權ヲ分説シ次ニ公法ノ種類タル憲法行政法刑法及刑事訴訟法ヲ略述セントス余輩カ國民權ヲ先ニシ統治權ヲ後ニスル所以ハ思想推移ノ自然ノ順序ニ從ヒ前編ノ私權ニ牽聯シテ一個人ノ權利ヲ述ヘ然ル後ニ統治者ノ權利ニ及ヒ以テ第五編ノ國權ニ接續セント欲スルノ旨意ニ出ツ敢テ其ノ間ニ差等ヲ設クルモノニ非ス讀者之ヲ諒ニセヨ

### 第一章 公權

#### 第一節 國民權(民權)

國民權ハ被治者カ統治權ニ對シテ有スル所ノ權利ニシテ國民タル者ノ專有スル所ナリ其ノ主要ナルモノハ國民カ國政ニ參與スルノ權利ナリ國民權ノ種類大概左ノ如シ

(甲) 國會議員ニ選舉セラレ、ノ權利

國會議員ノ被選權ハ國民カ依リテ以テ國家ノ立法事業ニ參與スルコトヲ得ル所以ノモノニシテ公權中ノ最重要ナルモノナリ被選人ノ資格ハ衆議院議員選舉法及貴族院令ニ之ヲ規定セリ被選人ノ資格ハ各國異同アリテ一様ナラスト雖モ我カ衆議院議員ノ被選人ニ年齡滿三十年以上納稅十五圓以上ノ資格ヲ要ストスルカ如キ苛嚴ナル條件ヲ定ムルモノハ未タ其ノ例ヲ見サル所ナリ是レ國民ノ多數ニ被選權ヲ與ヘサルト一般ナリ選舉法改正草案カ唯滿三十年以上ノ年齡資格ノミヲ存シテ納稅資格ヲ全廢シタルハ最モ其ノ當ヲ得タリト謂フヘシ但シ其ノ年齡資格モ之ヲ滿二十五年以上トセハ更ニ妙ナラン

外國人ハ國會議員ノ被選權ヲ有セサルコト勿論ナリト雖モ國籍法(三十二年法律第六十六號)ニ依レハ歸化人モ亦帝國議會ノ議員トナルコトヲ得ス但歸化後一定ノ年限ヲ經過シタル者ハ內務大臣勅裁ヲ經テ此ノ制限ヲ解除スルコトヲ得ルモノトセリ(國籍法一六條一七條)

(乙) 國會議員ヲ選舉スルノ權利

國會議員ノ選舉權ハ國民カ其ノ信賴スル所ノ人ヲ舉クテ立法事業ニ協贊セシム



ルモノニシテ間接ニ國政ニ參與スルモノト謂フモノナリ現行衆議院議員選舉法ハ選舉人ノ資格ヲ年齡二十五年以上納稅十五圓以上トス然ルニ選舉法改正草案ニ於テ其ノ納稅資格ヲ地租五圓所得稅又ハ營業稅三圓以上ニ減少シタルハ是レ亦其ノ當ヲ得タリト謂フヘシ

(丙) 官吏ト爲ルノ權利

帝國憲法第十九條ニ曰ク日本臣民ハ法律命令ノ定ムル所ノ資格ニ應ジ均ク文武官ニ任セラレ及他ノ公務ニ就クコトヲ得ト是レ從來門閥品流ヲ論シテ官職ヲ授ケタル陋習ヲ一洗シタルモノナリ故ニ日本臣民タル者ハ平等ニ官吏ニ任用セラル、ノ權利ヲ有ス然レトモ官吏トナルニハ相當ノ資格ナカルヘカラサルカ故ニ法律命令ニ於テ其ノ資格ヲ定メ之ヲ具備シタル者ニシテ始メテ官吏ニ任用セラル、モノトス其ノ資格ハ行政官、司法官、武官等ニ依リテ同シカラス文官任用令、文官試驗規則、裁判所構成法、士官補充條例等ニ於テ之ヲ規定セリ文武官ヲ任命スルノ權ハ天皇ニ屬ス(憲一〇條)故ニ官吏ハ必ス任官ノ形式ニ依リテ任用セラル、モノナリ任官ノ形式ハ親任、官勅、任官、奏任、官判、任官ニ依リテ異ナ

ル、或ハ天皇親ラ之ヲ任シ或ハ國務大臣ノ上奏ヲ待チテ之ヲ任シ或ハ國務大臣以下ニ委任シテ任命セシム官吏ハ官制ニ依リテ定マリタル國家ノ公務ヲ行フノ任務ヲ負フ者ナリ是レ官吏ト爲ルノ權利ヲ以テ國民權即チ國政ニ參與スル權利ノ一ニ列スル所以ナリ然レトモ國家ノ公務ヲ行フ者ハ悉ク官吏ナリト謂フコトヲ得ス例ヘハ工事請負人、カ道路、河川ヲ修繕シ砲臺、城塞ヲ築造スルカ如キ國會議員、カ立法事業ニ參與シ地方團體ノ名譽職カ國政ヲ其ノ部内ニ施行スルカ如キ皆國家ノ公務ヲ行フモノナリト雖モ是レハ契約又ハ法律ノ規定ニ本ツクモノニシテ任官ノ形式ニ依ルモノニ非サルカ故ニ之ヲ官吏ト稱スルコトヲ得サルナリ外國人ハ官吏ニ任用セラル、ノ權利ヲ有セサルコト勿論ナリト雖モ直接ニ國權ノ行使ニ關セサル職務ニ就キテ外國人ヲ使役スルコトハ實際屢見ル所ナリ例ヘハ政務顧問、法律案起草、軍隊練習、學校教師、印刷技師等ニ外國人ヲ雇傭スルカ如シ、蓋シ官吏ハ其ノ性質上統治權一部ノ行使ヲ委任セラレタル官吏、補助官吏及雇傭官吏ノ三類ニ分別スルコトヲ得ルモノニシテ補助官吏以下ハ單ニ給料ヲ受ケテ犬馬ノ勞ニ服スルモノナルカ故ニ或ル場合ニ於テハ外國人ヲ使役スルモノ固ヨリ



妨クアラスシテ外國ノ法制ニ於テモ往々之ヲ認許スルモノアリ國籍法ニ依レハ歸化人ハ歸化後一定ノ年限ヲ經テ特許ヲ受クルニ非サレハ國務大臣樞密院ノ議長副議長又ハ顧問官宮内勅任官特命全權公使陸海軍ノ將官大審院長會計検査院長又ハ行政裁判所長官ニ任命セラル、コトヲ得サルモノトセリ(國籍法一六條)

(丁) 公民權

公民權トハ地方團體ノ公務ニ參與スルノ權利ヲ謂フ例ヘハ市町村長助役トナリ市町村會郡會府縣會ノ議員トナルカ如シ地方團體ノ公務中ニハ國ノ公務ニ關スルモノアリ單ニ地方團體固有ノ公務ニ關スルモノアリ國ノ公務ニ關スルトキハ公民權モ亦固ヨリ國民權即チ國政ニ參與スルノ權利ナリト云フコトヲ得ヘキモ單ニ地方團體固有ノ公務ニ關スルトキハ之ヲ公權ト稱スヘカラサルカ如シ然レトモ地方團體固有ノ公務モ廣義ニ於テハ亦國ノ公務ニ外ナラサルヲ以テ尙ホ之ヲ公權ト稱スルコトヲ妨クサルナリ

以上ニ列舉スル所ノ權利ハ國民カ國政ニ參與スルノ權利ニシテ或ル者ノ所謂政權ト稱スルモノナリ以下ニ列舉スル所ノ權利モ亦固ヨリ國民タル者ノ專有ニ屬

スル所ノ權利ナレトモ政權トハ頗ル其ノ性質ヲ異ニスルモノナリ

(戊) 國籍ヲ保有スルノ權利

日本臣民ハ完全ニ公權及私權ヲ享有スルコトヲ得レトモ外國人ハ絶對ニ公權ヲ享有スルコトヲ得サルハ勿論乃チ私權ト雖モ完全ニ之ヲ享有スルコトヲ得サルモノナルカ故ニ國籍ヲ保有スルノ權利ハ他ノ一般ノ權利ノ得喪ニ重大ナル影響ヲ及ホスモノナリ而シテ國籍ハ臣民ト國土トノ連鎖ニシテ國籍ヲ保有スル者ニシテ始メテ本國人タルコトヲ得ヘキモノナリ帝國憲法第十八條ニ曰ク日本臣民タルノ要件ハ法律ノ定ムル所ニ依ルト故ニ一定ノ要件ヲ具備スル者ニ非サレハ日本臣民タルノ分限ヲ有スルコト能ハス即チ國籍ヲ保有スルノ權利ヲ有セザルナリ而シテ其ノ要件ハ國籍法ノ定ムル所ナリ

國籍法ニ依レハ日本臣民タル分限ヲ取得スル原因ハ出生及法律ノ特典ノ二トス日本人ノ子ハ生レナカラニシテ日本人タリ是レ出生ニ因リテ國籍ヲ取得スルモノナリ法律ノ特典ニ因リテ國籍ヲ取得スルハ皆出生後ノ事實ニ係ル其ノ場合左ノ如シ



- 一、日本人ノ妻ト爲リタルトキ
- 二、日本人ノ入夫ト爲リタルトキ
- 三、日本人タル父又ハ母ニ依リテ認知セラレタルトキ
- 四、日本人ノ養子ト爲リタルトキ
- 五、歸化ヲ爲シタルトキ(國籍法五條)

外國人カ日本人ノ入夫又ハ養子ト爲ルニハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要シ内務大臣ハ其ノ外國人カ引續キ一年以上日本ニ住所又ハ居所ヲ有シ且品行端正ナルニ非サレハ之ニ許可ヲ與フルコトヲ得サルモノトス(明治三十一年七月法律第二十一號)

外國人カ日本ニ歸化スルコトヲ得ル條件ハ(一)引續キ五年以上日本ニ住所ヲ有スルコト(二)滿二十年以上ニシテ本國法ニ依リ能力ヲ有スルコト(三)品行端正ナルコト(四)獨立ノ生計ヲ營ムニ足ルヘキ資産又ハ技能アルコト(五)國籍ヲ有セス又ハ日本ノ國籍ノ取得ニ因リテ其ノ國籍ヲ失フヘキコトノ五號ニシテ此等ノ條件ヲ具備シ且内務大臣ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス但日本ニ特別ノ功勞アル外國人ハ此等

ノ條件ヲ具備セスト雖モ内務大臣勅裁ヲ經テ其ノ歸化ヲ許可スルコトヲ得ヘシ(國籍法六條一一條)

出生及法律ノ特典ノ外國土ノ擴張ニ因リテ外國人ハ日本ノ國籍ヲ取得スルコトアリ即チ戰爭又ハ條約ノ結果ニ依リテ外國ノ土地カ日本ニ併合セラレタルトキハ其ノ地ノ住民ハ日本ノ國籍ヲ取得スヘシ然レトモ此ノ場合ハ特別ノ場合ニシテ其ノ時ニ臨ミテ特別ノ法令ヲ發シ又ハ條約ヲ以テ其ノ住民ニ國籍選擇ノ猶豫ヲ與フル等適宜ノ處分ヲ行フヘキモノナルカ故ニ國籍法ニハ之ヲ規定セザルナリ(國籍喪失ノ場合ハ(一)日本ノ女カ外國人ト婚姻シタルトキ(二)自己ノ志望ニ依リテ外國ノ國籍ヲ取得シタルトキ(三)婚姻又ハ養子縁組ニ因リテ日本ノ國籍ヲ取得シタル者カ離婚又ハ離縁ヲ爲シタルトキ(四)日本ノ國籍ヲ失ヒタル者ノ妻及子カ其ノ者ノ國籍ヲ取得シタルトキ(五)日本人タル子カ認知ニ因リテ外國ノ國籍ヲ取得シタルトキノ五トス但此等ノ場合ニ就キテハ尙ホ多少ノ制限アリ又日本ノ國籍ヲ喪失シタル者ハ容易ニ之ヲ回復スルコトヲ得ルノ規定アリ今煩ヲ避ケテ一々之ヲ説明セス(國籍法一八條乃至二七條)



抑モ國籍ヲ保有スルノ權利ハ何人ニ對向スルモノナルヤ換言スレハ此ノ權利ニ對シテ義務ヲ負フ者ハ何人ナルヤ此ノ權利ハ外國人ニ對スト爲サンカ外國人ハ原則トシテ日本法律ヨリ生スル義務ヲ負フ者ニ非サルカ故ニ外國人ハ此ノ權利ニ對シテ日本臣民タルノ分限ヲ侵害セサルノ義務ヲ負フ者ニ非サルヤ明クシ勿論日本人カ外國ニ在ルトキ外國ニ對シテ日本臣民タルノ分限ヲ主張スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テ其ノ外國ノ法律ニ他國人ノ分限ヲ認ムヘキ規定アリタラシニハ外國人ハ其ノ法律ニ依リテ日本人ノ分限ヲ認ムヘシト雖モ若シ此ノ如キ法律アラサルトキハ外國人ハ必スシモ日本人ノ分限ヲ認ムルモノニ非ス之ヲ認ムルト否トハ其ノ自由タルヘシ故ニ日本人ハ日本法律ノ要件ヲ具備スルノ一事ヲ以テ直ニ其ノ分限ヲ外國人ニ對抗スルコトヲ得サルナリ然ラハ此ノ權利ハ統治者ニ對スト爲サンカ統治者カ人民ニ對シテ義務ヲ負フコトアルハ勿論ナリト雖モ然レトモ前ニモ述ヘタルカ如ク統治者ハ其ノ性質上法律ニ違背スルモノニ非サルカ故ニ統治者カ法律ヲ設ケテ臣民ノ分限ヲ定メタル以上ハ其ノ法律ノ要件ヲ具備シタル者ノ分限ヲ否認スルコトハ殆トアラサルヘシ故ニ此ノ權利ニ對

シテ主トシテ之ヲ侵害セサルノ義務ヲ負フ者ハ日本ノ官吏其ノ他一般ノ人ナルヘシ即チ日本ノ官吏其ノ他ノ人カ或ル日本人ノ分限ヲ否認シテ其ノ日本人タル分限ニ伴フ權利ノ享有行使ヲ妨害シタルトキハ被害者ハ國籍法ノ要件ヲ具備スルコトヲ主張シテ其ノ權利ヲ保全スルコトヲ得ヘキナリ

(巳) 政談集會ヲ爲シ及政社ヲ設クルノ權利

集會及政社法第五條ニ日本臣民ニ非サル者ハ政談集會ノ發起人タルコトヲ得サル旨ヲ規定シ第七條ニ日本臣民ニ非サル者ハ政談集會ニ於テ講談論議ヲ爲スコトヲ得サル旨ヲ規定シ第二十四條ニ日本臣民ニ非サル者ハ政社ニ加入スルコトヲ得サル旨ヲ規定スルヲ以テ政談集會ヲ爲シ及政社ヲ設クルノ權利ハ日本臣民ノ特權ニ屬スルモノト知ルヘシ

抑モ政談集會ヲ爲スノ權利政社ヲ設クルノ權利ノ如キハ果シテ之ヲ國民權ト稱スルコトヲ得ヘキカ夫レ人カ言論文章ニ依リテ其ノ思想ヲ發表スルハ人タルノ性格ニ原本スルモノナルカ故ニ此等ノ權利ハ寧ロ私權中ノ人ノ性格ヨリ生スル人身權ノ一種ニハ非サルカ是レ或ハ然ラシトモ政談集會ヲ爲シ政社ヲ設立



スルカ如キハ直ニ人ノ性格ヨリ流出スルモノトモ言ヒ難キモノアリテ一般社會上ノ集會結社トハ頗ル其ノ趣ヲ異ニスルモノアルヲ以テ姑ク此ニ之ヲ雁行セシメタルノミ

(庚) 兵役ニ就クノ權利

兵役ニ就クハ一方ヨリ見レハ臣民ノ義務負擔タリト雖モ他方ヨリ見レハ其ノ權利名譽タルモノニシテ外國人ハ此ノ權利ヲ享有スルコトヲ得サルモノトス(徵兵令第一條)

(辛) 辯護士及公證人ト爲ルノ權利

辯護士法第二條ニ辯護士タラント欲スル者ハ日本臣民ニシテ民法上ノ能力ヲ有スル成年以上ノ男子タルコトヲ要ストノ明文アルヲ以テ辯護士ト爲ルノ權利ハ日本臣民ノ特權タルモノナリ英國ニ於テハソリシトル(代訟人)ハ一ノ公務ニ屬スルモノトシテ外國人ハ其ノ資格ヲ得ヘカラスト雖モ「バリスト」(代言人)ハ一ノ職業ニ屬スルモノトシテ外國人モ其ノ資格ヲ得ヘキモノトス但英國ノ訟廷ニ於テ代言ノ職ヲ行フ者ハ必ス英國ニ於テ「バリスト」ノ免許ヲ得タル者ニ限り外國ニ

於テ代言人ノ資格ヲ得タル者モ之ヲ行フヲ得ス米國ニ於テハ外國人ヲシテ辯護士ノ職ヲ行フコトヲ得シムト雖モ紐約克其ノ他二三ノ州ニ於テハ之ヲ禁セリ獨逸聯邦ノ一タルブラウンシュワイヒニ於テハ外國ニ於テ辯護士ノ資格アル者ハ其ノ訟廷ニ代言ノ職ヲ行フコトヲ得シム其ノ他ノ諸國ニ於テハ概シテ外國人ヲシテ辯護士ノ職務ヲ行ハシムルモノナシ本邦ノ制モ蓋シ此等多數諸國ノ例ニ倣ヒタルモノナルヘシ

公證人ニ就キテハ特別ノ明文ナシト雖モ公證人ハ一ノ公務ヲ行フ者ナルカ故ニ其ノ性質上日本臣民ニ限ルヘキコト明ナリ

執達吏ハ裁判所構成ノ一員トシテ司法機關ノ一部ヲ成スモノナルカ故ニ日本臣民ニ限ルコト勿論ナリ

醫師小學校教員ノ如キハ特別ノ資格ヲ要スル者ナレトモ日本臣民ニ限ルノ明文アラサルカ故ニ外國人ト雖モ其ノ資格ヲ具備スルトキハ其ノ職ヲ行フコトヲ得ヘキナリ余輩ヲ以テ之ヲ見ルニ醫師ハ方術ノ士ナルカ故ニ本國ノ醫術開業ノ免許ヲ有スル外國人カ日本ニ於テ醫業ヲ行フモ妨ダナカルヘシト雖モ小學校教員



ニ至リテハ國民養成ノ重任ヲ帶フル者ナルカ故ニ明文ヲ以テ外國人ニハ之ヲ禁スルコトヲ以テ正當ナリト信ス  
以上ニ列記スルモノ、外請願ヲ爲スノ權利ノ如キモ亦或ル範圍内ニ於テ國民ノ專有ニ屬スルモノナリト雖モ政治其ノ他公益ノ事項ニ關スル請願ヲ除キテハ外國人ト雖モ亦請願ヲ爲スコトヲ得ヘキヲ以テ之ヲ國民權ノ一種ト爲スコトヲ得サルナリ又新聞紙ヲ發行スルノ權利ノ如キモ改正條約實施以前ハ國民專有ノ權利ト爲シタレトモ外國人ハ治外法權ニ依リテ新聞紙ヲ發行スルコトヲ得タリシナリ然ルニ今日ハ治外法權ヲ撤去スルコト、ナリタルカ故ニ外國人ニモ日本人ト同シク新聞紙發行ノ權利ヲ許與セリ此等ノ權利ノ外國民權ノ種類ニ屬スヘキモノ尙ホ或ハ之アラン唯余輩未タ之ヲ精査スルコトヲ得サルヲ以テ憾事ト爲スノミ若シ夫レ私權ニシテ外國人ノ享有スルコトヲ得サルモノハ甚タ多シ土地所有權礦物採掘權日本船舶所有權ノ如キ皆是レナリ余輩ハ國民權ニ關シテ更ニ多ク言フヘキモノヲ有セサルナリ

## 第二節 統治權(君權)

### 第一款 統治權ノ本體

統治權ハ國家ヲ統治スルノ權利ナリ國家ハ政治ノ目的ヲ有スル國人ノ團體ナリ政治ノ目的ハ國家ノ秩序ヲ保持シ人民ノ福利ヲ増進スルニ在リ國家ヲ統治スト云フハ即チ此ノ目的ヲ遂行スルノ謂ナリ故ニ統治權ハ政治ノ目的ヲ達スルカ爲メニ存スル權利ナリ統治權ハ又之ヲ主權ト稱ス此ノ權利ヲ有スル者ヲ統治者若クハ主權者ト謂フ

國家ノ理論上ノ起源ハ人性ヲ保全シ完成スルノ必要ニ存スルコト前ニ述フル所ノ如クナルトキハ統治權ノ起源モ亦タ固ヨリ此ニ在リト謂ハサルヘカラサルナリ統治權ハ即チ此ノ必要ニ應シテ内ハ國內ノ秩序ヲ保チ外ハ敵國ノ侵襲ヲ遏メ其ノ他國民ノ物質的及精神的ノ進歩發達ヲ企圖スル等百般ノ施設ヲ行フモノナリ此等ノ施設ヲ稱シテ政治ト謂フ統治權ハ政治ノ目的ノ爲メニ存スル權利ナリト云フハ是ノ謂ナリ但政治ノ目的ハ時ト所トニ依リテ其ノ範圍ノ廣狹ヲ異ニス



或ハ政治ノ目的ハ單ニ各人ノ權利ヲ劃定シ保障シ相侵犯スルコトナカラシメ以テ國家ノ秩序安寧ヲ保持スルニ止マルモノトスルアリ或ハ政治ノ目的ハ獨リ之ノミニ止マラスシテ此ノ外尙ホ學藝實業救貧交通貯金凡ソ國民ノ幸福利益ヲ増進スヘキモノニシテ個人ノ力自ラ辨給スル能ハサルモノハ皆其中ニ包含セラルトスルアリ而シテ今日ノ實際及理論ハ寧ロ後說ニ傾嚮スルモノ、如シ統治權ハ一國ノ政治上ニ於ケル最高ノ權利ナリ爾餘ノ諸權利ハ皆統治權ヲ掩護ニ依リテ其ノ效力ヲ全フスルコトヲ得ルナリ統治權ノ上ニ統治權アルコトナシ一國內ニ二個ノ統治權並存スヘカラサルハ譬ヘハ猶ホ二個ノ物體カ同時ニ同一ノ空間ヲ占有スルコト能ハサルカ如シ統治權ハ外國ノ統治權ヲ排斥ス故ニ統治權ハ一國內ニハ完全ニ行ハル、モ國疆外ニ行ハレス二個ノ統治權相對立スルトキハ和親交通スルニ非サレハ戰爭侵略アルノミ一方ヨリ他方ニ命令スルコト能ハサルナリ

或ハ統治權ノ性質ヲ形容シテ絕對無限ナリト謂フ然レトモ此ノ說ハ誤レリ統治權ハ政治ノ目的ノ爲メニ存ス其ノ目的以外ニ逸出スルコトヲ得サルナリ統治權

ハ統治者ノ權利タルト同時ニ其ノ義務タルノ性質ヲ有ス統治者ハ必ス此ノ權利ヲ行使シテ以テ政治ノ目的ヲ達セサルヘカラサルナリ統治權ハ豈統治者ノ私利私情ヲ満足セシムルノ具ナランヤ統治權ハ決シテ絕對無限ニ非サルナリ國體ト政體トハ混同スヘカラス國體ハ統治權ノ所在ニ依リテ定マリ、政體ハ統治權運用ノ方法ニ依リテ決ス國體ニ二種アリ君主國體及民主國體是レナリ政體ニ二種アリ專制政體及立憲政體是レナリ專制政體トハ主權ノ運用カ些モ制限セラル、コトナキモノヲ謂ヒ立憲政體トハ主權ヲ運用スルニ必ス憲法ノ規定ニ由ルモノヲ謂フ故ニ君主國體ニシテ專制政體若クハ立憲政體ニ由ルモノアルコトヲ知ルヘシ即チ民主國體ニモ亦專制政體若クハ立憲政體ニ由ルモノアルコトヲ知ルヘシ即チ君主專制國ト云フハ君主國體ニシテ專制政體ヲ取ルモノナリ今日ノ魯西亞支那ノ如キ是レナリ君主立憲國ト云フハ君主國體ニシテ立憲政體ヲ取ルモノナリ我カ邦ノ如キ是レナリ英國ノ如キモ固ヨリ君主アリト雖モ英國ノ統治權ハ君主一人ニ在ラスシテ君主國會トニ共屬スルモノナルカ故ニ純然タル君主國體ト謂フコトヲ得ス此ノ點ヨリシテ立憲政體ヲ細別シテ君主制立憲政體及議院制立憲



政體ト爲スモノアリ然レトモ議院制立憲政體ト云フモノハ寧ロ民主國體ト見ルヘキモノナリ民主國體ニシテ專政政體ヲ取ルモノハ古希臘ノ共和國ノ如キ即チ是レナリト雖モ今日ノ民主國ハ悉ク立憲政體ヲ取レリ北米合衆國佛國瑞西國ノ如キ皆是レナリ

方今民主國ニ在リテハ往々多數政治ノ弊ヲ厭ヒ君主國體ノ利ヲ主張スル者アリ其ノ言ニ曰ク「君主國ニ在リテ統治權ハ王家ノ總攬スル所ニシテ確定不動ナルカ故ニ又權力爭奪ノ紛擾ヲ見ルコトナシ君主國ニ在リテ統治者ハ常ニ嚴存スルカ故ニ屢之ヲ改造スルノ煩累ナシ是レ國民ノ爲メ絶大ノ利益ナリ王家ノ莊嚴雄偉ナル國民ヲシテ容易ニ服從恭敬ノ心アラシメ又忿嫉妬忌ノ念アルコトヲ得サラシム君主ハ國家ノ隆昌ト臣民ノ康福トヲ圖ルノ外又一身ノ利ヲ營ムノ要ナシ則チ君主ノ利害ト國家ノ利害トハ相混融シテ分別スルコトヲ得ス而シテ君主國ハ世襲ナルカ故ニ王家ト國家ト全ク其ノ利害ヲ同フシ世々ノ君主皆國民ノ名譽幸福ヲ進ムルヲ以テ唯一ノ本務ト爲スヘシ内政外交共ニ恒久先見適度ヲ得ヘク行事機宜ニ合シテ敏疾有力ナルヘシ若シ夫レ君主ノ權力濫用ニ至リテハ民主國ノ

統治者タル國會ノ權力濫用ニ比シテ其ノ恐ルヘキコト寧ロ少ナシ蓋シ國會ノ一員ハ其ノ責任權力共ニ微弱ナルカ故ニ輕々ニ不正無謀ノ舉ヲ爲スコトアリト雖モ君主ハ祖先上帝ニ對シ其ノ職責重大ナルカ故ニ妄ニ之ヲ犯スコトナシ且君主ノ橫政ハ一タヒ之ヲ省覺スルトキハ之ヲ改ムルコト容易ニシテ其ノ禍害久シキニ亘ルコトナシト此ノ論ハ君主國ノ利ノミト民主國ノ害ノミトヲ比較シタルモノニシテ決シテ公平ノ論ト稱スルコトヲ得スト雖モ余輩ハ大體ニ於テ之ヲ贊成スル者ナリ然レトモ此ノ論ハ直チニ移シテ專制政體ト立憲政體トノ得失ニ應用スルコトヲ得サルナリ

立憲政體ハ憲法ニ從テ主權ヲ行使スルノ政體ナリ余輩ハ此ニ憲法ノ意義ヲ一言スルノ必要ヲ見ル憲法ト云フ語ニ二義アリ一ハ統治權ノ本體及作用ニ關スル成文若クハ不文ノ法律ノ全體ヲ謂フモノニシテ此ノ意味ニ從ヘハ凡ソ如何ナル國ト雖モ憲法ナキハ非サルナリ然レトモ憲法ト云フ語ハ通常此ノ如キ意義ニ解セスシテ特ニ統治權ノ行使ヲ限定シ國民ノ權利ヲ保障スル成文ノ法律ヲ指シテ謂フナリ立憲政體ニ於テハ憲法ニ從テ政治ヲ爲スト云フハ即チ此ノ第二ノ意義ニ



從フモノナリ憲法ハ統治者ノ恒久ノ意思ナリ最高ノ意思ナリ統治權ノ行動ハ一之ニ依遵セサルヘカラス憲法ハ統治者ニ於テ之ヲ變更廢止スルコトヲ得然レトモ統治者カ一タヒ憲法ヲ定メテ之ニ從フヘキノ意思ヲ表示シタルトキハ一定ノ方式ヲ踐ミテ之ヲ變更廢止セサル限リハ必ス之ニ從ハサルヘカラサルナリ統治者ハ憲法ヲ變更廢止スルノ權アルカ故ニ統治者ハ常ニ之ニ從ハサルコトヲ得ト斷スルハ妄ナリ憲法ヲ制定スルノ方法ニ至リテハ或ハ君民ノ合議ニ本ツクモノアリ或ハ君主ノ欽定ニ出ツルモノアリト雖モ是レハ單ニ憲法制定ノ方法ノ差異ニ過キスシテ統治者ハ必ス憲法ニ遵由セサルヘカラサルハ二者ノ同フスル所ナリ然レトモ憲法ハ完全無缺ニシテ一點ノ非違ナキヤ否ヤハ容易ニ判斷スヘカラス萬一其ノ非違ノ點アルコトヲ發見セハ時ニ及ヒテ之ヲ更革センコト可ナリ唯其ノ更革セラレサル限リハ神聖不磨ノ大典トシテ之ヲ尊敬シ擁護セサルヘカラス人道正義之ニ依リテ行ハレ國利民福之ニ依リテ違スルコトヲ得ヘシ愆ラス忘レス憲章ニ率由スルハ是レ誠ニ王者ノ大道ナリ

憲法ノ第一義ハ統治權ノ制限ニ在リ若シ統治權ハ憲法ノ規定ニ依ラスシテ行動

スルコトヲ得ルモノトスルトキハ憲法ノ制定ハ全ク沒意義ノモノタルヘシ恭シク帝國憲法ヲ案スルニ其ノ第四條ニ曰ク天皇ハ國ノ元首ニシテ統治權ヲ總攬シ此ノ憲法ノ條規ニ依リテ之ヲ行フト又其ノ發布ノ勅語ニ曰ク茲ニ大憲ヲ制定シ朕カ率由スル所ヲ示シ朕カ後嗣及臣民及臣民ノ子孫タル者ヲシテ永遠ニ循行スル所ヲ知ラシムト之ニ依リテ見レハ憲法ハ君民共ニ守ルヘキ永久ノ大典ナルコト照然トシテ火ヲ賭ルカ如シ然ルニ世間一種ノ論者アリテ天皇ハ又憲法ニ從フコトヲ要セサルモノ、如ク説キ去ル者アリ是レ直ニ憲法ノ精神ヲ蹂躪スルモノナリ之カ紛更ヲ試ムルモノナリ其ノ罪誅ヲ容サスシテ世間之ニ傾聽盲從スル者多キハ此レ誠ニ何ノ心ソヤ此ノ種ノ論者ハ國家萬能主義ト名ツクル一種ノ政見ヲ把持スル者ナリ其ノ主意ノ歸宿スル所ヲ案スルニ方今立憲政體ノ骨髓タル代議制度ト云フモノハ正當ニ國民諸階級ノ利益ヲ代表スルコト能ヘスシテ遂ニ少數ノ優族カ多數ノ細民ヲ壓倒スルノ結果ヲ生シ弊害ノ極マル所或ハ社會上ノ革命ヲ演出スルニ至ルヤモ知ルヘカラサルカ故ニ統治者カ最強無限ノ權力ヲ以テ社會諸階級ノ利益ヲ調和シ裁節シ以テ萬民保護ノ天職ヲ全フセサルヘカラスト云



フニ在リ余輩モ亦今日ノ憲政體カ實ニ此ノ如キノ弊害アルコトヲ認メ又此ノ弊害ヲ救済スルコトハ實ニ今日ノ急務ナルコトヲ知ル然レトモ之ヲ救済スルニハ自ラ適當ノ方法アルヘシ論者ノ言ヲ推ストキハ統治者カ其ノ萬民保護ノ天職ヲ全フセンニハ絶對無限ノ權力ヲ以テ國家ニ臨ミ國會ノ意見ニ拘束セラレシテ獨立自由ノ行動ヲ爲スコトヲ得サルヘカラストスルモノナリ換言スレハ今日ノ立憲政體ハ不完全ニシテ弊害多キカ故ニ之ヲ廢止シテ專制政體ノ故態ニ復スヘシト云フモノナリ余輩ハ此ニ專制政體ト立憲政體トノ得失ヲ論列スルコトノ極メテ迂愚ナルコトヲ知ル是レ三尺ノ童子モ亦能ク辨スル所ナレハナリ而モ之ヲ辨スルノ已ムヘカラサルモノハ尙ホ論者ノ言ノ如キアルヲ以テナリ抑モ今日多數ノ國家カ專制政體ヲ廢シテ立憲政體ヲ立テタルモノハ專制政體ノ弊ニ耐フルコト能ハサリシニ因レリ專制政體ノ弊トハ何ソヤ權力濫用ノ弊是レノミ今ヤ立憲代議ノ制度ヲ行フノ久シキ漸ク其ノ弊害ヲ生スルニ及ヒテ乃チ之ヲ嫌忌シ反リテ君主專制ノ昔時ヲ憶フコトアリ思ヘラク君主專制ノ政ヲ行ハ、應ニ此ノ如キ弊害ナカルヘシト殊ニ知ラス君主專制ノ弊今日ニ百倍スルモノアリシコト

ヲ、譬ヘハ猶ホ姦通シタル妻ヲ放逐シタル將カ後妻ノ行狀不良ナルヲ惡ミ、再ビ前妻ヲ迎ヘントスルカ如シ豈謬ラスヤ且今日ノ貧富懸隔社會軋轢ノ弊害ハ獨リ立憲代議ノ制度ニノミ原因スルモノト遠了スヘカラスシテ他ニ幾多ノ原因アルヘシ之ヲ救済スレニモ亦豈君主專制ニ復スルノ外他策ナシト謂ハンヤ況ヤ君主專制ノ時代ニ在リテモ亦此ノ弊害アリタルコトヲ見ルトキハ君主專制ニ復シタルハトテ直ニ此ノ弊害ヲ救ヒ得ルモノニ非サルオヤ試ニ論者ニ問ハン論者ハ何ヲ以テ專制君主ハ必ス其ノ權力ヲ細民救護ノ方法ニ使用スルコトヲ保證シ得ル者ノ絶對無限ノ權力者何ノ願慮スル所カ之アラン若シ其ノ權力ヲ濫用シテ益細民ヲ苦虐スルコトアラハ論者ハ將ニ之ヲ奈何セントスル統治者ハ決シテ此ノ如キコトヲ爲スコトナシト斷言シ得ヘキカ論者ノ孟浪杜撰ナルコト何ソ一ニ此ニ至ルヤ嘗テヒユステル、ド、ク、トランデユノ「古代市府」ヲ讀ミケルニ古希臘羅馬諸國ノ革命ヲ論シテ曰ク「革命」ノ起ルハ其ノ根原大抵優族ト細民トノ利害ノ衝突ニ在リテ之ヲ誘發スルモノハ姦雄ノ徒カ君主專權ヲ僭竊セント欲シテ細民ノ利益ヲ主張シ之ヲ引キテ自ラ助ケ以テ優族政治ヲ傾覆スルニ在リ而シテ一タヒ君主ノ地位ニ



就クヤ專制暴濫反リテ以テ制スルコトナシ其ノ迹殆ト一律ニ出ツルカ如シト論者ノ國家萬能主義ヲ唱フルモノ姦雄ノ徒ニ藉口ノ資ヲ與フルモノニ非サランヤ余輩思ヘラク君主ヲシテ常ニ無上聖智ノ神人タルコトヲ得シメハ余輩ハ寧ロ專制政體ヲ以テ立憲政體ニ優レリトセン何トナレハ立憲政體ノ主眼ハ君主ノ權力ヲ制限スルニ在リテ其ノ濫用ヲ防止スルノ利アルト同時ニ其ノ利用ヲ濫滯セシムルノ害アルヲ以テ若シ君主ノ行動カ常ニ理性ニ本ツキ公正ニ合シ曾テ濫用ノ虞ナキトキハ之ヲ制限スルノ必用ナクシテ寧ロ其ノ自由ニ任スルヲ以テ利ナリトスレハナリ然レトモ君主カ常ニ無上聖智ノ神人タルコトハ決シテ望ムヘカラサルコトナルカ故ニ假令其ノ權力ノ活動ヲ濫滯セシムルノ弊アルモ尙ホ立憲代議ノ制ニ依リテ國民多數ノ意思ヲ徵シ之ニ本ツキテ政治ヲ行フヲ以テ利益アリトス要スルニ專制政體立憲政體共ニ多少ノ瑕瑾アリテ不完全タルコトヲ免レスト雖モ其ノ弊害寧ロ專制政體ニ多クシテ立憲政體ニ少ナシトスルカ故ニ窮畢立憲政體ヲ以テ專制政體ニ優レリトスルナリ若シ立憲政體ニ勝ル善良ノ政體アラバニハ余輩ハ立憲政體ヲ棄ツルコト猶ホ弊履ヲ脱スルカ如クナランノミ唯此ノ

如キ善良ノ政體アラサルカ故ニ已ムコトヲ得スシテ之ニ從フナリ今日ノ急務ハ立憲政體ノ弊ヲ匡救シテ其レヲシテ成ルヘク健全ナル效力ヲ生セシムルニ在リ國家萬能論者ノ如ク復タ昔日ノ專制政體ヲ以テ之ニ代ヘンコトハ余輩ノ斷シテ取ラサル所ナリ

外邦ノ事ハ必スシモ言ハス我カ君主國體ノ尊嚴精華ニシテ四裔ト撰ヲ罷ニスルモノ固ヨリ余輩ノ贊辭ヲ待タス我カ立憲政體ハ未タ俄ニ其ノ盡善盡美ヲ稱スヘカラスト雖モ其ノ精神ノ歸向スル所ヲ推ストキハ今日世界各邦ノ制度中ニ在リテ最モ完全ナルモノト謂ハサルコトヲ得ス夫レ統治權ハ君主一人ニ存スルコト勿論ナリト雖モ君主カ其ノ意思ヲ決定スルニハ必ス國會ノ意思ヲ採納セザルコトヲ得スシテ國會ノ意思ハ即チ國民ノ公心ナルコトヲ思フトキハ我立憲政體ノ精神ハ君臣上下ノ意思利害混融浹シテ毫髮ノ遺憾ナキコトヲ期スルモノナリ古語ニ曰ク民聲ハ神聲ナリト余輩將ニ一轉語ヲ下シテ言ハントス曰ク民聲ハ王聲ナリ民意ハ王意ナリ民言ハ王言ナリト君民一體上下心ヲ同フシ相間隔スル所ナキコト猶ホ頭目ト手足トノ相聞スルカ如シ即チ國民カ君主ノ命令ニ服從スル



ハ自家ノ公心ニ從フナリ已ムコトヲ得スシテ之ニ從フニハ非ス君主カ國民ニ命  
令スルハ國家ノ隆昌ト臣民ノ康福トヲ期スルニ在リテ自家ノ私ニ奉スルニハ非  
ス平易民ニ近ツキ忠誠上ニ奉シ上下和浹君民其ノ福祿ヲ同フス是レ我カ立憲政  
體ノ精神ナリ昔シハルノ一其ノ民約論ヲ著ハスニ當リテ其ノ故國ナルデユテ  
一ブノ制度ヲ考察シ之ヲ嘆美シテ曰ク余ノ政ヲ論スルヤ心ニ得ルコトアル毎ニ  
輒チ願ミテ之ヲ吾カ邦ノ施設スル所ニ照シテ然ル後ニ益我カ邦制度ノ他邦ニ卓  
越シテ尤モ崇重スヘシト爲スコトヲ知ルナリ余カ如キ者何ソ福ヲ享クルコトノ  
厚キヤト嗚呼余輩ノ如キ者モ亦何ソ福ヲ享クルコトノ厚キヤ  
我カ帝國ノ統治者ハ天皇ナリ天皇トハ帝國ノ統治者ニ對スル尊稱ナリ大日本帝  
國ハ萬世一系ノ天皇之ヲ統治ス(憲一條唯此ノ一條我カ國體ヲ道破シテ餘蘊ナシ  
本條ノ義ヲ案スルニ天皇ハ大日本帝國ノ統治者ニシテ且萬世一系ナルコトヲ明  
ニスルモノナリ是レ殆ト解説ヲ待テ後ニ知ラサルナリ天皇カ帝國ノ統治者タ  
ルコトハ既ニ建國ノ當時ニ定ムル爾來皇統連綿天地ト共ニ窮リナシ而シテ皇統  
ハ必ス一系ニ限ルヘキモノニシテ二系三系ニ分裂スルコトヲ許サス中世兩朝迭

立ノ事アリシハ洵ニ皇家ノ變遷ニ屬スト謂フヘシ之ニ依リテ考フレハ萬世一系  
ノ義亦極メテ昭々タリ大日本帝國ハ萬世一系ノ天皇之ヲ統治スト云フモノ唯建  
國以來既定ノ國體ヲ表彰シタルニ過キスシテ何等ノ新義アルニ非サルナリ  
天皇ハ永劫死スルコトナシ天皇死セスト云フハ國法上帝國ノ統治者タル天皇ハ  
萬古變易スルコトナシトノ義ナリ前王後王其ノ人ハ異ナルモ其ノ統治者タルコ  
トハ相同シ前王後王猶ホ一人ノ如シ故ニ曰ク天皇ハ死セスト然レトモ是レハ法  
律上ノ談ノミ若シ事實上ニ於テ言フトキハ天皇モ亦固ヨリ自然ノ人ナルトキハ  
崩御ノ事ナキコトヲ得ス是ニ於テ皇位繼承ノ問題ヲ生ス皇位トハ天皇タルノ地  
位ヲ謂フ故ニ皇位繼承ハ天皇ノ相續ナリ天皇ノ相續ハ統治權ノ相續ナリ即チ統  
治權ヲ繼承シテ其ノ主體トナルコトナリ萬世一系ト云フ語ハ誠ニ能ク此ノ法律  
上及事實上ノ理義ヲ表明スルモノト謂フヘシ即チ萬世ト云フハ天皇死セサルノ  
理ヲ表シ一系ト云フハ世々相承クルノ義ヲ明ニスルモノナリ皇位繼承ニ關シテ  
憲法ハ唯其ノ原則ヲ掲クルノミニシテ其ノ詳節ハ皇室典範ニ之ヲ規定セリ憲法  
第二條ニ曰ク皇位ハ皇室典範ノ定ムル所ニ依リ皇男子孫之ヲ繼承スト皇室典範



第一條ニ曰ク大日本國皇位ハ祖宗ノ皇統ニシテ男系ノ男子之ヲ繼承スト此ノ二條ハ正ニ相照應シ相發明スルモノナリ之ニ依リテ我カ皇位繼承ハ所謂皇男長子<sup>アリモセニテ</sup>相續<sup>ユル</sup>ノ主義ヲ取リタルモノナルコトヲ知ルヘシ但各國多少ノ相違アリ、皇室典範ニ依レハ皇位ヲ繼承スル者ハ(一)祖宗ノ皇統ナルコトヲ要ス祖宗ノ皇統トハ祖宗ノ正統ヲ承クル皇胤ヲ謂フ祖宗ノ正統ハ一系ニシテ分裂スヘカラサルコト憲法ノ定ムル所ナリ萬世一系ト云フモノ即チ是レナリ故ニ皇位ハ祖宗ノ血統タル一系ノ皇胤世々相承ク以テ無窮ニ相繼クヘキモノナリ(二)男系ノ男子ナルコトヲ要ス故ニ男系ノ女子ハ皇位ヲ繼承スルコトヲ得サルト同シク女系ノ男子モ亦之ヲ繼承クコトヲ得サルナリ而シテ皇室典範ハ更ニ繼承ノ順位ヲ規定セリ其ノ規定ニ依レハ皇位ハ先ツ直系ノ子孫相承クルコトヲ本則トス故ニ皇位ハ皇長子ニ傳フ皇長子在ラサルトキハ皇長孫ニ傳フ皇長子及其ノ子孫皆在ラサルトキハ皇次子及其ノ子孫ニ傳フ以下皆之ニ例ス直系盡キテ傍系ニ移ル皇子孫皆在ラサルトキハ皇兄弟及其ノ子孫ニ傳フ皇兄弟及其ノ子孫皆在ラサルトキハ皇伯叔父及其ノ子孫ニ傳フ亦皆在ラサルトキハ其ノ以上ニ於テ最近親ノ皇族ニ傳フ凡ソ皇位ノ

繼承ハ同等内ニ於テハ嫡ヲ先ニシ庶ヲ後ニシ長ヲ先ニシ幼ヲ後ニス嫡トハ皇后ノ所出ヲ謂ヒ庶トハ内侍等皇后以外ノ所出ヲ謂フ皇嗣精神若クハ身體ノ不治ノ重患アリ又ハ重大ナル事故アルトキハ皇族會議及樞密顧問ニ諮詢シ其ノ繼承ノ順序ヲ換フルコトヲ得天皇崩スルトキハ皇嗣即チ踐祚シ祖宗ノ神器ヲ承ク踐祚ノ式ハ先帝崩御ノ後直ニ之ヲ行ヒ即位ノ禮ハ其ノ後更ニ之ヲ行フ踐祚ト即位トハ同事ニ非ス然レトモ皇嗣ハ踐祚ノ式即位ノ禮ニ依リテ然ル後ニ天皇トナルニハ非ス先帝崩御スルト同時ニ皇嗣即チ天皇タリ帝國ノ統治者ハ瞬時モ斷絶スルコトナシ是レ天皇死セサルノ義ナリ(皇室典範一條乃至一〇條)

天皇ハ神聖ニシテ侵スヘカラス(憲三條)是レ天皇無責任ノ義ヲ明ニスルモノナリ或ハ曰ク君主ハ君臨スレトモ統治セス君主ハ深宮ノ中ニ垂拱シテ唯冢宰ニ聽クノミ躬ツカラ政務ニ當ルコトナシ故ニ過失アルコトヲ得ス又固ヨリ惡事ヲ爲スコトヲ得ス既ニ過失ナシ是レ其ノ神聖タル所以ナリ既ニ惡事ヲ爲サス是レ其ノ侵スヘカラス所以ナリ神聖ニシテ侵スヘカラス故ニ無責任ナリト此ノ說ハ君主ヲ辯髦トシ大臣專制ヲ勸ムルモノニシテ固ヨリ之ヲ取ルコトヲ得ス殊ニ我カ



邦ニ於テ天皇萬機ヲ親裁セラル、コト本則ナルトキハ天皇ハ統治セサルカ故ニ無責任ナリト謂フコトヲ得ス故ニ天皇無責任ト云フハ理論上天皇ハ帝國ノ統治者ニシテ統治者ニ制裁ヲ加フルノ権力アルヘカラサルト政治上國家ノ基礎ヲ鞏固ナラシルカ爲メニハ天皇ノ尊嚴ヲ保持セサルヘカラサルトノ二個ノ理由ニ本ツクモノナリト説明スルノ外ナシ、天皇ハ無責任ナリ故ニ法律ニ違背スルモ之ニ制裁ヲ加フルコトヲ得ス天皇ハ公法私法ニ通シテ無責任ナリ天皇ハ憲法ノ條規ニ從ヒテ統治權ヲ行使セサルヘカサルコト勿論ナリト雖モ憲法ニ違背スルモ制裁ヲ受クルコトナシ刑法民法ニ至リテモ亦同シ或ハ曰ク天皇カ天皇タルノ資格ニ於テハ無責任ナリト雖モ一個人タルノ資格ニ於テハ責任アリト余輩ハ其ノ何ノ義タルヲ解スルコト能ハス例ヘハ天皇カ刑法ニ違反シテ人ヲ殺シタルトキ若クハ民法ニ違反シテ買受ケタル物品ノ代金ヲ支拂ハサルトキノ如キ是レ天皇タルノ資格ニ於テ爲シタルモノナルカ將タ一個人タルノ資格ニ於テ爲シタルモノナルカ若シ一個人タルノ資格ニ於テ爲シタルモノナランニハ之ニ刑法民法ノ制裁ヲ加フルコトヲ得ヘシト云フカ故ニ天皇ハ天皇トシテモ一個人トシテモ均

ク無責任タラサルヘカラサルナリ然レトモ天皇無責任ト云フハ偏ニ法律上ノ事ニシテ政治上道德上名譽上等ニ於テハ天皇ト雖モ決シテ無責任ナルコトヲ得ヘカラサルナリ

天皇ハ統治權ヲ總攬シ憲法ノ條規ニ依リテ之ヲ行フ(第四條)統治權ハ主權ト同義ナルコト前ニ述フル所ナリ統治權ヲ總攬スト云フハ統治權ノ本體及作用共ニ天皇ニ存スルコトヲ明ニス換言スレハ天皇ハ統治權ノ主體タリト云フノ義ナリ然レトモ天皇カ統治權ヲ行使セラル、ニハ必ス憲法ノ條規ニ從フモノトス統治權ノ本體ハ唯一不可分ナリト雖モ其ノ作用ハ數種ニ分別セラル即チ立法行政司法ノ三權是レナリ之ヲ總稱シテ大權ト謂フ故ニ統治權ト云フトキハ其ノ本體及作用ヲ兼テ言フモノニシテ大權ト云フトキハ其ノ作用ノミヲ指シテ言フモノト解スヘシ、憲法第一章ニ天皇ノ大權トシテ列記スルモノ左ノ如シ

一、立法權ニ關スルモノ

(イ) 法律ヲ制定スルノ權(五條)

(ロ) 法律ヲ裁可スルノ權(六條)



(ハ) 帝國議會ヲ集散開閉スルノ權(七條)

二、行政權ニ關スルモノ

(イ) 法律ノ公布及執行ヲ命スルノ權(六條)

(ロ) 緊急命令ヲ發スルノ權(八條、七〇條)

(ハ) 行政命令ヲ發スルノ權(九條)

(ニ) 行政各部ノ官制及俸給ヲ定メ及官吏ヲ任免スルノ權(一〇條)

(ホ) 陸海軍ヲ統帥シ其ノ編制及常備兵額ヲ定ムルノ權(一一條、一二條)

(ヘ) 宣戰講和及條約締結ノ權(一三條)

(ト) 戒嚴ヲ宣告スルノ權(一四條)

(チ) 榮典ヲ授與スルノ權(一五條)

三、司法權ニ關スルモノハ唯一アルノミ

大赦特赦減刑及復權ヲ命スルノ權(一六條)

右ノ中法律ヲ制定スルノ權ハ帝國議會ノ協贊ヲ以テ行ヒ(五條)其ノ他ハ悉ク國務大臣ノ補弼ニ依リテ之ヲ行フ(五五條)而シテ司法權ノ他ノ部分即チ裁判ヲ爲スノ

權ハ裁判所ニ委任シテ之ヲ行フ(五七條)

憲法第一章ニ天皇ノ大權トシテ列舉スル所ハ右ノ如シト雖モ天皇ノ大權ハ決シテ此ニ止マルニ非ス即チ右ノ外ノ大權ヲ舉クレハ大凡左ノ如シ

(イ) 政府ニ命シテ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシムルノ權(三八條)

(ロ) 裁判所ヲシテ裁判ヲ行ハシムルノ權(五七條)

(ハ) 皇室經費ヲ徵スルノ權(六六條)皇室典範(四七條)

(ニ) 憲法改正案ヲ發議スルノ權(七三條)憲法前文末段

(ホ) 世傳御料ヲ所有スルノ權(皇室典範(四五條))

(ヘ) 貴族院議員ヲ勅任スルノ權(貴族院令(七條))

(ト) 貨幣ヲ鑄造スルノ權

(チ) 度量衡ヲ定ムルノ權

此ノ外尙ホ多カルヘシ今一々記載セス之ニ依リテ考フレハ憲法ニ天皇ノ大權トシテ掲クルモノハ特ニ其ノ重要ナルモノ、ミニシテ天皇ノ大權ハ決シテ此ニ止マルモノニ非サルコトヲ知ルヘシ然レトモ憲法ニ特ニ之ヲ掲ケタルモノハ大ニ



其ノ理由アル所ナリ抑モ統治權ノ本體及作用ハ共ニ天皇ニ存スルコト既ニ憲法第四條ノ明定スル所ナルトキハ更ニ其ノ作用タル大權ノ種類ヲ列記スルノ必要ナキモノ、如シ然ルニ特ニ之ヲ掲ケタルモノハ即チ此等ノ權利ハ必然天皇ノ專有ニ屬スヘキモノナルコトヲ明ニシタルモノナリ故ニ天皇ハ此等ノ權利ノ全部若クハ一部ヲ臣下ニ委任シテ行ハシムルコトハ敢テ妨ケナシト雖モ全ク之ヲ拋棄スルコトハ天皇ト雖モ決シテ爲シ能ハサル所ナリ若シ天皇之ヲ拋棄スルトキハ是レ即チ統治權ノ主體タル天皇ノ資格ヲ喪失スルモノナリ萬世一統ノ皇統ヲ斷絶スルモノナリ祖宗ニ對スルノ義務ヲ蔑如スルモノナリ憲法前文ニ所謂茲ニ大憲ヲ制定シ朕カ率由スル所ヲ示シ朕カ後嗣及臣民及臣民ノ子孫タル者ヲシテ永遠ニ循行スル所ヲ知ラシムト云フノ義ニ違フモノナリ若シ臣下此等ノ權利ヲ潛窃スルトキハ是レ即チ神器ヲ覬覦スルモノニシテ弓削道鏡平將門ト其ノ科ヲ同フスルモノナリ此ノ義ハ國體ノ繫ル所最モ之ヲ詳明セサルヘカラサルナリ若シ夫レ憲法ニ掲ケサル大權ノ種類ニ至リテハ之ヲ行使スルト拋棄スルトハ一ニ天皇ノ任意ニ屬シ必スシモ之ヲ專有行使スルコトヲ要セサルナリ

終リニ攝政ノ事ヲ述フヘシ攝政ハ天皇ニ代リテ大權ヲ行使スル者ナリ攝政ヲ置クハ皇室典範ノ定ムル所ニ依ル(憲一七條一項)其ノ場合ハ天皇未タ成年(滿十八年)ニ達セザルトキ(典範一九條一項)若クハ天皇久シキニ亘ルノ故障ニ由リ大政ヲ親ラスルコト能ハザルトキ(典範一九條二項)ニ限ル攝政ニ任セラル、者ノ順位ハ(一)皇太子又ハ皇太孫(典範二〇條)(二)親王及王(三)皇后(四)皇太后(五)太皇太后(六)內親王及女王(典範二一條)トス親王以下皇族ノ攝政ニ任スルハ必ス成年(滿二十年)以上ナルコトヲ要ス且女子ニ在リテハ配偶者アラサル者ニ限ル(典範二三條)皇太子及皇太孫成年(滿十八年)ニ達シタルトキハ現ニ攝政ノ職ニ居ル他ノ皇族ハ之ニ對シテ其ノ任ヲ讓ル、皇太子及皇太子以外ノ皇族ニ對シテハ決シテ其ノ任ヲ讓ルコトナシ(典範二四條)攝政又ハ攝政タルヘキ者精神若クハ身體ノ重患アリ又ハ重大ノ事故アルトキハ皇族會議及樞密顧問ノ議ヲ經テ其ノ順序ヲ換フルコトヲ得(典範二五條)之ニ依リテ見レハ攝政トナルハ必ス皇族ニ限ルコト及女子ト雖モ攝政トナルヲ得ルコトヲ知ルヘシ中古以來人臣攝政トナルノ例ナキニ非スト雖モ皇室典範ハ之ヲ禁止シ以テ大權下ニ移ルノ漸ヲ杜ケリ又皇位繼承ハ男系ノ男子ニ限ルヘ



キモノナレトモ攝政ハ皇后皇女ト雖モ之ニ任セラル、コトヲ得ルモノトス是レ古來ノ慣例ニ從ヒ且攝政ヲ得ルノ道ヲ廣メタルモノナリ  
攝政ノ職務ハ天皇ノ名ニ於テ大權ヲ行フニ在リ(憲一七條二項)天皇ノ名ニ於テト云フハ天皇ニ代リテト云フノ義ナリ大權ハ統治權ノ作用ナリ立法行政司法ノ三權ヲ總稱ス故ニ攝政ハ統治權ノ作用ヲ有スルノミニシテ其ノ本體ハ依然トシテ天皇ニ在ルナリ即チ統治權ノ主體ハ天皇ニシテ攝政ハ其ノ代理人トシテ之ヲ行使スルニ過キス民法ノ語ヲ借リテ言ヘハ統治權ノ享有ハ天皇ニ屬シ其ノ行使ハ攝政ニ屬スルナリ譬ヘハ猶ホ私權ヲ享有スル者ハ未成年者若クハ禁治產者ナルモ之ヲ行使スル者ハ其ノ法定代理人ナルカ如シ若シ攝政統治權ノ本體ヲモ有スルトキハ攝政ニ非スシテ攝位ナリ天皇ノ大權ヲ行使スルニ非スシテ其ノ地位ヲ假攝スルナリ我カ國法ハ攝政ヲ認メテ攝位ヲ認メス皇嗣以外ノ人ヲ以テ暫ク皇位ニ就カシメ以テ其ノ曠闕ヲ補フコトヲ爲サ、ルナリ攝政ハ天皇ニ代リ天皇ト同一ノ大權ヲ行フ唯憲法及皇室典範ノ改正ヲ行フコトヲ得ス(憲七五條)是レ其ノ制限ナリ蓋シ憲法及皇室典範ヲ改正スルトキハ或ハ統治權ノ本體ニ變動ヲ生ス

ルコトアルヘキカ故ニ其ノ本體ヲ有セサル攝政ニ於テ改正ノ發議ヲ爲ス能ハザルコト明ナリ攝政ハ唯憲法及皇室典範ノ條規ニ從テ大權ヲ行使スヘキノミ大權行使ノ根本準則タル憲法及皇室典範ノ條規ヲ變更スルコトヲ得サルナリ而シテ代理人ノ行爲ハ即チ本人ノ行爲ナルカ故ニ天皇成年ニ達シ又ハ故障ノ止ミタルトキハ攝政ノ行爲ヲ追認スルコトヲ要セス又之ヲ無効トスルコトヲ得サルナリ

### 第二款 統治權ノ作用

統治權ノ本體ハ完全圓滿ニシテ分割スヘカラス然レトモ其ノ作用ハ種々ノ形式ニ於テ發動スルカ故ニ其ノ作用ノ形式ニ對シテ異ナリタル名稱ヲ與フ即チ通常立法權行政權司法權ト云フモノ是レナリ今日普通ノ學說ニ於テハ統治權ノ作用ヲ別テテ立法權及行法權ノ二ト爲シ行法權ヲ細別シテ行政權及司法權ノ二ト爲セリ蓋シ統治權ノ作用ハ法ヲ立ツルコト、法ヲ行フコト、ノ二者ニ在リテ行政ト云ヒ司法ト云フモノ共ニ法ヲ行フ權利ノ分派タルニ過キストスルナリ但統治權ノ作用ヲ別テテ立法行政及司法ノ三權ト爲スモ立法及行法ノ二權ト爲スモ共



ニ分類ノ形式ヲ異ニスルニ過キスシテ其ノ精神ニ至リテハ二者同一ナリ而シテ是レ偏ニ統治權ノ作用ノ分類ニ止マリ其ノ本體ニ至リテハ唯一ニシテ不可分ナリ統治權ハ此等ノ權利ノ併合シテ組織セラレタルモノニ非ス例ハ猶ホ所有權ノ如シ所有權ハ使用權收益權及處分權ノ三者ヲ包含スト雖モ所有權ハ此ノ三權ノ併合ニ非スシテ別ニ完全獨立ノ權利ヲ成スモノナリ

統治權ノ作用ハ立法行政司法ノ三權ニ止マルヤ尙ホ此ノ外ニモ其ノ作用アルヤ否ヤ外國ノ制度ニ於テハ或ハ統治權ノ作用ヲ大別シテ立憲權及憲定權ノ二ト爲シ立法行政司法ノ三權ハ憲定權ノ細別ニ過キストスルモノアリ立憲權トハ憲法ヲ設定スル統治權ノ作用ヲ謂ヒ憲定權トハ憲法ニ依リテ設定セラレタル統治權ノ作用ヲ謂フ例ハ佛國ノ如キニ在リテ統治權即チ主權ハ國民ニ在リ而シテ其ノ作用ノ一タル立憲權ハ國民ノ選舉シタル元老及代議ノ二院カ合同シテ國民議會ト名ツクルモノヲ形成シテ始メテ之ヲ行フコトヲ得ルナリ國民議會ハ憲法ヲ修正シ及大統領ヲ選舉スルトキ臨時ニ開設スルモノニシテ定時ニ開設スルモノニ非ス憲定權ノ一タル立法權ハ元老院及代議院各獨立シテ之ヲ行ヒ大統領ハ兩

院ノ採納シタル法律ヲ頒布スルノ職責ヲ有スルノミ行政權ハ大統領之ヲ行ヒ司法權ハ裁判所之ヲ行フ此ノ如ク立法行政司法ノ三權互ニ相獨立シ願ル統一ヲ缺クノ觀アルヲ以テ佛國公法學ノ大家バンヂヤマンコンスタンノ如キハ此ノ三權ノ外ニ政府ノ特權ト云フモノヲ認メテ三權ノ平均調和ヲ保タントセリ其ノ言ニ曰ク余輩カ行政權ヨリ政府ノ特權ト云フモノヲ分別スルコトハ世人ノ怪訝スル所ナラン此ノ區別ハ從來多數ノ人ニ否認セラレタリト雖モ實際上極メテ重要ナリ思フニ此ノ區別ハ有ラユル政治組織ノ關鍵タルヘシ此ノ說ハ余輩ノ創見ニ非スシテ前人既ニ之ヲ看破セル者アルナリトアーレンスモ亦之ヲ認メテ曰ク凡ソ國家ニハ必スヤ立法行政司法三權ノ外ニ一ノ權力アリテ此等ノ權力ヲ統轄シ指揮シ監督シ内ニ對シテハ有ラユル權力政務ノ樞軸トナリ外ニ對シテハ國家代表ノ本位トナルモノナカルヘカラス是レ即チ政府ノ特權ナリト然レトモ三權ノ平均調和ヲ保ツニ適當ナル制度ヲ設ケタランニハ必スシモ三權以外ニ一ノ種ノ權利ヲ認ムルノ要ナルヘシ果シテ佛國現時ノ制度ニ於テモ之ヲ認ムルコトヲ爲サ

ルナリ我カ帝國憲法ニ在リテハ固ヨリ既ニ立憲權及憲定權ノ區別ヲ認ムルコ



トナク又立法行政司法三權以外ニ一種ノ政權ヲ認ムルコトナシ蓋シ我邦ニ於テハ統治權ハ天皇ニ在リ故ニ憲法ヲ設定スルノ權モ亦固ヨリ天皇ニ在リ唯憲法ヲ修正スルニハ普通ノ法律ヲ制定スルト頗ル其ノ手續ヲ異ニスルモノアリト雖モ然レトモ是レハ唯憲法ヲ修正スルニ鄭重ノ手續ヲ要ストシタルマテノ事ニシテ敢テ所謂立憲權ト云フモノヲ以テ特別ノ機關ノ權限ニ委付スルトスルモノニハ非ス立憲權ノ天皇ニ存スルコト自若タリ強テ之カ名目ヲ作為スルノ實用アルコトナシ立法行政司法ノ三權ニ至リテモ亦同シ此ノ三權ハ業ニ既ニ天皇ニ屬シテ統治機關ハ唯之カ行使ヲ參贊補翼スルニ過キス然ラハ此ノ三權ノ外豈別ニ之ヲ平均調和スル一種ノ權利ヲ認ムルノ要アラザヤ或ハ曰ク統治權ハ憲法ノ前ニ在リ又其ノ上ニ在リ統治權カ憲法ニ依リテ創定セラレタルモノニハ非スシテ憲法カ反リテ統治權ニ依リテ制作セラレタルナリ然ラハ憲法ノ條規ニ依ルノ外其ノ作用ナシト斷スヘカラスト余輩モ亦或ル度マテハ論者ノ言ヲ是認ス統治權ハ完全圓滿ナリ然レトモ統治權カ一タヒ憲法ヲ制作シテ其ノ行動ヲ規則シタル以上ハ必ス之ニ依準セサルコトヲ得スシテ憲法ノ條規ニ依ラサル統治權ノ行動ハ其

ノ作用トシテ之ヲ認識スルコトヲ得サルナリ故ニ余輩ハ憲法ノ條規以外ニ統治權ノ作用アルヘカラストスル者ナリ

抑モ三權分立ノ說ハ希臘アリストトトノ創說ニシテ英國ロツク之ヲ繼述シ佛國モンテスキューニ至リテ其ノ詳ヲ極メタルモノナリモンテスキューノ三權分立論ハ極メテ有名ニシテ且今日文明諸國ノ制度ノ淵源スル所ナルカ故ニ此ニ其ノ要旨ヲ叙述スルハ決シテ無用ノ業ニ非サルヘシ

三權分立論ノ大意ニ謂フ何ヲカ自由制度トスルヤ權力ノ濫用ナキ處即チ自由制度ノ存スル所ナリ然レトモ權力ノ濫用ナカラシムコトヲ欲セハ必ス之ヲ制限スルモノナカルヘカラスト何トナレハ制限ナキノ權力ヲ有スル者ハ必ス之ヲ濫用スルコトヲ免レサレハナリ是ノ故ニ自由制度ニ在リテハ權力ヲ以テ權力ヲ制限スルコトヲ要ス是レ其ノ大精神ナリ然レトモ權力ヲ以テ權力ヲ制限センニハ必スヤ一國內ニ數多ノ權力並存セサルヘカラスト立法行政司法ノ三權即チ是レナリ而シテ行政權カ立法權ヲ兼弁スルトキハ是レ既ニ自由アラサルナリ何トナレハ行政官ハ苛虐ノ法律ヲ制作シテ苛虐ニ之ヲ執行スルコトヲ得レハナリ即チ行政官カ



人民ノ財産ヲ横奪セント欲スルトキハ直ニ法律ヲ設爲シテ其ノ財産ノ官府ノ有タルヘキコトヲ宣言シ其ノ掌握スル強力ヲ以テ之ヲ横奪スヘシ行政官ハ此ノ如クニシテ人民ノ自由生命ヲモ剝奪スヘシ是レ其ノ制度ノ結果ニシテ又之ヲ奈何トモスルコト能ハス幸ニシテ君主仁慈寛裕ニシテ人道ヲ尊重スルトキハ人民ハ其ノ自由ヲ保有スルコトヲ得ヘシト雖モ是レハ事實上ノ談ニシテ制度上其ノ自由ヲ保障セラル、ニハ非サルナリ立法權カ行政權ヲ兼并スルトキモ亦同一ナリ故ニ此ノ二權、分離スルニ非サレハ人民ハ其ノ安全ヲ確保スルコトヲ得サルナリ立法權ハ行政權ニ反抗シテ其ノ行動ノ軌道ヲ劃定シ行政權ハ立法權ヲ抑制シテ苛虐ナル法律ヲ制作スルコトヲ得サラシメ以テ二權ヲシテ交々相箝制シテ暴濫ノ弊ニ陥ラサラシム是レ所謂權力ヲ以テ權力ヲ制限スルモノナリ司法權ニ就キテモ亦同シ司法權カ此ノ二權若クハ其ノ一ニ兼并セラル、トキハ人民ハ亦其ノ自由ヲ確保スルコトヲ得サルヘシ即チ司法權カ立法權ト併合スルトキハ司法官即チ立法者タルカ故ニ法律ヲ以テ一國ヲ馳驟シ裁判ヲ以テ各人ヲ束縛スルニ至ルヘシ司法權カ行政權ト併合スルトキハ司法官ハ自ラ不法ノ處分ヲ行ヒナカラ

又自ラ之ヲ適法ナリト裁判スルコトヲ得ヘキヲ以テ壓虐ヲ行フノ威力ヲ有スヘシ故ニ此ノ神聖尊フヘキノ司法權ハ不羈獨立ノ裁判官ニ委子權勢利害ノ外ニ超然トシテ司正執直ノ本能ヲ全カラシムヘキナリ此ノ如ク權力ヲ分離シ相制限セシムルコト是レ即チ自由制度ノ精神ナリトモンテスキューノ所論大略右ノ如クニシテ此ノ論ハ權力絶對主義ニ對シテ起リタルモノナリト雖モ議論稍政治ノ實際ニ適セサルモノアルカ故ニ之ヲ非難スル者甚タ多シモンテスキューノ言ニ依レハ恰モ一國內ニ三個ノ權力相對立スルモノ、如クニシテ統治權唯一不可分ノ性質ト相容ル、コト能ハス假令一國內ニ三個ノ權力相對立スルコトヲ得ルトスルモ若シ此ノ三權協合一致スルトキハ如何ナル虐政ヲモ行フコトヲ得ヘク若シ又此ノ三權睽離反抗スルトキハ政務澁滯シテ殆ト無政府ノ狀況ニ陥ルヘシ然ルトキハ權力ヲ以テ權力ヲ制限シ暴濫ノ弊ニ陥ラサラシムルコトハ到底其ノ目的ヲ達スルコト能ハスシテ反リテ其ノ弊害ヲ受クヘシ且權力全ク相分離スルトキハ共ニ其ノ力ヲ現ハスコト能ハスシテ無用ノモノタルヘシ即チ立法權カ行政權ニ如何ナル效力ヲモ及ホスコト能ハサルトキハ行政權ハ立法權ヲシテ無効タラ



シムルコトヲ得ヘク之ニ反シテ行政權カ立法權ニ如何ナル效力ヲモ及ホスコト能ハルサルトキハ立法權ハ行政權ヲ侵奪スヘシ故ニ必ス權力ヲシテ相交渉シ相調和セシメサルヘカラサルナリモンテスキューノ論此ノ如キノ欠點アルヲ以テ後世種々ノ説ヲ立テ、之ヲ補正セントスル者アリ但今日諸國ノ制度ニ於テモ概シテ立法行政司法ノ三權ニ分別スルモノ多シ是レ固ヨリ政務分科ノ實際上ノ必要ニ本ツクモノナルヘシト雖モ亦モンテスキューノ所論ニ參考スルコトアリテ多少之ヲ節制シタルモノナルヘシ

立法行政司法ノ諸權相互ノ關係ハ各國ノ國體及法制ニ依リテ同シカラス一定ノ理論ヲ以テ之ヲ説明センコト難シ英國ロツクハ立法權ヲ以テ人ノ理性ニ比シ行法權ヲ以テ其ノ意思ニ比セリ蓋シ立法權ハ正邪ノ大則ヲ定ムル所以ニシテ行法權ハ其ノ大則ヲ實行スル所以ノモノナルコトヲ謂フナリカントハ立法司法行政ノ三權ヲ以テ論理ノ方式ニ對比シ立法權ヲ大命題トシ司法權ヲ小命題トシ行政權ヲ結論ト爲セリ以爲ヘラク立法權ハ一般ノ原則ヲ制定シ司法權ハ特別ノ事實ヲ判斷シ而シテ行政權ハ其ノ判斷ヲ實行スルモノナリト此等ノ言ハ多少諸權ノ

性質ヲ示スニ足ルモノアリト雖モ直ニ移シテ諸國ノ法制ヲ説明スルコトヲ得ザルナリ民主國若クハ議院制立憲君主國ニ在リテハ大抵立法權ハ人民ニ屬シ行政權ハ國ノ元首タル大統領若クハ君主ニ屬シ司法權ハ人民ノ選舉シ若クハ元首ノ任命シタル裁判官ニ屬ストスルノ制ナリ而シテ元首カ裁判官ヲ任命スル場合ニ在リテハ行政權ヲ以テ司法權ヲ左右スルノ弊ニ陷ランコトヲ慮リ裁判官ヲ終身官トシ元首ノ任意ニ之ヲ免黜スルコトヲ得サラシム要スルニ皆モンテスキューノ遺意ニ出ツ君主制立憲國ニ在リテハ然ラス立法行政司法ノ三權ハ固ヨリ君主ノ統攬スル所ニシテ唯各種ノ機關ヲシテ之ヲ補助遂行セシム即チ立法權ハ國會ヲシテ參與セシメ行政權ハ政府ヲシテ行ハシメ司法權ハ裁判所ヲシテ行ハシム此ノ如ク各種ノ機關ヲシテ相對立箝制セシメテ君主衡鈞ヲ其ノ上ニ握ル我カ帝國ノ如キ即チ是レナリ故ニ三權相互ノ關係ヲ論スルニ就キテモ民主國若クハ議院制立憲君主國ニ在リテハ權利ト權利ト直ニ相對抗スルモノナリト雖モ君主制立憲國ニ在リテハ權利ノ機關ト權利ノ機關ト相對抗スルモノナリ若シ夫レ專制君主國ニ在リテハ立法權ノ人民ニ屬セサルハ勿論乃チ君主カ其ノ權利ヲ行使ス



ルニ當リテモ一ニ君主ノ任意ニ出テ、必スシモ一定ノ機關ニ委附シテ之ヲ行ハシメサルカ故ニ三權相互ノ關係ヲ論スルノ要ナシ是レ國體ノ差異ヨリ生スル當然ノ結果ニシテ彼此相混同スルコトヲ得サルナリ

先ツ立法權ト行政權トノ關係ヲ述フヘシ民主國ニ於テハ立法權ハ人民ニ在リ行政權ハ大統領ニ在リ而シテ人民ノ選出セル國會ト大統領ノ主宰スル政府トハ各固有ノ職域アルハ勿論ナレトモ又或ル點ニ於テ互ニ相影響感應シ協和融合シテ以テ政務ヲ圓滿ニ執行センコトヲ期スルモノナリ國會カ政府ニ及ホス勢力ノ著大ナルモノハ内閣更迭ノ事是レナリ内閣ヲ組成スル首相及諸省卿ハ固ヨリ大統領ノ任命スル所ナリト雖モ國會ニ多數ノ黨與ヲ有スル者ニ非サレハ之ニ任セラレ、コトヲ得ス即チ國會ノ多數ニ推戴セラレテ其ノ職ニ在ルモノナルカ故ニ輿論ニ從テ政治ヲ行フモノト謂フヘキナリ故ニ若シ國會ノ多數カ時ノ内閣ニ對シテ不滿不信ノ意思ヲ表彰シタルトキハ内閣員ハ一朝ニシテ引退セサルヲ得ス之ヲ責任内閣若クハ政黨内閣ノ制ト謂フ國會ハ此ノ如ク内閣ヲ變更易置スルノ勢カアルノミナラス其ノ信用推戴スル内閣ニ對シテモ亦常ニ其ノ行爲ヲ監督注視

スルノ權利及義務アリ其ノ手段ノ最モ強力ナルモノハ質問及彈劾ノ二者ナルヘシ國會ハ政府ノ行爲ニシテ違法不當ノ嫌アルモノハ直ニ之ヲ質問シテ其ノ辯明ヲ求メ又内閣員ノ行爲カ國家ヲ危害ニ置クノ虞アルモノト認ムルトキハ之ヲ調査シ愈其ノ事實アルニ於テハ之ヲ告發シテ上院議員ヨリ成立スル特別裁判ノ審判ニ附スルコトヲ得ルナリ又人民ノ請願ヲ受クルカ如キモ亦間接ニ政府ノ行爲ヲ監督スル所以ナリ立法權ノ行政權ニ及ホス勢力ハ此ノ如シ而シテ立法權モ亦行政權ヲ拘束スルコトナクンハアラス民主國ニ於テハ通常大統領ニ法律不裁可ノ權ヲ與ヘスト雖モ然レトモ大統領ハ國會ノ議決シタル法律ニシテ著シク國利民福ニ反スト認ムルトキハ其ノ法律案ニ自家ノ意見ヲ附シテ之ヲ國會ニ返送シ其ノ再議ヲ求ムルコトヲ得ヘシ但大統領ノ國會ニ對スル勢力ノ強大ナルモノハ解散ノ權ナリトス國會ノ行動カ頗ル其ノ常規ヲ失シ且國民真正ノ意見ヲ代表スルモノニ非スト認ムルトキハ大統領ハ之ヲ解散スルコトヲ得ヘシ然レトモ通常大統領ハ自己單獨ノ意思ヲ以テ之ヲ決行スルコトヲ得スシテ上院ノ同意ヲ得ルコトヲ要ストスルモノ多シ政府カ法律提案ノ權ヲ有スルカ如キモ亦行政權カ立



法權ニ影響スルモノナリ民主國ニ於ケル立法權及行政權相互ノ關係ハ厓略右ニ述フルカ如シト雖モ君主制立憲國ニ至リテハ頗ル之ニ異ナルモノアリ君主制立憲國ニ在リテ立法行政ノ二權ハ共ニ君主ノ握有スル所ナルカ故ニ此ノ二權直ニ相對抗スルコトアラスシテ只立法權ノ機關タル國會ト行政權ノ機關タル政府ト相對抗スルコトアルノミ姑ク我カ帝國ノ制度ニ就キテ國會ト政府トノ關係ヲ案スルニ國會ハ未タ內閣ヲ變更易置スルノ勢力アラサルカ如シ然レトモ是レハ制度上然ルコト能ハサルノ理アルニ非スシテ唯此ノ如キ慣習カ我カ邦ニハ未タ發生セサルノミ其ノ得失ハ姑ク論セサルモ大勢ノ趨ク所遠カラスシテ我カ邦モ亦責任內閣ノ制ヲ行フニ至ルヘキコトハ具眼者ノ齊シク認識スル所ナリ蓋シ國會ヲ設ケ多數ノ意思ニ依リテ政ヲ行フノ制度ヲ立テタル以上ハ國會ノ多數カ信任推戴スル內閣存立スルニ非サルヨリハ決シテ圓滑ニ政治ヲ行フコト能ハサルハ理ノ最モ賄易キ所ナレハナリ但果シテ責任內閣ノ制ヲ行ハントスルトキハ國會ヲシテ眞誠ニ國民全體ノ意見利益ヲ代表スル公議輿論ノ府タラシメサルヘカラスアルコトハ勿論ナリ我カ國會ハ政府ニ質問スルノ權アリ此ノ質問權ハ頗ル政府

ノ行動ヲ拘束スルノ效力アルコトハ辯明ヲ須タサル所ナリ我カ國會ハ國務大臣ヲ彈劾スルノ權ナシ余輩ノ見ル所ヲ以テスレハ大臣ニシテ若シ朝憲ヲ紊亂シ國家ノ靜謐ヲ害スルカ如キ舉動アランニハ刑法ニ正條ノ在ルアリ司法權ニシテ獨立ノ態度ヲ保チタランニハ必スヤ之ヲ處罰スルニ躊躇セサルヘシ即チ國會ノ彈劾ニ待ツ所アラサルナリ然レトモ大臣カ其ノ政策ヲ誤リ大ニ國民民福ヲ損傷シタル場合ニ在リテ大臣ヲシテ國會ニ對シテ其ノ責ニ任シ其ノ職ヲ退カシムルコトハ必要ノ事ナリト雖モ我カ國法ハ大臣カ國會ニ對シテ責任ヲ負フノ規定ナシ我カ國法上大臣ヲ免黜スルノ權ハ獨リ天皇ノミニ存シテ國會ニ存セス故ニ大臣ニシテ如何ニ非違暴濫ノ行アリト雖モ天皇カ之ヲ免黜セサル限りハ國會ニ於テ又之ヲ奈何トモスルコト能ハス此ノ如キ場合ニ於テハ大臣ヲシテ德義上責ヲ引キテ辭職セシムル外ナキナリ國會ハ洵ニ大臣ヲ免黜スルノ權ナシト雖モ然レニモ政府ニ建議シ天皇ニ上奏スルノ權アリ故ニ大臣ニ非行アルトキハ政府ニ建議シテ其ノ反省ヲ求メ天皇ニ上奏シテ其ノ免黜ヲ請フコトヲ得ヘシ則チ政府ヲ制スルニ於テ其ノ道ナキコトヲ憂ヘサルナリ國會ハ又決議ノ方法ニ依リテ其ノ意



思ヲ發表シ政府ヲシテ警戒願念スル所アラシムルコトヲ得國會ハ又人民ノ請願ヲ受ケ採納スヘキモノト認ムルトキハ之ヲ政府ニ轉送シ政務ノ資料ニ供シ人民ノ希望ノ存スル所ヲ知ラシム是レ國會ノ政府ニ對スル勢力ノ概略ナリ蓋シ政府ハ至大ノ構造ヲ有シ多數ノ吏人ヲ用非其ノ權力自ラ強盛ナルヲ以テ成ルヘク之ヲ抑制スルノ必要アルナリ政府ノ國會ニ對スル勢力ハ主トシテ大臣ハ何時タリトモ議院ニ出席シテ其ノ意見ヲ述フルコトヲ得ルト法律案ヲ提出スルトノ二點ニ存ス之ニ依リテ見レハ政府ノ國會ニ對スル勢力ハ甚々微弱ナルカ如シト雖モ決シテ然ラス政府ハ所謂大臣補弼ノ義ニ依リ國會ノ決議シタル法律案ニシテ正義福利ニ合セスト認ムルトキハ天皇ニ奏請シテ之カ公布ヲ止メ以テ國會ノ決議ヲシテ無効ナラシムルコトヲ得ヘク又國會ト政府ト衝突シテ到底調和ノ目途ナキトキハ政府ハ國會ノ解散ヲ奏請スルコトヲ得ヘシ其ノ國會ヲ制スルニ於テ大ニ力アリト謂フヘシ之ヲ要スルニ國會ト政府トハ徒ニ相反目抗爭スヘキニ非スシテ互ニ相箝制シ相補翼シテ國政ノ運用ヲシテ正義ト福利トニ協合セシムルヲ以テ立憲政體ノ要旨トスルナリ

次ニ立法權ト司法權トノ關係ヲ述フヘシ此ノ二權ハ共ニ統治權ノ作用ナリ立法權ハ法律ヲ制作スルノ作用ニシテ司法權ハ法律ニ依リテ裁判ヲ爲スノ作用ナリ前ニモ述ヘタルカ如ク兵ト法トハ國家存立ノ最要具ナルカ故ニ立法者ハ國家ノ秩序ヲ保持シ個人ノ權利ヲ保障スルカ爲メニ法律ヲ制定シ國人ヲシテ悉ク之ニ遵踏シテ懲マラサラシム法律ハ國家ノ綱紀ナリ人事ノ儀則ナリ立法者ノ認メテ正義ニ適シ福利ニ合スト爲ス所ノモノナリ一日法律ナクンハ國家忽チ崩壞スヘシ然レトモ國人中法律ノ規則ニ遵踏セサル者アリテ國家ノ秩序ヲ破壞シ個人ノ權利ヲ侵害スル者アリタルトキハ必ス之ヲ強制シ束縛シ以テ法律ノ效力ヲ全カラシメサルヘカラス是レ司法權ノ缺クヘカラサル所以ナリ法律ハ裁判ノ標準タリ司法官ハ必ス之ニ依リテ裁判ヲ下サハルヘカラス法律ノ存セサル場合ニハ司法官カ其ノ良心ニ從テ裁判ヲ下スコトアリト雖モ是レ固ヨリ例外ニ屬ス凡ソ一切ノ法律皆裁判ノ標準タリト雖モ其ノ主要ナルモノハ刑法民法及訴訟法ナリ刑法ハ國家ノ公益ヲ防禦スル所以ニシテ民法ハ個人ノ私益ヲ保護スル所以ナリ國家ノ基礎ヲ攻撃スル者アリタルトキハ刑法ニ依リテ之ヲ責罰シ個人ノ權利ヲ侵



害シ若クハ個人相互間ニ法律上ノ争ヲ生シタルトキハ民法ニ依リテ之ヲ裁斷シ其レヲシテ正當ニ歸セシム而シテ訴訟法ハ刑事及民事ノ訴訟ヲ裁判スルノ手續タリ裁判ヲ爲スニ當リテハ一ニ此ノ手續ニ遵由セサルヘカラス刑法民法及訴訟法ハ人民行爲ノ準則タルコト勿論ナリト雖モ又之ト同時ニ裁判ノ標準タルモノナリ立法者ノ制定スル所必スシモ常ニ醇正ナルコトヲ得スト雖モ司法官ハ常ニ法律ニ忠順ナラサルヘカラス然レトモ司法官ノ忠順ナルヘキハ唯法律ノ正文ニ對シテノミ司法官ハ決シテ法律ノ正文ヲ措キテ立法者ノ意思ニ曲從スルコトアルヘカラス立法權ノ爲メニ左右セラレ其ノ機械奴隸トナルヘカラス立法權ト相對シテ獨立ノ態度ヲ保タンコトヲ要ス然ラスンハ立法者ハ或ル特種ノ人ヲ中傷センカ爲メニ法律ヲ制作シ司法官ヲシテ之カ爪牙ヲシムルコトナキヲ保セサルナリ且法律ト裁判トハ親密ノ關係ヲ有スルコト右ニ述フルカ如シト雖モ亦頗ル其ノ性質ヲ異ニスルモノアリ法律ハ將來ニ向テ一般ノ原則ヲ規定スルモノニシテ裁判ハ過去ニ生シタル特別ノ事項ヲ處分スルモノナリ法律ハ多少長キ時間ニ亘ルノ意思ニシテ裁判ハ法律ニ基ツキタル一時ノ意思ナリ裁判ハ往々不正非

理アルコトヲ免レスト雖モ法律ハ概シテ公正適理ナリ此ノ二者ハ此ノ如ク其ノ性質相異ナルカ故ニ之ヲ同一ノ機關ニ委ヌルコトヲ許サ、ルナリ終リニ行政權ト司法權トノ關係ヲ述フヘシ此ノ二權ハ或ハ以テ全然獨立シタル政權ナリトスル者アリ或ハ以テ行政權又ハ施政權ト云フノ細別ナリトスル者アルコトハ前ニ述フル所ナリ然レトモ是レハ唯政權分類ノ形式ヲ異ニスルニ過キスシテ其ノ實質ニ於テ此ノ二權ノ相混一スヘカラサルコトハ明白ナリ蓋シ立法權ニ於テ法律ヲ制作スルモ唯之ヲ制作シタルノミニテハ徒法空文タルニ止マルヘキヲ以テ必スヤ之ヲ實際ニ適用シテ其ノ實效ヲ收メサルヘカラス然レトモ法律ハ二個ノ方針ニ於テ適用セラル即チ一ハ裁判ノ形式ニ依ルモノニシテ一ハ行政ノ形式ニ依ルモノナリ是レ司法行政二權ノ由テ岐ル、所ナリ故ニ此ノ二權ハ其ノ根本ニ於テハ同一ニシテ其ニ法律適用ノ作用ヲ爲スモノナリト雖モ其ノ目的及行動ノ形式ニ於テ大ニ相異ナル所アリ行政權ハ法律ノ範圍内ニ於テ政治ノ目的ヲ達スル有ラユル手段ヲ行フノ任務ヲ有ス即チ行政權ハ國人ノ生活及文化ヲ發展スルノ目的ヲ以テ法律ヲ適用ス其ノ司法權ト異ナル所ハ行政權ハ司法權



ノ如ク或ル事實ノ現前スルヲ待チテ而ル後ニ行動スルモノニ非スシテ自ラ進ミテ事實ヲ喚起スルノ作用ヲ爲スニ在リ故ニ行政權ハ自ラ意思ヲ發シテ活動シ法律及職權ノ範圍内ニ於テ命令規則ヲ制定スルコトヲ得ルナリ之ニ反シテ司法權ハ國家ノ秩序ヲ保持シ個人ノ權利ヲ保護スルノ目的ヲ以テ法律ヲ適用ス故ニ法律ニ違背シタル者アリタルトキ若クハ法律上ノ爭訟疑議ヲ生シタルトキ法律ニ依リテ之ヲ裁判ス司法權ハ或ル事實ノ現前スルヲ待チテ行動ス自ラ進ミテ事實ヲ喚起スルコトナシ司法官ノ職務ハ主トシテ特別ナル場合ニ法律ノ原則ヲ應用スル論理的ノ作用ヲ爲スニ在ルナリ行政權ハ積極的ニシテ司法權ハ消極的ナリ行政權ハ活動シ司法權ハ静止ス行政權ハ實質的ニシテ司法權ハ形式的ナリ行政權ハ從屬ノ性質ヲ有シ一般施政ノ方針ニ拘束セラレ司法權ハ獨立ノ本能ヲ具ヘ單純ニ法律ヲ適用スルノ外些モ他ノ勢力ヲ感受スルコトナシ行政權ハ寧ロ敏活ニシテ機宜ニ適センコトヲ欲シ單獨制ナランコトヲ欲ス司法權ハ寧ロ慎重ニシテ誤謬ナカラシムコトヲ欲シ合議制ナランコトヲ欲ス夫レ此ノ二權ノ性質相異ナルコト此ノ如キトキハ決シテ之ヲ混同スルコトヲ得サルナリ司法權ハ立法權ニ

對シテ獨立ナルカ如ク行政權ニ對シテモ亦獨立ナランコトヲ要ス今日ニ在リテ行政權ニ對シテ司法權ノ獨立ヲ保障スル唯一ノ制度ハ終身官ノ制ナリ佛國革命ノ時ニ當リテ嘗テ人民ヲシテ司法官ヲ選舉セシメタルコトアリシト雖モ極メテ公平嚴烈ナルヘキ司法官ニシテ往々選舉人ノ歡心ヲ求メ或ル黨派ニ屬スル等ノ弊アリシヲ以テ之ヲ廢止セリ司法官ハ大抵國家ノ元首ノ任命スル所ナリ然レトモ國家ノ元首カ其ノ喜怒哀憎ニ任シテ妄リニ之ヲ黜陟スルコトヲ得ルトキハ司法權ハ其ノ獨立ヲ保ツコト能ハサルヘシ是レ各國ノ憲法ニ於テ大抵司法官ヲ終身官トシ刑法ノ宣告又ハ懲戒ノ處分ニ由ルノ外其ノ職ヲ免セラル、コトナシトスル所以ナリ

余輩ハ以上ニ於テ立法行政司法三權ヲ略說セリ我カ憲法ヲ解釋スル者或ハ此ノ三權ノ外ニ統治權ノ作用ノ一種トシテ憲法上ノ大權ト云フモノヲ認ムル者アリ抑モ憲法上ノ大權ト云フ語ハ果シテ如何ナル意義ヲ有スルカ之ヲ解スル者曰ク憲法上ノ大權トハ天皇カ統治機關ノ權限ニ委任セスシテ其ノ親裁ニ留保シタル統治權ノ作用ヲ謂フ即チ立法權ハ帝國議會ニ委任シ行政權ハ政府ニ委任シ司法



權ハ裁判所ニ委任シテ之ヲ行ハシムト雖モ其ノ以外ニ天皇カ此等ノ機關ニ由ラ  
 スシテ親ラ行ハル、統治權ノ作用アリ之ヲ稱シテ憲法上ノ大權ト謂フト余輩ヲ  
 以テ之ヲ見ルニ憲法上ノ大權ト云フハ立法行政司法三權ノ總稱ニ過キスシテ此  
 ノ三權ノ外ニ獨立シタル統治權ノ作用ニ非サルナリ請フ聊カ之ヲ論セン  
 恭シク案スルニ天皇ハ統治權ヲ總攬シ憲法ノ條規ニ依リテ之ヲ行フ唯國家ノ事  
 一日萬機ニシテ天皇躬ツカラ悉ク之ヲ行ハル、コト能ハサルカ故ニ其ノ作用ヲ  
 分テテ立法行政司法ノ三權ト爲シ各種ノ機關ニ分配シテ之ニ參贊セシメ天皇其  
 ノ大綱ヲ把握シ玉フ故ニ統治權ノ本體ノ天皇ニ屬スルハ勿論乃チ其ノ作用タル  
 立法行政司法ノ三權ニ至リテモ亦天皇ノ掌中ニ統括セラル、コト明ナリ既ニ統  
 治權ノ作用カ恐ク天皇ニ屬スル以上ハ國家ノ政務ハ悉ク天皇ノ親裁ニ屬ス天皇  
 萬機ヲ親裁セラル、コト是レ我カ國體タリ既ニ國家ノ政務悉ク天皇ノ親裁ニ屬  
 スル以上ハ豈別ニ天皇ノ親裁ニ屬スル政務ノ範圍ト云フモノアランヤ且國家ノ  
 政務ハ悉ク統治機關ニ由リテ之ヲ行フ統治機關ニ由ラスシテ天皇躬ツカラ行ハ  
 ルルモノナシ即チ立法權ハ帝國議會ノ協贊ヲ以テ之ヲ行ヒ司法權ハ裁判所ヲシ

テ天皇ノ名ニ於テ之ヲ行ハシメ其ノ他ノ政務ハ悉ク國務大臣ノ補弼ニ由リテ之  
 ヲ行フ是レ憲法ノ明記スル所ナリ之ニ依リテ見レハ統治機關ニ由ラスシテ天皇  
 ノ親裁スル政務ノ範圍アルヘキノ理ナシ之ヲ要スルニ國家ノ政務ハ悉ク天皇ノ  
 親裁ニ屬シ且悉ク統治機關ニ由リテ之ヲ行フ余輩故ニ曰ク統治權ノ作用ハ立法行  
 政司法ノ三權ニ止マリ此ノ外別ニ稱シテ憲法上ノ大權ト謂フモノアルコトナシト  
 論者曰ク余輩ノ所謂天皇ノ親裁ニ屬ストハ唯憲法ノ規定スル統治機關ノ權限ニ  
 委任セスト謂フノミ天皇カ官制ニ依リ或ル機關ヲ設ケテ國政ノ一部ヲ施行セシ  
 ムルハ親裁タルノ義ニ背カサルナリト余輩モ亦天皇カ統治機關ヲシテ統治權ノ  
 行使ニ參贊補翼セシムルハ毫モ天皇親裁ノ義ニ背カサルコトヲ認ム然レトモ天  
 皇カ官制ニ依リ或ル機關ヲ設ケテ之ニ政務ノ一部ヲ委任スルトキハ尙ホ天皇ノ  
 親裁ニ屬スト云フコトヲ妨ケスシテ憲法ノ規定スル機關ニ委任スルトキハ之ヲ  
 天皇ノ親裁ニ屬セスト云フハ果シテ何ノ理由ニ本ツクヤ均シク機關ノ權限ニ委  
 任シテ行ハシメナカラ一ハ親裁ニ屬ストシ一ハ親裁ニ屬セストス論者ノ妄モ亦  
 此ニ至リテ極マレト謂フヘシ假リニ論者ノ言ニ從ヒ親裁ト云フハ憲法ノ規定



スル統治機關ノ權限ニ委任セサルモノトシテ試ニ論者ニ問ハシテ立法權ハ果シテ帝國議會ノ權限ニ委任シタルモノナルヤ否ヤ憲法第五條ニ曰ク天皇ハ帝國議會ノ協贊ヲ以テ立法權ヲ行フト之ニ依リテ見レハ立法權ノ行使ハ天皇ニ在リ帝國議會ハ唯立法權ノ行使ニ協贊スルニ過キス立法權ノ行使ニ協贊スルハ立法權ヲ行使スルモノニ非ス即チ立法權ハ帝國議會ノ權限ニ委任シテ行使セシムルモノニ非サルコト明ナリ立法權ハ天皇ノ親裁ニ屬ス論者ノ所謂憲法上ノ大權ナリ論者ハ如何ニシテ立法權ト憲法上ノ大權トヲ分別スルコトヲ得ヘキヤ又憲法第九條ニ依レハ天皇ハ行政命令ヲ發スルノ權アリ是レ論者ノ所謂憲法上ノ大權ナリ行政命令ヲ發スルノ權ハ即チ行政權ニ非スヤ然ラハ行政權ト憲法上ノ大權トハ如何ニシテ分別スルコトヲ得ヘキヤ其ノ他陸海軍ノ統帥條約ノ締結榮典ノ授與等皆廣義ニ於ケル行政ナリ此ノ如ク考フルトキハ論者ノ所謂憲法上ノ大權ト云フモノ其ノ範圍混沌トシテ明知シ難キニ非スヤ誰レカ赫々タル憲法ニ於テ此ノ如キ曖昧模稜ノ政權ヲ認ムト思惟シ得ル者アラシヤ故ニ余輩ノ意ニ謂ヘラク單ニ統治權ト云フトキハ統治權ノ本體及作用ヲ併セテ之ヲ言ヒ大權ト云フトキハ

專ラ統治權ノ作用ノミヲ指シテ之ヲ言フ即チ立法行政司法三權ノ總稱ナルノミレ  
余輩既ニ曰ク立法權ハ帝國議會ノ協贊ヲ以テ之ヲ行ヒ司法權ハ裁判所ヲシテ之  
ヲ行ハシメ其ノ他ノ政務ハ悉ク國務大臣ノ補弼ヲ以テ之ヲ行フ是レ即チ行政權  
ナリト論者曰ク國務大臣ハ補弼ノ責任アレトモ大權ノ行使ヲ其ノ權限トシテ委  
任セラレタルモノニ非スト其ノ意ヲ推スニ國務大臣ノ補弼ヲ以テ行フ政務ト雖  
モ尙ホ天皇ノ親裁ニ屬スト云フコトヲ妨グスシテ即チ立法行政司法三權ノ外ニ  
憲法上ノ大權ト云フモノ存在スト云ハント欲スルモノナリ余輩將ニ言ハントス  
曰ク國務大臣ノ補弼ハ帝國議會ノ協贊ト同シク其ノ權限タリ帝國議會ハ立法權  
ノ行使ニ協贊スルノ權限アリ國務大臣ハ行政權ノ行使ヲ補弼スルノ權限アリ若  
シ大臣ノ補弼其ノ權限ニ非スハ國會ノ協贊モ亦其ノ權限ニ非ス大臣國會共ニ權  
限ナクハ行政權立法權ハ共ニ天皇ノ親裁ニ屬シテ論者ノ所謂大權ナリ此ノ如ク  
說カハ洵ニ能ク論理ヲ貫徹スルモノト謂フヘシ然レトモ此ノ如ク言フトキハ國  
家ノ政務ハ悉ク天皇ノ親裁ニ屬シ一モ統治機關ノ權限ニ屬スルモノハアラサル  
ヘシ之ニ反シテ若シ國會ニ協贊ノ權限アリト謂ハ、大臣ニモ亦補弼ノ權限アリ



ト謂ハサルヘカラス國會大臣共ニ權限アラハ立法權行政權ハ其ニ統治機關ニ由ルモノニシテ論者ノ所謂大權ニ非ス此ノ如ク説カハ亦洵ニ能ク論理ヲ貫徹スルモノト謂フヘシ然レトモ此ノ如ク言フトキハ國家ノ政務ハ悉ク統治機關ノ權限ニ屬シ一モ天皇ノ親裁ニ屬スルモノハアラサルヘシ此ノ如ク大臣ノ補弼ヲ以テ其ノ權限ナリトスレハ一切ノ政務ハ天皇ノ親裁ニ屬セサルノ結果トナリ大臣ノ補弼ヲ以テ其ノ權限ニ非ストスレハ一切ノ政務ハ天皇ノ親裁ニ屬スルノ結果トナル論者ノ言ハ進退兩難ノ地ニ陥ルモノナリ是レ余輩カ國家ノ政務ハ悉ク天皇ノ親裁ニ屬シ且悉ク統治機關ニ由リテ之ヲ行フト云フ所以ナリ且論者ノ言ニ從ヘハ憲法上全ク行政權ノ存在ヲ否認セサルヘカラス蓋シ憲法上國務大臣ハ補弼ノ責任ヲ負フニ止マル論者ハ大臣ノ補弼ヲ以テ其ノ權限ニ非ストスルカ故ニ國務大臣ニ由ル政務ハ悉ク天皇ノ親裁ニ屬スルモノナリ又論者ハ天皇カ官制ニ依リ或ル機關ヲ設ケテ國政ヲ施行セシムルハ親裁ノ義ニ背カストスルカ故ニ天皇カ官制ヲ以テ國務大臣ニ或ル權限ヲ委任スルモ尙ホ天皇ノ親裁ニ屬スルモノナリ即チ國務大臣ニ由ル政務ハ悉ク論者ノ所謂憲法上ノ大權ニ屬シテ通常國法上

ニ行政權ト稱スルモノハ全ク存セサルノ結果トナルヘシ

抑モ論者ハ何カ故ニ立法行政司法三權ノ外ニ特ニ憲法上ノ大權ト云フモノヲ認メテ強テ統治權ノ作用ノ一部ヲ天皇ノ親裁ニ留保セントスルカ夫レ統治權ノ作用ハ既ニ悉ク天皇ノ親裁ニ屬シ且各種ノ機關ヲシテ悉ク之ヲ補弼奉行セシメ而シテ機關ノ權限ハ憲法及法令ヲ以テ明ニ之ヲ制定スルトキハ又別ニ憲法上ノ大權ト云フモノヲ認ムルノ必要ナシ蓋シ論者ハ統治權ノ作用ヲ機關ノ權限ニ委任スルヲ以テ天皇統治權ノ範圍ヲ減縮スルモノト爲シテ乃チ立法行政司法三權ノ外ニ憲法上ノ大權ト云フモノヲ認メント欲スルニハ非サルカ果シテ然ラハ是レ甚タシキ迷謬ナリ天皇ト統治機關トハ決シテ相對立抗衡スルモノニ非ス統治機關ハ只天皇ノ委任ニ依リテ統治權ノ行使ニ參贊スルノミ統治機關ノ行動ハ即チ天皇ノ行動ナリ統治機關カ天皇ト統治權ノ作用ヲ爭奪分領セントスルニハ非ス統治權ノ作用ハ悉ク天皇ニ出ツ天皇カ統治權ノ作用ヲ機關ノ權限ニ委任スルハ機關ノ協贊補弼ニ依リテ之ヲ行ハント欲スレハナリ機關ノ權限ハ天皇ヲ拘束スルニ非スシテ天皇ヲ補翼スルナリ乃チ大臣補弼ノ責任ノ如キモ亦此ニ出ツ而シ



テ大臣ノ副署ハ補弼ノ一端ナリ何ヲカ補弼ノ責任ト謂フヤ君主ノ善徳ヲ獎勵シ其ノ過失ヲ匡救シ政治ノ運行ヲシテ憲法ノ軌轍ト正理公道トニ順適セシメ敢テ或ハ愆ツコトナキヲ謂フ君徳缺クルアラハ力爭諫止スルハ固ヨリ大臣ノ分ナリ諂諛迎合其ノ非行ヲ助クルハ決シテ大臣ノ義ニ非サルナリ若シ君主過失アラハ是レ大臣匡救ノ道ヲ盡サ、ルナリ君主ノ過ニ非スシテ大臣ノ罪ナリ大臣タル者宜シク答ヲ引キ罪ヲ謝シ其ノ職位ヲ去リテ以テ責任ノ所在ヲ明ニスヘシ是ヲ以テ君主常ニ神聖ノ資ヲ保チ國家ノ基礎永ク鞏固ナルコトヲ得是レ實ニ憲政ノ微旨ナリ論者乃チ曰ク大臣ハ君命ヲ奉行スルノ任務アリテ君命ヲ拒否スルノ權ナシ故ニ大臣ハ副署ヲ拒ムコトヲ得ス是レ天皇親裁ノ義ニ出ツト嗚呼是レ政道ノ過失ヲ君主ニ歸シ大臣ヲシテ君命ヲ藉口シテ其ノ責任ヲ逃レシムルモノニ非スヤ且大臣タル者唯々諾々君命是レ奉スルヲ以テ能事ト爲サハ又何ソ其ノ補弼ニ待タンヤ之ニ依リテ見レハ論者ノ所謂憲法上ノ大權ト云フモノハ實ニ之ヲ認ムルノ必要ナキノミナラス之ヲ認ムルハ大ニ憲法ノ精神ニ反スルモノナリ

論者將ニ言ハントス曰ク然ラハ憲法第一章ニ天皇ノ大權ヲ列記スルハ何故ナル

ヤト之ニ答フルコト甚タ易シ憲法第一章ニ天皇ノ大權ヲ列記スルモノハ統治權ノ本體作用共ニ天皇ニ屬スルコトヲ明ニセンカ爲メナルノミ即チ其ノ第一條及第四條ニ於テ統治權ノ本體ノ天皇ニ在ルコトヲ明ニシ第五條乃至第十六條ニ於テ統治權ノ作用ノ天皇ニ屬スルコトヲ示シタルナリ是レ即チ大權ニシテ要スルニ立法司法行政ノ三權ニ外ナラス其ノ第十七條ニハ攝政ヲ規定シ攝政ヲ置ク間ハ攝政カ天皇ニ代リテ此ノ大權ヲ行フヘキコトヲ明示セリ而シテ第三章ニ立法權ノ機關タル帝國議會ヲ規定シ第四章ニ行政權ノ機關タル國務大臣ヲ規定シ第五章ニ司法權ノ機關タル裁判所ヲ規定シ各其ノ權限ヲ明示セリ文理論理極メテ明晰ニシテ又一點ノ疑ヲ容ルヘキニ非ス其ノ第六十七條ニ憲法上ノ大權ト云フハ即チ第五條乃至第十六條ニ規定スル統治權ノ作用ヲ指シタルモノナリト雖モ唯此ノ條ハ政府ノ同意ナクシテ帝國議會ノ廢除シ又ハ削減スルコトヲ得サル歲出ノ種類ヲ列舉スルニ重キヲ置クカ故ニ其ノ大權ト云フハ歲出ニ直接ノ關係アル大權ヲ指シタルコト明ナリ之ヲ要スルニ大權ト云フ語ハ立法司法行政三權ノ總稱ニ外ナラス此ノ語ハ第十七條第三十一條及第六十七條ノ三條ニ見ユルノミ



ニシテ此ヲ以テ統治權ノ作用ノ一種ト爲スノ主意アルモノト思惟スルコト能ハス  
ス虚心平氣ニ憲法ノ條章ヲ讀マン者ハ直ニ能ク自ラ之ヲ知ラシ又余輩叟々ノ辯  
ヲ須タサルナリ

以上述フル所ノモノ、外統治權ノ作用トシテ認識スヘキモノ尙ホ刑罰權裁判權  
徵兵權收稅權ノ類アリ刑罰權ハ前ニ制裁ニ關シテ述フル所ナリ裁判權トハ裁判  
所カ其ノ權限ニ屬スル職務ヲ行フノ權利ヲ謂フ然レトモ此等ノ權利ハ唯立法權  
司法權行政權中ノ或ル重要ナル作用ニ名目ヲ附シタルモノニシテ特ニ統治權ノ  
作用ノ種類トシテ此ニ抽出論列スヘキモノニ非サルカ故ニ言ハス

### 第三款 統治權ノ機關

統治權ノ機關ハ各國其ノ國體及政體ニ依リテ同シカラス一々比較論究センコト  
ハ決シテ法學通論ノ能クスル所ニ非ス故ニ主トシテ本邦ノ制度ヲ基礎トシテ説  
明シ問々加フルニ外國ノ事例ヲ以テセント欲ス我カ憲法ニ依レハ統治權ノ本體  
及作用ハ共ニ天皇ニ屬スト雖モ天皇ハ唯政務ノ衡鈞ヲ絳霄ノ上ニ把握セラレ統

治權ノ作用ノ一タル立法權ハ帝國議會ノ協贊ヲ以テ之ヲ行ヒ行政權ハ政府ノ補  
弼ニ依リテ之ヲ行ヒ司法權ハ裁判所ニ委任シテ之ヲ行ハシム帝國議會政府及裁  
判所ノ三者ハ即チ統治權ノ機關ナリ余輩ハ以下三段ニ分チテ此等ノ機關ノ組織  
及權限ヲ略述スヘシ

#### 第一 帝國議會

帝國議會ハ國民ノ公心ヲ發表シ以テ天皇統治權ノ行使ニ參贊スル機關ナリ帝國  
議會ハ憲法ノ創設スル所ナリ故ニ帝國議會ハ憲法ノ改廢セラレサル限りハ存立  
スヘキモノナリ是レ其ノ法律命令ニ依リテ創設セラレタル他ノ機關ト相異ナル  
所ナリ法律命令ニ依リテ創設セラレタルモノハ亦法律命令ニ依リテ廢止セラル  
ヘシ我カ國ニ於テ國會ノ制度ハ明治二十三年憲法實施ノ時始メテ興リタルモノ  
ニシテ其ノ以前ニハ嘗テ有ラザリシ所ナリ之ニ反シテ歐洲ニ在リテハ國會ノ制  
度夙ニ發達シ其ノ最モ舊キモノハ英國ナリ大陸諸國ハ百年以來英國ノ制度ヲ移  
植シタルモノニシテ我カ邦ハ更ニ此等諸國ノ制度ヲ折衷摸倣シタルモノナリ其  
ノ組織及權限左ノ如シ



(甲) 帝國議會ノ組織

帝國議會ハ貴族院及衆議院ヨリ成ル(憲三三條)此ノ二院ハ共同ノ一體ニシテ同時ニ成立シ相待チテ其ノ職務ヲ行フ孤立シテ之ヲ行フコト能ハサルナリ一局議院及二局議院ノ利害得失ニ關シテハ議論甚々多シ然レトモ今日ハ理論及實際共ニ二局議院ノ制ニ確定スルモノ、如シ其ノ議論ノ歸宿スル所ヲ案スルニ一局議院ハ社會上下ノ階級ヲ適當ニ代表セシムルコト能ハス且其ノ行動稍モスレハ極端急激ニ陥リ易シト雖モ二局議院ニ在リテハ正ニ之ニ反スト云フニ在リ左ニ貴族院及衆議院ノ組織ヲ分説スヘシ

(イ) 貴族院

貴族院ハ皇族華族及勅任議員ヲ以テ組織ス(憲三四條)貴族院令一條)皇族ノ男子成年ニ達シタル者ハ皆終身議席ニ列スルモノトス(貴二條)華族中公侯爵ヲ有スル者滿二十五歳ニ達シタルトキハ當然皆終身議員トナル伯子男爵ヲ有スル者滿二十五歳ニ達シ各其ノ同爵ノ選舉ニ當リタル者ハ七箇年ノ

任期ヲ以テ議員トナル伯子男爵議員ノ數ハ伯子男爵各總數ノ五分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス(貴二條乃至四條)

勅任議員ニハ國家ニ勳勞アリ又ハ學識アル者ヨリ特ニ勅任セラレタル者ト各定縣ノ多額納稅者中ヨリ一人ヲ互選シテ勅任セラレタル者トノ二種アリ勳勞學識ニ由ル議員ハ滿三十歳以上ノ男子ニシテ終身議員トナルモノトス多額納稅議員ハ同シク滿三十歳以上ノ男子ニシテ各府縣ニ於テ多額ノ直接國稅(地租所得稅及營業稅)ヲ納ムル者十五人ノ中ヨリ一人ヲ互選シ其ノ選ニ當リテ勅任セラレ七箇年ノ任期ヲ以テ議員タルモノトス勅任議員ノ數ハ華族議員ノ數ニ超過スルコトヲ得ス貴族院議員ノ數ハ一定セス大抵三百人内外トス(貴四條乃至七條)貴族院議長副議長ハ議員中ヨリ七箇年ノ任期ヲ以テ勅任セララル(貴一一條)

(ロ) 衆議院

衆議院ハ選舉法ニ由ル公選議員ヲ以テ組織ス(憲三五條)選舉法ニ依レハ議員ノ定數ハ三百人ニシテ各府縣ヲ數個ノ選舉區ニ分割シ各選舉區ヨリ一人(稀レニハ二



人ノ議員ヲ選出セシムルノ制ナリ而シテ選舉權被選舉權ハ一定ノ資格ヲ有スルモノニ限り之ヲ享有スルコトヲ得ルモノトシ選舉法ニ定メタル一定ノ手續ニ從ヒテ之ヲ行使スヘキモノトス我カ選舉法ニ依レハ選舉人即チ選舉權ヲ有スル者ハ左ノ資格ヲ備フルコトヲ要ス

一、日本臣民ノ男子ニシテ年齡滿二十五歲以上ノ者タルコト

二、選舉人名簿調製ノ期日ヨリ前滿一年以上其ノ府縣内ニ於テ本籍ヲ定メ住居シ仍ホ引續キ住居スル者タルコト

三、同シク選舉人名簿調製ノ期日ヨリ前滿一年以上其ノ府縣内ニ於テ直接國稅十五圓以上ヲ納メ仍ホ引續キ納ムル者タルコト、但所得稅ニ就キテハ人名簿調製ノ期日ヨリ前滿三年以上之ヲ納メ仍ホ引續キ納ムルコトヲ要ス(選六條)

被選人即チ被選舉權ヲ有スル者ノ資格モ亦略右ト同シ唯其ノ異ナル所ハ(一)被選人ハ年齡滿三十歲以上ナルコトヲ要スルト(二)人名簿調製ノ期日ヨリ前滿一年以上其ノ府縣内ニ本籍ヲ定メ住居スルコトヲ要セサルト(三)二點ノミ其ノ他ハ全ク選舉人ノ資格ト同一ナリ(選八條)

議員ノ任期ハ四箇年トス議長副議長ハ議員中ヨリ各三名ノ候補者ヲ選舉シ其中ヨリ勅任セラル其ノ任期ハ議員ト同シ

次ニ帝國議會集散開閉ノ事ヲ述フヘシ  
帝國議會ハ毎年一回之ヲ召集シ三箇月ヲ以テ其ノ會期トス之ヲ常會ト稱ス召集ノ勅諭ハ集會ノ期日ヨリ少クモ四十日前ニ之ヲ發布ス兩議院ハ集會ノ日ニ於テ成立ス其ノ後更ニ勅命ヲ以テ開會ノ日ヲ定メ兩院貴族院ニ合同シテ開院式ヲ行フ此ノ日ヨリシテ議院ハ其ノ職務ヲ行フコトヲ得開會後三箇月ヲ經過シタルトキハ之ヲ閉會ス必要アル場合ニハ會期ヲ延長スルコトアリ又臨時緊急ノ必要アル場合ニ於テハ臨時會ヲ開ク臨時會ノ會期ハ勅令ヲ以テ特ニ之ヲ定ム會期中議會ト政府トノ間ニ衝突ヲ生シタルカ如キ場合ニ於テ十五日ヲ限リテ議事ノ中止ヲ命スルコトアリ之ヲ停會ト稱ス又議院自ラ議事ヲ休止スルコトアリ之ヲ休會ト稱ス議會ト政府トノ衝突益激烈ニシテ議會カ政府ノ提出案ヲ否決シ若クハ政府不信任案ヲ提出シタルカ如キ場合ニ於テ議會ノ意見國民真正ノ輿論ヲ代表スルモノニ非スト認ムルトキハ天皇ハ議會ノ解散ヲ命スルコトアリ此ノ場合ニハ



勅命ヲ以テ新ニ議員ヲ選舉セシメ解散ノ日ヨリ五箇月以内ニ之ヲ召集スルモノトス但解散ハ衆議院ニ限ルモノニシテ貴族院ニハ之ヲ行ハス衆議院解散セラルトキハ貴族院ハ單ニ停會セラル解散ノ場合ヲ除キ開會閉會會期ノ延長及停會ハ貴衆兩院同時ニ之ヲ行フモノトス

### (乙) 帝國議會ノ權限

帝國ノ議會ノ權限トシテ憲法及議院法ニ定ムル所ノモノ大凡左ノ如シ

#### イ) 立法協贊ノ權(憲五條三七條)

法律ヲ制定スルノ權ハ天皇ニ屬ス議會ハ唯天皇立法權ノ行使ニ協贊スルノ權限ヲ有スルニ過キス然レトモ議會ノ協贊ハ法律制定ノ必要條件ニシテ之ヲ缺クトキハ法律ハ成立スルコトヲ得ス故ニ議會ハ固ヨリ立法權ヲ有スルモノニ非スト雖モ其ノ權限ハ決シテ輕微ノモノト誤信スヘカラサルナリ而シテ法律ヲ以テ規定スヘキ事項ハ之ヲ大別シテ立法事項及法定事項ノ二類ト爲ス立法事項トハ憲法ニ於テ必ス法律ヲ以テ規定スヘキコトヲ命シタル事項ヲ謂ヒ法

定事項トハ一旦法律ヲ以テ定メタル事項ヲ謂フ蓋シ命令ヲ以テ法律ヲ變更スルヲ得サルコト(憲九條但書憲法ノ原則ナルカ故ニ一タヒ法律ヲ以テ定メタル事項ハ又必ス法律ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ變更廢止スルコトヲ得ス唯其ノ範圍ハ現在及將來ニ於テ法律ヲ以テ規定スル事項ノ全體ヲ包括スルモノニシテ此ニ一々列舉スルコトヲ得ス之ニ反シテ立法事項ハ憲法ニ之ヲ明記スルカ故ニ其ノ範圍ヲ知ルコト甚タ容易ナリ試ニ之ヲ列舉スレハ左ノ如シ

戒嚴ノ要件及效力(一四條二項)

日本臣民タルノ要件(一八條)

兵役及納稅ノ義務(二〇條二一條)

居住及移轉ノ自由(二二條)

身體ノ自由(二三條二四條)

住所ノ安固(二五條)

信書ノ秘密(二六條)

財産ノ安固(二七條)



言論著作印行集會及結社ノ自由(二九條)

裁判ノ準則(五七條一項五九條)

通常裁判所ノ構成裁判官ノ資格及其ノ懲戒ノ條規(五七條二項五八條)

特別裁判所及行政裁判所(六〇一條六一條)

租稅ノ賦課及稅率ノ變更(六二條六三條)

會計検査院ノ組織及職權(七二條二項)

是ニ依リテ之ヲ觀レハ憲法カ立法事項トシテ規定スル所ノモノハ大抵直接間接ニ臣民ノ權利財産ニ關スル事項ナルコトヲ知ルヘシ此等ノ事項ハ必ス議會ノ協贊ヲ經タル法律ヲ以テ之ヲ規定セサルヘカラス立法事項及法定事項以外ノ事項ハ法律ヲ以テ規定スルモ命令ヲ以テスルモ立法者ノ任意ニ屬スルモノナリ

(ロ)豫算議定ノ權憲六四條乃至六九條議四〇條四一條)

國家ハ其ノ萬般ノ政務ヲ處理スルカ爲メニ費用ヲ要シ此ノ費用ハ臣民ノ負擔ニ出ツルモノニシテ國費ノ收入支出ハ臣民ノ利害休戚ニ關スルコト甚タ大ナリトス是レ臣民ノ代表者タル議會ニ豫算議定ノ權ヲ與フル所以ナリ豫算ヲ設

クルノ目的ハ一年度間收入支出ノ平衡ヲ得シメテ財政ノ秩序ヲ保テ行政官府ヲシテ準依スル所アラシムルニ在リ豫算ハ必ス先ツ衆議院ニ提出スヘキモノトス是レ衆議院ハ直接ニ人民ノ選舉ニ依リテ成立シ最モ能ク其ノ利害ヲ代表スルモノナルカ故ニ之ニ先議權ヲ與ヘ貴族院ヲシテ頗ル衆議院ノ意思ニ顧慮スル所アラシメンカ爲メナリ

(ハ)緊急命令承諾ノ權憲八條七〇條)

(ニ)行政事件協贊ノ權憲六二條二項)

此ニ行政事件ト云フハ國債ヲ起スコト及豫算ニ定メタルモノヲ除ク外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スコトノ二事ヲ指スモノナリ

(ホ)決算ノ報告ヲ受クルノ權憲七二條)

(ヘ)法律案ヲ提出スルノ權憲三八條)

(ト)上奏ノ權憲四九條議五一條五二條)

(チ)建議ノ權憲四〇條議同上)

(リ)質問ノ權議四八條四九條)



(ヌ)臣民ノ請願ヲ受クルノ權(憲五〇條議六二條乃七一條)

(ル)議院内部ノ整理規則ヲ設クルノ權(憲五一條)

(オ)變員懲罰ノ權(議九四條)

帝國議會カ其ノ權限ノ事ヲ行フハ兩院ノ共同ニ出ツルコトヲ原則トス故ニ前掲(イ)ヨリ(ホ)マテノ權限ハ必ス兩院ノ協賛承認アルコトヲ要ス之ニ反シテ(ヘ)ヨリ(オ)マテノ權限ハ各院獨立シテ之ヲ行フコトヲ得是レ其ノ例外タリ而シテ議會ノ權限ハ憲法及法律ニ於テ特ニ賦與セラレタルモノニ止マルヘキモノニシテ其ノ以外ノ事項ハ議會隨意ニ之ヲ行フコトヲ得サルモノトス殊ニ議會カ人民ニ向テ告示ヲ發シ或ル事件ノ審査ノ爲メニ人民ヲ召喚シ議員ヲ派遣シ及國務大臣政府委員ノ外他ノ官廳及地方議會ニ向テ照會往復スルコトハ議院法ノ禁スル所ナリ(議七二條乃至七五條)

## 第二 政府

此ニ政府ト云フハ立法權ノ機關タル帝國議會及司法權ノ機關タル裁判所ニ對シ

テ行政權ノ機關タル官府ヲ總稱ス即チ主トシテ國務大臣ノ統督ニ屬スル行政官府ヲ指シテ云フ政府ハ法律命令ヲ施行シ及國家ノ秩序ヲ保持シ人民ノ福利ヲ増進スルカ爲メニ百般ノ政務ヲ行フモノナリ政府ハ諸種ノ官府ヨリ成ル官府トハ政務ノ一部ヲ行フノ機關タリ官府ノ政務ヲ行フモノヲ官吏ト謂フ官府ニハ單獨制アリ合議制アリ單獨制ノ官府トハ一人ノ官吏職權ヲ掌握シ他ハ其ノ補助官タルニ止マルモノヲ謂ヒ合議制ノ官府トハ數人ノ官吏共同シテ其ノ職ニ當ルモノヲ謂フ

政府ノ事ヲ述フルニ就キテハ茲ニ地方團體ノ事ヲ略叙セサルヘカラス蓋シ行政機關ヲ大別シテ中央政府及地方團體ノ二ト爲ス中央政府ハ普通行政ヲ行フノ機關ニシテ地方團體ハ自治行政ヲ行フノ機關タリ普通行政ハ政府カ全國ニ施行スル國家ノ政務ニシテ自治行政ハ地方團體カ一地方ニ施行スル團體ノ政務ナリ普通行政ト自治行政トヲ形式上ヨリ區別スレハ全國ニ行ハル、行政ハ普通行政ニシテ一地方ニ行ハル、行政ハ自治行政ナリ實質上ヨリ區別スレハ全國ノ利害ニ關スル行政ハ普通行政ニシテ一地方ノ利害ニ關スル行政ハ自治行政ナリト謂フ



コトヲ得ヘシ然レトモ實際ニ於テ如何ナル政務カ普通行政ニ屬スルヤ將タ自治行政ニ屬スルヤハ偏ニ現行ノ法規ニ就キテ之ヲ知ルノ外ナキモノトス而シテ自治行政モ要スルニ國家ノ政務ニ外ナラサレハ或ハ中央政府ハ統治者カ直接ニ其ノ政務ヲ行フノ機關ニシテ地方團體ハ統治者カ間接ニ其ノ政務ヲ行フノ機關ナリト謂フコトヲ得ヘシ

左ニ中央政府及地方團體ノ組織及權限ノ梗概ヲ述フヘシ

### 甲、中央政度

中央政府ニ屬スル官府ハ内閣、各省大臣、府縣知事及郡長トス

#### 一、内閣

内閣ハ内閣總理大臣及各省大臣ヲ以テ組織スル合議官府ナリ此等ノ大臣ハ皆國務大臣タルト同時ニ内閣員タリ唯各省大臣ハ各主任ノ職務ヲ有スレトモ總理大臣ハ之ヲ有セス且内閣員ハ此等ノ大臣ニ限ルニ非スシテ各省大臣ノ外特旨ニ依

リ國務大臣トシテ内閣員ニ列セラル、モノアリ但宮内大臣ハ國務大臣ニ非ス是レ其ノ職務專ラ帝室ノ事ニ關シ國務ト相關セサルヲ以テナリ

内閣總理大臣ハ各大臣ノ首班トシテ職務ヲ奏宣シ旨ヲ受クテ行政各部ノ統一ヲ保持シ又須要ト認ムルトキハ行政各部ノ處分又ハ命令ヲ中止セシメ勅裁ヲ待ツコトヲ得

内閣ノ權限ハ左ノ事項ヲ議決スルニ在リ

(イ)法律案及豫算決議案

(ロ)外國條約及重要ナル國際條件

(ハ)官制又ハ規則及法律施行ニ關スル勅令

(ニ)各省ノ間主管權限ノ爭議

(ホ)天皇ヨリ下付セラレ又ハ帝國議會ヨリ送致スル人民ノ請願

(ヘ)豫算外ノ支出

(ト)勅任官及地方長官ノ任命及進退

(チ)各省主任ノ事務ニ就キ高等行政ニ關係シ事體稍重キモノ



(リ)何等ノ件ヲ問ハス主任大臣ノ所見ニ由リ閣議ニ提出シタルモノ  
之ニ依リテ見レハ内閣ニハ一定ノ職權アリテ各省大臣ノ主任事務トハ自ラ相同  
シカラス故ニ内閣ハ各省ノ上ニ在リテ之ヲ指揮監督スルモノニ非ス内閣ハ別ニ  
一個ノ官府ニシテ國家ノ統一ヲ保チ多岐分裂ノ弊ヲ防クヲ以テ其ノ主眼トス而  
シテ各省大臣ハ入テハ閣議ニ參與シ出テハ各省ノ事務ニ當リ直ニ天皇ニ對シテ  
其ノ責ニ任スルモノナリ往昔太政官カ諸省ノ上ニ在リテ諸省卿ハ一ニ其ノ指令  
ヲ仰キテ事務ヲ行ヒタルト大ニ其ノ趣ヲ異ニスルナリ

## 二、各省大臣

各省大臣ハ普通行政ノ一部ヲ擔任スル單獨官府タリ次官以下ハ唯大臣ノ手足ト  
シテ其ノ事務ヲ準備補助スルニ止マリ獨立ノ職權ヲ有スルモノニ非ス  
現今ノ制度ハ國務大臣所轄ノ官廳ヲ分チテ外務内務大藏陸軍海軍司法文部農商  
務及遞信ノ九省トシ其ノ分掌事務ヲ定ムルコト左ノ如シ

一、外務大臣ハ外國ニ關スル政務ヲ施行シ及外國ニ於ケル帝國商事ノ保護ニ關

スル事務ヲ管理シ外交官及領事官ヲ監督ス

二、内務大臣ハ地方行政議員選舉警察監獄土木衛生地理社寺出版著作權戶籍賑  
恤及救濟ニ關スル事務ヲ管理シ中央衛生會警視總監北海道廳長官及府縣知  
事ヲ監督ス

三、大藏大臣ハ政府ノ財政ヲ總轄シ會計出納租稅國際預金保管金及銀行ニ關ス  
ル事務ヲ管理シ府縣郡市町村及公共組合ノ財務ヲ監督ス

四、陸軍大臣ハ陸軍軍政ヲ管理シ軍人軍屬ヲ統督シ及所轄諸部ヲ監督ス

五、海軍大臣ハ海軍軍政ヲ管理シ軍人軍屬ヲ統督シ及所轄諸部ヲ監督ス

六、司法大臣ハ司法上ノ行政司法警察及恩赦ニ關スル事務ヲ管理シ裁判ノ執行  
ヲ監督シ行政事務ニ付キテ裁判所ヲ監督ス

七、文部大臣ハ教育學問ニ關スル事務ヲ管理ス

八、農商務大臣ハ農工商水産林野鑛山發明意匠商標及地質ニ關スル事務ヲ管理  
ス

九、遞信大臣ハ郵便電信鐵道船舶海員航路標識及郵便爲換郵便貯金ニ關スル事



務ヲ管理シ電氣事業ヲ監督ス

各省大臣ハ法律勅令ニ依リテ其ノ主管ノ行政ヲ施行シ法律勅令ノ範圍内ニ於テ省令ヲ發スルノ權アリ又各省大臣ハ下級行政官府ニ對シテ訓令及監督ノ權ヲ有ス各省ノ外樞密院行政裁判所及會計検査院モ亦中央政府ニ屬スル官府トシテ列擧スルコトヲ得ヘシ然レトモ樞密院ハ天皇ノ諮詢ニ應ヘ重要ノ國務ヲ審議スルノ最高顧問府ニシテ專ラ之ヲ行政官府ノ一ト見做スヘカラス行政裁判所ハ行政訴訟ノ爲メニ設置セラレ會計検査院ハ會計監督ノ爲メニ設置セラレタル特別ノ官府ニシテ固ヨリ中央政府ノ一部ヲ爲スモノナリト雖モ其ノ組織權限頗ル一般ノ行政官府ト異ナルモノアルヲ以テ姑ク省略ニ從フ

三、府縣知事

府縣知事ハ普通行政ヲ其ノ府縣内ニ施行スルノ單獨官府タリ知事ハ中央政府ニ屬スル官府ニシテ地方ニ出張シ一定ノ行政區劃内ニ其ノ職權ヲ行フモノナリ其ノ地方ニ在ルノ點ヨリ之ヲ地方官府ト稱ス府縣書記官以下ハ知事ノ補助官ニシ

テ獨立ノ職權ナシ

府縣知事ハ內務大臣ノ指揮監督ヲ受ク各省ノ主務ニ就キテハ各省大臣ノ指揮監督ヲ受ク所部ノ官吏ヲ指揮監督シテ法律命令ヲ執行シ部内ノ行政事務ヲ管理ス知事ハ部内ノ行政事務ニ就キ其ノ職權若クハ特別ノ委任ニ依リ法律命令ノ範圍内ニ於テ命令ヲ發スルコトヲ得府縣令是レナリ知事ハ非常急變ノ場合ニ於テハ師團長若クハ旅團長ニ移牒シテ出兵ヲ請フコトヲ得知事ハ下級官府即チ郡長島司等ニ對シテ訓令及監督ノ權ヲ有ス

府縣知事ハ又地方團體タル府縣ヲ統轄シ代表シテ其ノ自治行政ヲ施行スルノ職分ヲ有ス然レトモ此ノ場合ニ於テ知事ハ地方團體タル府縣ノ機關ニシテ中央政府ノ機關ニ非ス其ノ資格全ク相異ナルモノトス知事カ府縣ノ機關トシテ如何ナル職分ヲ有スルヤハ後ニ地方團體ノ所ニ至リテ之ヲ述フヘシ

府縣知事ノ終リニ此ニ地方制度ノ特例タル臺灣總督府北海道廳及警視廳ノ事ヲ附言スヘシ

臺灣總督府ハ臺灣島及澎湖列島ヲ管轄スル地方官府タリ臺灣總督ハ委任ノ範圍



内ニ於テ陸海軍ヲ統率シ内務大臣ノ監督ヲ受ケ諸般ノ政務ヲ統理ス總督ハ勅裁ヲ經テ法律ノ效力ヲ有スル命令ヲ發スルコトヲ得之ヲ律令ト稱ス其ノ他總督ハ總督府令ヲ發シ所部ノ官吏ヲ統督シ必要ノ場合ニハ兵力ヲ用ヅルコトヲ得總督ノ下ニ縣知事島司支廳長等ヲ置キテ各其ノ部内ノ政務ヲ管理セシム  
北海道廳ハ北海道ヲ管轄スル地方官府タリ長官ノ權限ハ府縣知事ト同シ唯北海道ニハ府縣制ヲ施行セス從テ長官ハ地方團體ノ機關トナルコトナシ是レ其ノ府縣知事ト異ナル所ナリ  
警視廳ハ東京府下ノ警察及監獄ノ事務ヲ掌理スル特別ノ地方官府タリ恰モ他府縣ノ警察部及監獄署ヲ合シタルカ如キモノニシテ本來ハ東京府ノ管轄ニ屬スヘキモノナレトモ特別ノ事由ニ依リテ府廳ノ外ニ之ヲ置キ直ニ内務大臣ニ隸屬キシメタルナリ

#### 四、郡長

郡長ハ普通行政ヲ其ノ部内ニ施行スルノ單獨官府タリ郡長ハ府縣知事ノ指揮監

督ヲ受ケ法律命令ヲ部内ニ執行シ部内ノ行政事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ監督シ行政事務ニ付キテ其ノ部内ノ町村長ヲ指揮監督ス郡長ハ法律命令ニ依リ若クハ府縣知事ヨリ委任セラレタル事件ニ付キ郡令ヲ發スルコトヲ得  
勅令ヲ以テ指定スル島地ニ島司ヲ置ク其ノ職權郡長ト同シ  
府縣知事及郡長ノ外中央政府ノ官吏ニシテ普通行政ヲ一地域内ニ施行スル者尙ホ多シ例ヘハ郵便局稅務署大隊區司令部大小林区署ノ類ノ如シ然レトモ此等ハ直ニ各省大臣ニ隸屬シ其ノ補助官トシテ其ノ政務ノ一部ヲ一地域内ニ施行スルニ過キスシテ獨立ノ職權アル府縣知事及郡長トハ其ノ性質大ニ相異ナレリ、普通行政ヲ行フ者ハ獨リ以上ノ諸官府ニ止マラスシテ地方自治團體タル市町村ノ吏員モ亦法律命令ノ委任ニ依リテ普通行政ノ一部ヲ其ノ地域内ニ行フコトアルナリ

#### 乙、地方團體

地方團體ハ自治行政ヲ行フノ機關ニシテ府縣郡市町村是レナリ其ノ最下級ニ在



ルモノヲ市町村ト爲ス町村ハ之ヲ郡ニ綜括シ而シテ市ハ郡ノ外ニ獨立シ市郡ハ之ヲ府縣ニ綜括シ府縣ハ之ヲ中央政府ニ綜括ス是レ其ノ階級タリ府縣郡市町村ハ均シク地方團體タリト雖モ其ノ自治行政ノ範圍ハ大ニ其ノ廣狹ヲ異ニス即チ府縣郡ノ自治行政ハ專ラ地方財政ノ一部ニ限局セラレ其ノ範圍極メテ狹小ナルモ市町村ノ自治行政ハ市町村ニ關スル一切ノ公務ヲ包括シ其ノ範圍極メテ廣汎ナリトス

地方團體ノ外ニ公共組合ト稱スルモノアリ公共組合ハ或ル特定ノ公務ノ爲メニ設ケラレタル團體ニシテ例ヘハ水害豫防組合商業會議所ノ類是レナリ此ノ種ノ組合ハ我カ邦ニハ未タ大ニ發達セス之ニ關スル制度モ亦甚タ不完全ナリ

## 一、府縣

府縣ハ市及郡ノ上ニ在ル上級地方自治團體ニシテ公法人タルノ資格ヲ有ス

府縣制三十二年法律第六十四號ニ依レハ府縣ノ機關ハ府縣會府縣參事會府縣官吏及府縣吏員トス

府縣會ハ府縣内ノ各選舉區ニ於テ府縣會議員ノ選舉權ヲ有スル者カ其ノ被選舉權ヲ有スル者ノ中ヨリ選舉シタル議員ヲ以テ組織ス選舉區ハ郡市ノ區域ニ依ル府縣會議員ノ選舉權ヲ有スル者ハ(一)府縣内ノ市町村公民ナルコト(二)市町村會議員ノ選舉權ヲ有スルコト(三)其ノ府縣内ニ於テ一年以來直接國稅年額三圓以上ヲ納ムルコトノ三條件ヲ要ス其ノ被選舉權ヲ有スル者ノ條件モ亦略之ト同一ナルトモ唯納稅資格ニ於テ直接國稅年額十圓以上ヲ納ムルコトヲ要スルノ差アルノミ議員ノ任期ハ四年ニシテ滿期毎ニ之ヲ改選ス府縣會議員ハ衆議院議員ト相兼ヌルコトヲ得ス府縣會ハ通常會及臨時會トス通常會ハ毎年一回之ヲ開ク其ノ會期ハ三十日以内トス臨時會ハ必要アル場合ニ於テ其ノ事件ニ限リ之ヲ開ク其ノ會期ハ七日以内トス府縣會ノ議決スヘキ事件ノ主要ナルモノハ(一)歳入出豫算ヲ定ムル事(二)法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料府縣稅及夫役現品ノ賦課徵收ニ關スル事(三)府縣有財産ノ管理及處分ニ關スル事等ナリ此ノ外法律命令ニ依リ特ニ府縣會ノ權限ニ屬シタル事項ヲ議決ス

府縣參事會ハ府縣知事府縣高等官二名及名譽職參事會員ヲ以テ組織シ知事ヲ議



長トス名譽職參事會員ハ府縣會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選舉ス府縣參事會ノ職務  
 權限ハ大抵府縣會ト同シ其ノ主要ナルモノハ(一)府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシ  
 テ臨時急施ヲ要シ府縣知事ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ府縣會ニ  
 代テ議決スル事(二)府縣知事ヨリ府縣會ニ提出スル議案ニ付キ府縣知事ニ對シ意  
 見ヲ述フル事(三)府縣會ノ議決シタル範圍内ニ於テ財產及營造物ノ管理ニ關シ重  
 要ナル事項ヲ議決スル事(四)府縣費ヲ以テ支辨スヘキ工事ノ執行ニ關スル規定ヲ  
 議決スル事等ナリ此ノ外法律命令ヲ以テ特ニ府縣參事會ノ權限ニ屬シタル事項  
 ヲ處理ス其ノ一二例ヲ舉クレハ郡市町村ヨリ提起スル訴願ヲ裁決シ其ノ他公用  
 土地收用ノ審査及所得稅ノ審査ヲ爲スノ類ナリ府縣參事會ハ合議制ノ機關ニシ  
 テ府縣知事ハ唯其ノ一員タルニ過キス之ヲ統治權ノ機關ニ比較スレハ府縣會ハ  
 帝國議會ノ如ク府縣參事會ハ猶ホ内閣ノ如シ知事ハ即チ府縣ノ總理大臣タリ  
 府縣官吏タル府縣知事ハ府縣ヲ統轄シ之ヲ代表ス其ノ擔任事務ノ概目ハ(一)府縣  
 費ヲ以テ支辨スヘキ事件ヲ執行スル事(二)府縣會及府縣參事會ノ議決ヲ經ヘキ事  
 件ニ付其ノ議案ヲ發スル事(三)財產及營造物ヲ管理スル事(四)收入支出ヲ命令シ及

會計ヲ監督スル事(五)證書及公文書類ヲ保管スル事(六)使用料手数料府縣稅及夫役  
 現品ヲ賦課徵收スル事(七)其ノ他法律命令ニ依リ府縣知事ノ職權ニ屬スル事項ト  
 ス府縣知事ハ地方官吏タルノ資格ト府縣官吏タルノ資格トヲ兼有スルモノニシ  
 テ地方官府タル知事ノ職權ハ極メテ廣大ナルモ府縣官吏タル知事ノ職權ハ甚ダ  
 狹隘ナルモノトス  
 府縣吏員ハ府縣ノ事務ヲ處理セシムルカ爲メニ特ニ設クルモノニシテ有給吏員  
 府縣出納吏及委員トス有給吏員ハ府縣知事ノ任免スル所ニシテ主トシテ府縣有  
 財產ノ管理若クハ土木工事等ノ事ニ任スルモノナリ府縣出納吏ハ官吏吏員ノ中  
 ヲリ府縣知事ノ任命スル所ニシテ專ラ府縣ノ田納事務ニ任スルモノナリ而シテ  
 委員ハ財產若クハ營造物ヲ管理シ其ノ他府縣事務ノ一部ヲ調査シ又ハ一時ノ委  
 託ニ依リ事務ヲ處辨スルカ爲メニ設クルモノニシテ臨時委員常設委員ノ別アリ  
 其ノ組織選任任期等ハ府縣會ノ議決ヲ經內務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定  
 ム府縣吏員ト府縣官吏トハ明ニ之ヲ區別センコトヲ要ス府縣官吏ハ即チ國ノ官  
 吏ニシテ府縣ニ駐在シ各其ノ擔任スル普通行政ノ一部ヲ其ノ府縣内ニ施行スル



ト同時ニ地方團體タル府縣ノ事務ヲ擔任スル者ナリ

### 二 郡

郡ハ市制ヲ施行セサル土地ニ於テ町村ヲ基礎トシテ成立スル地方自治團體ニシテ公法人タルノ資格ヲ有ス

郡制三十二年法律第六十五號ニ依レハ郡ノ機關ハ郡會郡參事會郡官吏及郡吏員トス

郡會ハ郡内ノ各選舉區ニ於テ郡會議員ノ選舉權ヲ有スル者カ其ノ被選舉權ヲ有スル者ノ中ヨリ選舉シタル議員ヲ以テ組織ス選舉區ハ町村ノ區域ニ依ル郡會議員ノ選舉權ヲ有スル者ハ(一)郡内ノ町村公民ナルコト(二)町村會議員ノ選舉權ヲ有スルコト(三)其ノ郡内ニ於テ一年以來直接國稅年額三圓以上ヲ納ムルコトノ三條件ヲ要ス其ノ被選舉權ヲ有スル者ノ條件モ亦略之ト同一ナレトモ唯納稅資格ニ於テ直接國稅年額五圓以上ヲ納ムルコトヲ要スルノ差アルノミ舊制ニ於テ郡會議員ハ郡内ノ町村會議員及郡内ニ於テ町村稅ノ賦課ヲ受クル地價一萬圓以上ノ

土地ヲ所有スル大地主カ被選舉權ヲ有スル者ノ中ヨリ之ヲ選舉シタルモノナリ然ルニ新制ハ間接選舉ヲ廢シテ直接選舉ト爲シ且大地主ノ特權ヲ廢シタルコト改正ノ要旨ナリ郡會ノ職務權限ハ府縣會ト殆ト同一ナリ唯郡ハ郡稅ヲ賦課スルコトナキカ故ニ其ノ賦課徵收ノ方法ヲ議決スルノ權限ナシ

郡參事會ハ郡長及名譽職參事會員ヲ以テ組織ス郡官吏ハ郡長其ノ他ノ官吏ニシテ府縣知事ノ任命シタル郡吏員ハ有給吏員郡出納吏及委員トス郡參事會郡官吏及郡吏員ノ職權ハ大抵府縣參事會府縣官吏及府縣吏員ト同シ

### 三 市町村

市町村ハ最下級ノ地方自治團體ニシテ公法人タルノ資格ヲ有ス即チ法律命令ノ範圍内ニ於テ市町村一切ノ公務ヲ處理シ殊ニ條例及規則ヲ制定シ財產ヲ有シ契約ヲ結ヒ訴訟ヲ爲スコトヲ得條例トハ市町村ノ組織又ハ其ノ住民ノ權利義務ヲ規定スル法規ヲ謂ヒ規則トハ市町村ノ營造物(學校病院水道瓦斯ノ類)ノ組織及其ノ使用法ヲ規定スル法規ヲ謂フ規則ハ一般ニ亘リテ之ヲ制定スルコトヲ得レト



モ條例ハ法律ヲ以テ特ニ許サレタル場合ニ限り之ヲ制定スルコトヲ得ルモノト  
ス市町村ハ行政訴訟及民事訴訟ノ當事者トナルコトアリ民事訴訟ハ總テノ場合  
ニ之ヲ提起スルコトヲ得レトモ行政訴訟ハ境界ノ爭論其ノ他法律ヲ以テ特ニ許  
サレタル場合ニ限り之ヲ提起スルコトヲ得ルモノトス市町村カ施行スル自治行  
政ノ範圍ハ此ノ如ク廣汎ナリ是レ市町村ヲ稱シテ完全ナル自治團體ト爲ス所以  
ナリ然レトモ市町村ハ獨リ自治行政ヲ行フニ止マラス又法律命令ノ委任ニ依リ  
普通行政ヲ其ノ地域内ニ施行スルノ權限ヲ有スルモノナリ

市町村ヲ組織スル元素ハ土地及住民ノ二者トス土地ハ市町村カ自治行政ヲ行フ  
ノ範圍タリ市町村ノ境域ハ妄リニ之ヲ變更セサルヲ本則トス蓋シ市町村ハ地勢  
習俗等ニ本ツキ天然ニ成立發達シタルモノニシテ府縣郡ノ如ク人爲的ニ劃定シ  
タルモノニ非サレハナリ故ニ必要ノ場合ニ於テ市町村ノ境界ヲ變更シ又ハ其ノ  
邊置分合ヲ行フニハ關係市町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キテ府縣參事會之ヲ議  
決シ内務大臣ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス但市町村ノ資力貧弱ニシテ自治行政ヲ行  
フコト能ハス又ハ公益上ノ必要アルトキハ府縣參事會ハ關係者ノ異議ニ拘ハラ

ス市町村ノ合併ヲ行フコトヲ得ヘシ住民トハ市町村内ニ住居ヲ占ムル者ヲ云フ  
住居ヲ占ムル者ハ本籍寄留ヲ問ハス之ヲ住民トス何ヲカ住居ト云フヤ法律ニ一  
定ノ標準ヲ示サス但住居ト滞在トハ之ヲ區別セサルヘカラス又民法ノ住所トモ  
同シカラス何トナレハ民法ノ住所ハ各人生活ノ本據ニシテ一人一箇所ニ止マル  
モノナレトモ市町村制ノ住居ハ數市町村ニ之ヲ有スルコトヲ妨ケスシテ一人ニ  
シテ二箇以上ノ住居ヲ有スルコトヲ得レハナリ(民二一條市制町村制九五條)要ス  
ルニ住居ハ市町村内ニ在留シテ一定ノ營業ヲ爲シ又ハ土地家屋ヲ所有スル等ノ  
事實ヲ標準トシテ之ヲ定ムルノ外ナカルヘシ

住民ノ中特ニ公民ト稱スルモノアリ公民トハ法律上一定ノ資格ヲ具ヘ市町村ノ

公務ニ參與スルノ權利及義務ヲ有スル者ヲ云フ其ノ資格左ノ如シ  
(一)帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子タルコト、獨立ノ男子トハ滿二十五年  
以上ニシテ一戸ヲ構ヘ禁治産ノ宣告ヲ受ケサル者ヲ云フ  
(二)三年以來其ノ市町村ノ住民タルコト、但此ノ二年ノ制限ハ市町村會ノ議決ニ依

リテ特ニ之ヲ免除スルコトアリ以下皆同シ



(三)二年以來其ノ市町村ノ負擔ヲ分任スルコト

(四)二年以來其ノ市町村内ニ於テ地租ヲ納メ若クハ直接國稅(所得稅及營業稅)年額二圓以上ヲ納ムルコト

公民ハ市町村ノ選舉ニ參與スルノ權利アリ又其ノ名譽職トナルノ權利及義務アリ名譽職トハ無給ニシテ市町村ノ公務ニ任スルモノヲ云フ市町村會議員市町村長助役委員區長等はレナリ名譽職トナルハ公民ノ義務ナルカ故ニ正當ノ理由アルニ非サレハ之ヲ辭退スルコトヲ得ス若シ之ヲ辭退スルトキハ市町村會ノ議決ニ依リテ一定ノ年間公民權ヲ停止セラレ又ハ市町村稅ヲ增課セラル、コトアルナリ

市町村ノ機關ハ之ヲ大別シテ議事機關理事機關及監督機關ノ三ト爲ス

### (甲) 議事機關

市町村ノ議事機關ハ市町村會ナリ市町村會ハ市町村ノ公民ヨリ選舉セラレタル議員ヲ以テ組織ス唯其ノ選舉ニ關シテ市ハ三級選舉ノ方法ヲ取り町村ハ二級選

舉ノ方法ヲ取ルノ差アリ三級選舉トハ選舉人中直接市稅ノ納額最モ多キ者ヲ合セテ選舉人總員ノ納ムル總額ノ三分ノ一ニ當ルヘキ者ヲ一級トシ一級選舉人ノ外直接市稅ノ納額多キ者ヲ合セテ同シク選舉人總員ノ納ムル總額ノ三分ノ一ニ當ルヘキ者ヲ二級トシ爾餘ノ選舉人ヲ三級トス而シテ每級各別ニ同數ノ議員即チ議員全數ノ三分ノ一ヲ選舉ス其ノ被選人ハ同級内ノ者ニ限ラス他級ノ者ヲモ選舉スルコトヲ得二級選舉モ亦同一ノ方法ニ由ル選舉人ヲ等級ニ分割スルモノハ多額ノ納稅者即チ其ノ市町村ニ多ク利害ノ關係ヲ有スル者ヲシテ多量ノ選舉權ヲ有セシメ以テ少數ノ富民カ多數ノ細民ニ壓倒セラル、ノ弊ヲ防カントスルナリ

市町村會ノ職務左ノ如シ

(イ)議決、議決事項ノ主要ナルモノハ條例規則、歲計豫算、決算報告、市町村稅ノ賦課、市町村有財産ノ管理處分、市町村ニ係ル訴訟等ナリ議決事項ハ市制町村制中ニ概括的ニ列記セリ市町村會ノ權限ハ極メテ廣ク獨リ市町村一切ノ事務ニ參與議決スルノ權アルノミナラス又法律命令ノ委任ニ依リ普通行政ニ關スル事項



ヲモ議決スルノ權アルモノトス

(ロ)選舉、市町村會ハ市參事會員市町村吏員即チ市町村長助役收入役區長委員等ヲ選舉ス

(ハ)監査、市町村會ハ市町村ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ市町村長ニ對シテ事務報告ヲ求ムル等ノ方法ニ依リテ市町村ノ行政ヲ監査ス

(ニ)意見、市町村會ハ市町村ノ公益ニ關スル事件ニ付キ意見アルトキハ意見書ヲ監督官廳ニ差出シ又官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ陳述スルノ權利及義務ヲ有ス

(ホ)議決、市町村會ハ市町村住民及公民タル權利ノ有無選舉權及被選舉權ノ有無市町村會選舉ノ效力等ニ關スル訴願ニ對シテ第一審ノ裁決ヲ爲スノ權アリ

### 乙 理事機關

市町村ノ理事機關ハ市ニ在リテハ市參事會トシ町村ニ在リテハ町村長トス即チ市ノ理事機關ハ合議制ニシテ町村ノ理事機關ハ單獨制タリ市長ノ市參事會ニ於

ケルハ猶ホ郡長府縣知事ノ郡及府縣ノ參事會ニ於ケルカ如シ此ノ外助役收入役區長委員等皆理事機關ノ一部ヲ成ス者ナリ

市參事會及町村長ノ職務ハ市町村ヲ統轄シ其ノ行政事務ヲ擔任スルニ在リ其ノ擔任事務ノ概目ヲ學クレハ(一)市町村會ノ議事ヲ準備シ及其ノ議決ヲ執行スル事(二)市町村ノ設置ニ係ル營造物及其ノ所有財産ヲ管理スル事(三)市町村ノ歳入出豫算其ノ他市町村會ノ議決ニ依リテ定マリタル收入支出ヲ命シ會計及出納ヲ監視スル事(四)外部ニ對シテ市町村ヲ代表シ内部ニ對シテ市町村吏員及使丁ヲ監督スル事(五)市町村ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事等ナリ其ノ他法律命令又ハ上司ノ指令ニ依リ市參事會又ハ町村長ニ委任シタル一切ノ事務ヲ處理スルモノトス市參事會ノ一員タル市長及町村長ハ又國ノ吏員トシテ國及府縣郡ノ行政ヲ其ノ

市町村内ニ施行スルノ職務アリ其ノ職務左ノ如シ  
(イ)司法警察補助官タルノ職務及法律命令ニ依リテ其ノ管理ニ屬スル地方警察ノ事務即チ犯罪人ノ搜查逮捕及證據ノ蒐集ヲ爲シ惡疫ノ豫防風俗ノ取締ヲ爲ス等是レナリ但別ニ警察官署ノ設アリテ此等ノ事務ヲ行フ吏員アルトキハ此ノ



限ニ非ス

(ロ)浦役場ノ事務即チ主トシテ難破船救助ノ事務ヲ取扱フモノニシテ沿海地ノ市町村長ノミニ屬スルモノナリ

(ハ)國及府縣郡ノ行政ニシテ市町村ニ屬スル事務但別ニ吏員ノ設アルトキハ此ノ限ニ非ス其ノ條目甚タ多シ其ノ主要ナルモノヲ舉クレハ(一)身分登記簿及戶籍簿ヲ編製シ出生婚姻死亡養子縁組隱居相續轉住等凡ソ市町村人民ノ身分住所ニ關スル届出ヲ受理シ其ノ帳簿ニ登記スルコト(二)國稅府縣稅ヲ徵收シ之ヲ國府縣ニ納付スルコト(三)毎年徵兵適齡者ノ届出ヲ受クテ壯丁名簿ヲ製シ及徵兵ニ關スル届書願書ノ類ヲ執達スルコト(四)市町村立小學校ヲ管理シ校長教員ノ事務ヲ監督スルコト(五)道路橋梁堤防等ノ修築ヲ爲スコト(六)國會議員府縣會議員郡會議員ノ選舉事務ヲ取扱フコト(七)人民ヨリ各官廳ニ差出ス諸願書ニ戶籍ニ關スル奧書證印ヲ爲スコト等ナリ此ノ外土地收用及陸地測量標建設ニ關スル書類ヲ受理執達スルコト軍需品ノ徵發ヲ補助執行スルコト埋葬許可狀ヲ下附スルコト等一々枚舉スルニ暇アラス

市町村長カ國ノ吏員トシテ行フ職務ニ就キテハ市町村長ハ絶對的單獨官府ニシテ上級官府ノ命令ヲ受クルノ外又市町村會及市參事會ノ議決ヲ待ツコトナシ之ニ反シテ市町村長カ市町村ノ吏員トシテ行フ職務ニ就キテハ上級官府ノ命令ヲ受クルコトナク唯市町村會及市參事會ノ議決ヲ執行スルコトアルノミ但上級官府ノ監督ヲ受クヘキハ勿論ナリ之ニ依リテ見レハ國カ其ノ普通行政ヲ市町村ニ委任スル方法ニ二アルコトヲ知ルヘシ即チ一ハ市町村ノ議事機關タル市町村會ノ權限ニ委任スルモノニシテ一ハ市町村ノ理事機關タル市町村長ニ委任スルモノナリ市町村會ニ委任スルハ即チ市町村團體ニ委任スルモノナリト雖モ市町村長ニ委任スルハ市町村團體ニ委任スルモノニ非スシテ團體ノ機關ニ委任スルモノナリ而シテ市町村長ニ委任スル普通行政ノ範圍ハ甚タ廣多ニシテ市町村會ニ委任スル普通行政ノ範圍ハ頗ル狹少ナリ余輩カ首メニ市町村ハ自治行政ヲ行フト同時ニ普通行政ヲモ行フコトアリト云ヒタルハ即チ是ノ謂ナリ

### (丙) 監督機關



市町村ノ監督機關ハ市ト町村トニ依リテ異ナレリ

町村ノ行政ハ第一次ニ於テ郡長之ヲ監督シ第二次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第三次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス但法律ニ明文アル場合ニ於テハ郡長若クハ府縣知事ハ郡參事會若クハ府縣參事會ノ同意ヲ求メテ監督ヲ行フモノトス行政訴訟及行政訴訟モ亦監督ノ一方法ナリ町村吏員ノ處分ニ對シテ訴願若クハ訴訟ヲ爲サントスル者ハ國ノ普通行政ニ關シテハ先ツ郡長ニ訴願シ次ニ府縣知事ニ訴願シ終リニ内務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ス町村ノ自治行政ニ關シテハ先ツ郡參事會ニ訴願シ次ニ府縣參事會ニ訴願シ終リニ内務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルノ順序タリ

市ノ行政ハ第一次ニ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ内務大臣之ヲ監督ス但法律ニ明文アル場合ニ於テハ府縣知事ハ府縣參事會ノ同意ヲ求メテ監督ヲ行フヘキモノトス市吏員ノ處分ニ對シテ訴願若クハ訴訟ヲ爲サントスル者ハ國ノ普通行政ニ關シテハ府縣知事ニ訴願シ次ニ内務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スヘ

ク市ノ自治行政ニ關シテハ府縣參事會ニ訴願シ次ニ内務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スヘキモノトス

以上ニ於テ府縣都市町村ノ制度ノ大要ヲ説キ了レリ抑モ統治者カ其ノ政務ヲ行フニ當リテ全國ヲ數多ノ地域ニ區劃シ之カ首長ヲ建テ、國政ヲ其ノ地域内ニ施行セシムルハ實際ノ便宜上洵ニ已ムヘカラサル所ナリ然レトモ之ヲ統一スルモノナキトキハ散漫分崩ノ憂ヲ生スヘキカ故ニ其ノ地域ニ等級ヲ設ケ小區ヘ之ヲ中區ニ綜ヘ中區ヘ之ヲ大區ニ綜ヘ大區ヘ之ヲ中央ニ會シ以テ上下通達ノ溝渠ト爲シテ政務ノ施行ヲシテ整然トシテ其ノ揆ヲ一ニセシム之ヲ中央集權ノ制ト謂フ然レトモ國家政務ノ繁雜無數ナル統治者悉ク之ニ任スルコト困難ナルカ故ニ統治者ハ獨リ其ノ大綱ヲ把握シ以テ成ルヘク其ノ政務ヲ簡單ナラシムルノ必要アリ是ニ於テ各地方ニ自治ノ權ヲ分與シ其ノ地方公共ノ政務ニシテ國家ノ盛衰興敗ニ大利害ノ關係ヲ有セサルモノハ各地方ヲシテ任意ニ之ヲ施行スルコトヲ得シム之ヲ地方分權ノ制ト謂フ此ノ集權及分權ノ二制ヲ適度ニ折衷兼用シテ以テ國家ノ秩序ヲ保持シ民生ノ福利ヲ増進センコトヲ期ス是レ正ニ今日地方制度



ノ概觀ナリ我カ地方制度ノ如キモ亦固ヨリ此ノ主旨ニ本ツクモノナリ而シテ我カ地方制度ハ悉ク歐洲諸邦ノ制度ヲ採擇移植シタルモノニシテ我カ邦古來ノ沿革トハ全ク相交涉セサルモノナリ然レトモ府縣郡ト市町村トハ頗ル其ノ由來性質ヲ異ニスルモノアリテ市町村ハ自然的ノ結合ニシテ府縣郡ハ人爲的ノ團體タリ人爲的ノモノハ諸國相同シキコトヲ得スト雖モ自然的ノモノハ諸國往々ニシテ相合致スルコトアリ故ニ府縣制以下悉ク西洋ノ制度ニ模倣シタルモノナリト雖モ市町村制ノ定ムル所ノ如キハ必スシテ悉ク我カ邦ニ新規ナルモノニ非スシテ往々舊來ノ習俗ト偶合スルモノアリ乃チ市町村自治制ノ如キ德川氏ノ時代ニ最モ完全ニ行ハレタルモノニシテ或ハ今日ノ制度ニ愈ルモノアリシカ如シ何故ニ市町村ハ自然的ノ結合ナリト謂フヤ蓋シ人類ハ孤獨ノ生活ヲ營ムコト能ハス必ス群ヲ成シテ生息スルモノナリ群ノ最モ小ナルモノヲ家ト爲ス然レトモ家ハ夫婦親子數人ノ集合ニ止マリ未タ以テ人類ノ肉體上及精神上凡百ノ需用ヲ満足セシムルコト能ハス是ニ於テ一地方ノ數家相連合シ有無相資シ長短相補ヒ以テ其ノ安寧ヲ保持シ其ノ生活ヲ上進セント欲スルハ必至ノ勢ニシテ市町村ノ由リ

テ起ル所ナリ其ノ田野曠散ノ地ニ在ル者ヲ村ト爲シ康衢稠密ノ地ニ在ル者ヲ町ト爲シ市ト爲ス多少人爲ヲ以テ裁節スルモノナキニ非スト雖モ然レトモ要スルニ皆自然ニ出ツ故ニ曰ク市町村ハ自然的ノ結合ナリト若シ夫レ府縣郡ニ至リテハ然ラス統治者カ市町村ヲ統治スルニ當リ其ノ數極メテ多クシテ一々之ニ應接スルノ暇アラサルカ故ニ乃チ郡ヲ以テ町村ヲ綜ヘ府縣ヲ以テ市郡ヲ綜ヘ漸次層累シテ中央ニ歸一セシメ以テ施政ノ便ヲ圖リタルモノナリ故ニ府縣郡ハ制度ノ創設スル所ニシテ人爲的ノ團體タリ余輩常ニ思ヘラク邦國ノ隆昌ト民人ノ康福トハ偏ニ人生ノ自然ニ本ツキタル市町村自治制ノ完否如何ニ存スト今夫レ中央政府ハ巍然トシテ社會ノ中心ニ兀立シテ人ヲシテ望ミテ之ヲ畏レシムト雖モ其ノ行フ所ノ政務ハ市町村ノ吏員カ矮陋ナル役場ノ中ニ於テ行フモノト差異アルニ非ス唯中央政府ハ全國ノ政務ヲ總括スル所ナルカ故ニ政務ノ分量極メテ多シト雖モ其ノ種類ニ至リテハ市町村ノ執ル所ト大抵相同シキナリ國務大臣カ各數百ノ吏人ヲ率非致々偲々トシテ尙ホ及ハサルヲ恐ルル所ノモノハ市町村吏員ニ三人ノ紳々トシテ辯スル所ナリ且中央政府ノ職司ハ主トシテ法律命令ヲ發布シ



テ一般ニ遵由セシムルニ在リテ其ノ餘ハ大抵文移往復等尋常茶飯ノ事ニ過キス  
シテ民生ノ利害ニ直接ノ影響ヲ與フルモノニ非ス之ニ反シテ市町村ノ任務ハ直  
接ニ人民ニ對シテ法律命令ヲ執行スルニ止マラス警察衛生ヨリ教育實業ニ至ル  
マテ凡ソ以テ人民ノ安寧ヲ保持シ福利ヲ増進スヘキモノ悉ク經營セサルヘカラ  
サルトキハ其ノ施政ノ得失ハ民生ノ休戚ニ關スルコト極メテ大ナルモノアルナ  
リ苟モ市町村ノ行政ニシテ發達完成セサル限リハ中央政府ノ政務ハ如何ニ其ノ  
規模ヲ擴張シ其ノ外觀ヲ裝飾ストモ人民ノ生活及文化ニ對シテ毫釐ノ裨益ヲモ  
與フルコトナカルヘシ聞ク瑞西ノ町村ニハ町村有財産ノ收入ヲ以テ十分ニ町村  
ノ公費ヲ支辨シ學校病院水道瓦斯等凡ソ以テ住民ノ物質的及精神的ノ需用ヲ滿  
足セシムルノ具一トシテ缺クルコトナシ加フルニ毎戶家族ノ員數ニ應シテ土地  
ヲ分與シ耕耨自ラ給セシメ寡婦孤兒癡疾者等ニシテ力食ニ堪ヘサルモノハ別ニ  
教育生養ノ法ヲ立テ、聊賴スル所アラシム故ニ其ノ民熙々皞々トシテ擊壤鼓腹  
ノ樂ヲ享ク又人間不幸ノ事アルコトヲ知ラスト嗚呼此ノ如クニシテ始メテ人類  
カ國家ヲ成スノ志ニ副フト謂フヘシ故ニ余輩ノ意ニ謂ヘラク中央政府ノ政務ハ

出來得ル限り之ヲ縮小シ唯軍備交通等市町村ノ力自ラ辨スル能ハサルモノニシ  
テ必要欠クヘカラサルモノ、ミヲ其ノ任務トシ其ノ他ハ一切市町村ノ自營ニ放  
任シ中央政府ニ費ス所ノ莫大ノ費用ヲ擧クテ之ヲ市町村ニ分與セハ我カ市町村  
ヲシテ悉ク瑞西ノ町村ノ如クナラシメンコトハ決シテ困難ノ業ニ非サルナリト  
余輩ハ姑ク之ヲ名ツケテ國本培養ノ主義ト謂フ敢テ社會主義ト言ハス誠ニ能ク  
此ノ主義ヲ行ハ、今日自由制度ノ通弊タル貧富ノ懸隔及社會ノ軋轢ヲ豫防スル  
コトヲ得ヘキハ勿論邦國ノ隆昌民人ノ康福期セスシテ自ラ到ルモノアラン經世  
ニ志アル者安ソ熱念セサルヘケンヤ

### 第三 裁判所

裁判所ハ天皇ノ名ニ於テ法律ニ依リテ司法權ヲ行フノ官府ナリ(憲五七條)天皇ノ  
名ニ於テト云フハ天皇ニ代リテト云フノ義ニシテ司法權ノ天皇ニ淵源スルコト  
ヲ明ニスルモノナリ而シテ裁判所ハ必ス法律ニ依リテ裁判ヲ行フヘキモノナリ  
法律ハ即チ帝國議會ノ協賛ヲ經タル天皇ノ命令ナリ或ハ曰ク裁判所ハ獨リ法律  
ニ依リテ裁判ヲ下スノミナラス又命令慣習若クハ條理ニ依リテ裁判ヲ下スコト



アリ故ニ此ニ法律ニ依リテト云フハ裁判ヲ行フニハ必ス法律ノ定メタル訴訟手續ニ依ルヘシト云フノ意ニシテ裁判ハ悉ク法律ヲ準則トシテ之ヲ下スヘシト云フノ義ニ非サルナリト余輩曰ク然ラス法律ニ依リテ司法權ヲ行フト云フハ法律ヲ準則トシテ裁判ヲ下スヘシト云フノ義ナリ勿論裁判所ハ命令慣習若クハ條理ニ依リテ裁判ヲ下スコトアリト雖モ是レハ法律ニ於テ命令慣習若クハ條理ニ依リテ裁判ヲ下スヘキコトヲ命スルカ故ニ然ルモノニシテ之ニ依リテ裁判ヲ下スヘ即チ法律ニ依リテ司法權ヲ行フモノナリ

裁判所ヲ大別シテ通常裁判所及特別裁判所ノ二トナス通常裁判所トハ區裁判所、地方裁判所、控訴院及大審院ヲ謂ヒ特別裁判所トハ通常裁判所ニ非サル裁判所ヲ總稱ス若シ行政裁判所ヲ以テ司法機關ノ中ニ入ル、トキハ是レ亦特別裁判所タルヘシ又若シ商工裁判所農事裁判所ヲ設置スルコトアラハ是レ固ヨリ特別裁判所ナリ現行法ニ於テ特別裁判所ト稱スヘキモノハ陸海軍軍法會議ナリ其ノ他特許審判官船舶司檢官等モ亦特別裁判所ト稱スルコトヲ得ヘシト雖モ是レ寧ロ行政裁判所ニ對スル特別裁判所ナリ

通常裁判所ニ於テ裁判スル訴訟ヲ別チテ刑事及民事ノ二種トス刑事訴訟トハ法律ニ違反シタル者ヲ裁判スルモノニシテ刑法其ノ他諸罰則ノ規定ヲ標準トシテ之ヲ裁判ス刑事訴訟ヲ裁判スル手續ヲ定メタルモノ即チ刑事訴訟法ナリ民事訴訟トハ財産上及親族上ニ關スル一個人相互ノ爭訟ヲ裁判スルモノニシテ重ニ民法商法ノ規定ヲ標準トシテ之ヲ裁判ス民事訴訟ヲ裁判スル手續ヲ定メタルモノ即チ民事訴訟法ナリ

凡ソ裁判ハ三段ノ裁判ヲ經テ確定終了ス是レ人民ノ權利ヲ重シ誤謬ノ裁判ナカラシムルト裁判ノ統一ヲ圖ルトノ二個ノ主旨ニ出テタルモノナリ而シテ第一段ノ裁判ヲ爲スモノヲ第一審又ハ始審裁判所ト稱シ第二段ノ裁判ヲ爲スモノヲ第二審又ハ控訴裁判所ト稱シ第三段ノ裁判ヲ爲スモノヲ第三審又ハ終審又ハ上告裁判所ト稱ス訴訟カ區裁判所ニ始マリタルモノハ地方裁判所ヲ第二審裁判所トナシ控訴院ヲ終審裁判所トナス訴訟カ地方裁判所ニ始マリタルモノハ控訴院ヲ第二審裁判所トナシ大審院ヲ終審裁判所トナス第二審ト終審トノ異ナル所換言スレハ控訴ト上告トノ異ナル所ハ控訴ニ在リテハ第一審ノ裁判ヲ新タニ覆審シ



テ裁判ヲ下シ上告ニ在リテハ唯第二審ノ裁判カ法律ノ適用ヲ誤リタルヤ否ヤニ就キテノミ裁判ヲ下スニ在リ

通常裁判所ヲ更ニ別チテ單獨裁判所及合議裁判所ノ二ト爲ス單獨裁判所トハ一人ノ判事ニテ裁判ヲ行フモノヲ謂ヒ合議裁判所トハ三人以上ノ判事ニテ裁判ヲ行フモノヲ謂フ區裁判所ハ單獨裁判所ニシテ地方裁判所以上ハ合議裁判所ナリ即チ區裁判所ハ一人ノ判事裁判ヲ行ヒ地方裁判所ハ三人、控訴院ハ五人、大審院ハ七人ノ判事列席合議シテ裁判ヲ行フ蓋シ區裁判所ハ其ノ訴訟事件輕小ニシテ且裁判ノ敏速ナランコトヲ欲スルカ故ニ單獨制トシ地方裁判所以上ハ事件稍重大ニシテ縝密ノ思慮ヲ要スルカ故ニ合議制トシタルモノナリ

裁判所ノ管轄區域ハ法律ヲ以テ之ヲ一定セリ而シテ區裁判所ハ之ヲ地方裁判所ニ綜ヘ地方裁判所ハ之ヲ控訴院ニ綜ヘ控訴院ハ之ヲ大審院ニ綜フ大審院ハ最高等ノ裁判所ニシテ全國ヲ管轄ス故ニ大審院ハ全國ニ唯一箇所アルノミ控訴院七、地方裁判所四十九、區裁判所三百一トス而シテ地方裁判所區裁判所ハ支部若クハ出張所ヲ置キテ管内ノ事務ヲ分掌セシム但臺灣法院ヲ除ク

左ニ各管轄所ノ管轄事項ヲ略述スヘシ

## 一、區裁判所

區裁判所ハ民事訴訟ニ就キテ左ノ事項ヲ管轄ス

一、百圓ヲ超過セザル金額又ハ價額百圓ヲ超過セザル物ニ關ル訴訟

二、價額ニ拘ハラズ左ノ訴訟

(イ)建物ノ受取明渡使用占據若クハ修繕ニ關ル訴訟又ハ賃貸人カ賃借人ノ家屋若クハ所持品ヲ差押ヘタルニ因リテ起リタル訴訟

(ロ)不動産ノ經界ノミニ關ル訴訟

(ハ)占有ノミニ關ル訴訟民一九七條乃至二〇二條

(ニ)雇主ト雇人トノ間ニ雇期限一年以下ノ契約ニ關リ起リタル訴訟

(ホ)賄料又ハ宿料又ハ旅人若クハ其ノ手荷物ノ運送料又ハ保護ノタメニ預ケタル物品ニ關シテ旅人ト旅店若クハ飲食店ノ主人トノ間ニ又ハ旅人ト運送人トノ間ニ起リタル訴訟



盟裁判所ハ刑事訴訟ニ就キテ左ノ事項ヲ管轄ス

一、違警罪

二、五十圓以下ノ罰金ヲ附加シ若クハ附加セサル二月以下ノ禁錮又ハ單ニ百圓以下ノ罰金ニ該ル輕罪

三、皇室ニ對スル罪ヲ除キ其ノ他ノ輕罪ニシテ二百圓以下ノ罰金ヲ附加シ若クハ附加セサル二年以下ノ禁錮又ハ單ニ三百圓以下ノ罰金ニ該リ其ノ情前項ニ揭ケタル刑ヨリ更ニ重キ刑ニ處スルコトヲ要セスト認メテ地方裁判所若クハ其ノ支部ヨリ區裁判所ニ移付シタルモノ

區裁判所ハ右ニ掲ケタル訴訟事件ノ外未成年者瘋癲者白痴者失踪者及禁治産者ノ後見人若クハ管財人ヲ監督シ及各般ノ登記事務其ノ他法律ノ定メタル事務ヲ取扱フノ權限ヲ有ス之ヲ總稱シテ非訟事件ト謂フ

## 二、地方裁判所

地方裁判所ニハ一若クハ二以上ノ民事部及刑事部ヲ置キ民事訴訟ハ民事部ニ於

テ之ヲ裁判シ刑事訴訟ハ刑事部ニ於テ之ヲ裁判ス控訴院大審院皆同シ

地方裁判所ハ民事訴訟ヲ就キテ左ノ事項ヲ管轄ス

一、區裁判及控訴院ノ權限ニ屬スルモノヲ除キ其ノ他一切ノ請求

故ニ特ニ輕微ノ事件トシテ區裁判所ノ權限ニ屬セシメ若クハ重要ノ事件トシテ特ニ控訴院ノ權限ニ屬セシメタルモノヲ除キ其ノ他一切ノ事件ハ皆地方裁判所ニ於テ之ヲ管轄ス是レ地方裁判所ヲ以テ裁判所ノ本位ト爲ス所以ナリ

二、區裁判所ノ判決ニ對スル控訴

三、區裁判所ノ決定及命令ニ對スル抗告

判決決定及命令ノ三者ヲ總稱シテ裁判ト謂フ判決ニ對シテハ控訴及上告アリ決定及命令ニ對シテハ抗告アリ共ニ上級裁判所ニ不服ヲ申立ンルノ方法タリ故ニ控訴上告及抗告ノ三者ヲ總稱シテ上訴ト謂フ而シテ判決ハ訴訟ノ目的タル權利義務ニ關スル裁判ニシテ決定及命令ハ主トシテ訴訟手續及非訟事件ニ關スル裁判ナルコト是レ其ノ相異ナル所ナリ

地方裁判所ハ刑事訴訟ニ就キテ左ノ事項ヲ管轄ス



- 一、區裁判所ノ權限並ニ大審院ノ特別權限ニ屬セサル刑事訴訟
- 二、區裁判所ノ判決ニ對スル控訴
- 三、區裁判所ノ決定及命令ニ對スル抗告

### 三、控訴院

控訴院ハ左ノ事項ヲ管轄ス

- 一、地方裁判所ノ第一審判決ニ對スル控訴
  - 二、地方裁判所ノ第二審判決ニ對スル上告
  - 三、地方裁判所ノ決定及命令ニ對スル抗告
- 東京控訴院ハ特ニ皇族ニ對スル民事訴訟ニ就キテ第一審及第二審ノ裁判權ヲ有ス

### 四、大審院

大審院ハ左ノ事項ヲ管轄ス

- 一、控訴院ノ第二審判決ニ對スル上告
  - 二、控訴院ノ決定及命令ニ對スル抗告
- 皇室ニ對スル重罪及國事ニ關スル重罪並ニ皇族ノ犯シタル罪ノ豫審及裁判ハ大審院ニ於テ始終之ヲ管轄ス是レ其ノ事件ノ重大ナルカ爲メ特ニ之ヲ大審院ノ管轄ニ屬セシメタルナリ之ヲ大審院ノ特別權限ト謂フ
- 各裁判所ハ判事檢事書記執達吏廷丁ノ諸職員ヲ以テ組織ス判事ハ法律上一定ノ資格アル者ニ非サレハ之ニ任セラル、コトヲ得ス又判事ハ勢利ノ外ニ立チテ公平ノ裁判ヲ下スヘキモノナルカ故ニ之ヲ終身官トシ刑法ノ宣告又ハ懲戒處分ニ由ルニ非サレハ其ノ職ヲ免セラル、コトナシ檢事ハ國家ヲ代表シ公益ノ保護者トシテ刑事訴訟ノ原告官タルモノナリ民事訴訟ニ就キテモ公益ノ爲メニ特ニ意見ヲ述フルコトアリ檢事モ亦一定ノ資格ヲ有シ且均シク終身官タリ書記ハ裁判所ノ書類ヲ掌リ執達吏ハ判決ノ執行書類ノ送達ニ任ス即チ執行送達ノ吏ト云フノ義ナリ而シテ廷丁ハ法廷ノ守衛タリ共ニ裁判所ノ組織ニ缺クヘカス此ノ外辯護士公證人破産管財人等ハ裁判所ノ職員ニ非スト雖モ亦實ニ司法事務ニ關與ス



ルモノナリ凡ソ訴訟ヲ爲ス者本人自ラ之ヲ爲スニ非サレハ必ス辯護士ニ依頼セサルヘカラス公證人ハ公正證書ヲ作ルヲ以テ職務トス而シテ公正證書ハ裁判上特別ノ效力ヲ有スルモノナリ破産管財人ハ破産財團ノ清算事務ヲ掌ルカ爲メ裁判所ニ屬スル者ニシテ通常辯護士ノ任スル所ナリ  
裁判ノ對審判決ハ之ヲ公開シ衆人ノ傍聽ヲ許スヲ以テ本則トス是レ裁判ノ公明正大ヲ保ツ所以ナリ然レトモ其ノ事件ノ治安ヲ妨害シ若クハ風俗ヲ壞亂スルノ虞アルトキハ特ニ之ヲ閉鎖スルコトヲ得ヘシ

特別裁判所タル陸海軍々々法會議ハ陸海軍々々人軍屬ノ犯罪ヲ裁判スル所タリ故ニ軍人軍屬ノ犯罪ハ軍事犯罪タルト普通犯罪タルトヲ別タス陸海軍刑法又ハ普通刑法ニ依リテ之ヲ處斷ス軍法會議ノ構成及權限ハ陸海軍治罪法ノ定ムル所ナリ通常裁判所及特別裁判所ノ外ニ權限裁判所ト稱スルモノアリ是レ通常裁判所ト特別裁判所トノ間ニ裁判管轄ニ就キテ權限ノ爭論ヲ生シタルトキニ之ヲ裁定スルコトヲ掌ルモノナリ然レトモ此ノ裁判所ハ今日未ダ設立セラレス姑ク樞密院ニ於テ其ノ事ヲ兼掌セリ

## 第二章 公法

公法ハ公權ヲ規定スル法令ノ全體ナリ故ニ公法ハ公權ノ濫依スル所ナリ通常憲法行政法刑法及刑事訴訟法ノ四者ヲ以テ公法中ノ著明ナルモノトス即チ憲法ハ統治權ノ本體及作用ヲ規定スルモノナリ行政法ハ統治權ノ作用ノ一タル行政權ニ就キテ規定スルモノナリ刑法ハ同シク統治權ノ作用ノ一タル刑罰權ニ就キテ規定スルモノナリ而シテ刑事訴訟法ハ刑罰權ノ運用ヲ規定スルモノナリ左ニ此等ノ諸法律ノ意義沿革編制等ヲ略述スヘシ

### 第一節 憲法

憲法ト云フ語ニ廣狹ノ二義アリテ廣ク之ヲ解スルトキハ憲法トハ統治權ノ本體及作用ニ關スル成文若クハ不文ノ法律ノ全體ヲ謂ヒ狹ク之ヲ解スルトキハ憲法トハ統治權ノ行使ヲ限定シ國民ノ權利ヲ保障スル成文ノ法律ヲ謂フ而シテ通常憲法ト云フハ此ノ狹義ノ意義ニ從フモノナルコト前ニ述フル所ナリ故ニ余輩モ



亦此ノ狹義ノ意義ニ從ハント欲ス然レトモ上ニ述フル所ノ廣狹ノ二義ハ共ニ實質上ヨリ憲法ノ定義ヲ下シタルモノニシテ若シ形式上ヨリ其ノ定義ヲ下ストキハ憲法トハ憲法ノ名稱ヲ有スル法律其ノ物ヲ謂フト解スヘキナリ

憲法ノ意義ニ關シテ尙ホ數多ノ解説アリ其ノ主要ナルモノヲ舉クレハ或ハ曰ク憲法ハ國家ノ組織其ノ職分及國家ノ機關タル公權ノ分配ヲ定ムルモノナリト或ハ曰ク憲法ハ國民ノ權利ヲ保障シ國權ノ組織及其ノ相互ノ關係ヲ定ムルモノナリト此ノ二說ハ略同一ニシテ憲法ト云フ語ヲ國法若クハ公法等ノ語ト同義ニ解スルモノナリ唯其ノ國家ノ組織若クハ國權ノ組織ト云フハ果シテ如何ナル意義ナルカ思フニ國家ヲ以テ統治者ト同義ナリトシ憲法ハ統治權ノ所在若クハ其ノ機關ノ構成ヲ定ムルモノナリトノ意ナルヘシ果シテ然ラハ此ノ定義モ亦憲法ハ統治權ノ本體作用及其ノ機關ヲ定ムルモノナリトノ意義ニ歸着スヘクシテ敢テ誤レリト謂フコトヲ得サレトモ唯其ノ用語ノ意義確定セザルカ爲メニ稍明瞭ヲ欲クノ嫌アルノミ或ハ曰ク憲法ハ國民ニ參政ノ權利ヲ與フル國家構成法ナリト其ノ所謂參政ノ權利ト云フハ國民ヲシテ法律制定ノ專業ニ參與セシムルト云フ

ノ意ナルカ將タ國民ヲシテ文武官其ノ他ノ公職ニ就キテ國政ノ一部ヲ施行セシムルト云フノ義ナルカ國民カ文武官其ノ他ノ公職ニ就クコトハ專ラ憲法ノ規定スル所ニ非スシテ寧ロ他ノ法律中ニ規定スルモノナリ故ニ此ニ參政ノ權利ト云フハ國民ヲシテ法律制定ノ專業ニ參與セシムルノ意ナルコト明クシ成程憲法中ニ此ノ意義ニ於ケル參政ノ權利ヲ規定スルコトハ眞實ニシテ且此ノ權利ヲ規定スルコトカ確カニ憲法ノ特質ノ一タルニ相違ナシ然レトモ憲法ハ決シテ獨リ此ノ事ノミヲ規定スルモノニ非スシテ其ノ他幾多ノ事項ヲ規定スルトキハ此ノ說ハ唯憲法ノ一斑ヲ認メテ其ノ全豹ヲ見サルノ缺點アルモノナリ或ハ曰ク憲法ハ國家ノ根本大法ニシテ法律制定ノ準則ヲ定ムルモノナリト其ノ國家ノ根本大法ト云フハ單ニ形容誇張ノ言ニ過キスシテ論スルニ足ルモノナシ其ノ憲法ハ法律制定ノ準則ヲ定ムルモノナリト云フハ敢テ當ラサルニ非スト雖モ此ノ說モ亦前說ト同シク憲法ノ效力ノ一端ヲ認メテ其ノ他ヲ見サルノ失アルモノナリ此ノ如ク憲法ノ意義ニ關シテハ數多ノ解説アリト雖モ皆論シテ詳ナラス語リテ精ナラサルノ嫌アリ而シテ余輩ハ憲法ノ第一義ハ統治權ノ制限ニ在ルコトヲ信スルカ



故ニ前ニ舉ケタル憲法ハ統治權ノ行使ヲ制限シ國民ノ權利ヲ保障スル成文ノ法律ナリトノ定義ヲ以テ最モ穩當ナリト信スルモノナリ

憲法ハ今日ノ狀況ニ於テ殆ト歐米文明國ノ特有物ナルカ如キノ觀アリテ其ノ他ノ邦國ニ在リテハ未タ之ヲ制定セサルモノ多シ亞細亞洲ニ於テ憲法ヲ有スルモノハ獨リ我カ大日本帝國アルノミ此等ノ文明諸國ニ於ケル憲法ノ沿革及其ノ綱要ヲ叙述センコトハ固ヨリ法學通論ノ任ニ非ス然レトモ今略之ヲ言ハンニ歐洲ニ於テ憲法ノ淵源スル所ハ頗ル久遠ナリト雖モ其ノ大ニ發達セシハ僅ニ百年以來ノ事ナリ獨リ英國ハ爾餘ノ邦國ニ先タツコト四百年ニシテ既ニ憲法ヲ有シ實ニ憲法ノ祖國タリ近世歐洲諸國カ憲法ヲ制定セシハ皆範ヲ英國ニ取リシナリ然レトモ英國ノ憲法モ其ノ濫觴ヲ討ヌルトキハ索遜人カ英國ニ移住スルニ當リテ其ノ自由平等ノ精神ト選舉代議ノ制度トヲ此ニ移植シ爾後益發達セシモノナリモンテスキューカ今日ノ代議制度ハ日耳曼ノ森林中ヨリ發出セルモノナリト言ヒタルハ洵ニ當レリト謂フヘシ然レトモ更ニ近時歴史家ノ考究スル所ニ依レハ歐洲ニ於テ國會制度ノ最モ夙ク發生セシハ瑞典那威ニシテ此ニハ九世紀十世紀

ノ頃ヨリ既ニ一般國民ヨリ成立セル議會アリテ國王ノ選舉租稅ノ議定終審ノ裁判其ノ他重要ナル國事ヲ議決セリ此ノ風習カ日耳曼ニ入り更ニ轉シテ英國ニ入りタルモノナリト云ヘリ其ノ眞否俄ニ斷シ難シト雖モ果シテ然ランニハ今日ノ代議制度ハ歐洲極北ノ瑞那海濱ヨリ發出セシモノナリト謂ハサルヘカラサルナリ英國ノ憲法ハ成文及不文ノ諸法規ヨリ成リ雜駁混沌ニシテ其ノ全體ヲ知ルコト頗ル難シ其ノ主要ナルモノハ條約普通法憲章及法律ノ四種ナリトス此ニ條約ト云フハ普通ノ意義ト大ニ相異ナリ英國ト蘇格蘭及愛蘭トノ合併條約ヲ指シテ謂フ普通法ハ大抵不文ノ規則ニシテ憲法中ノ重要ナル部分タリ故ニ憲法上ノ一疑議ヲ決定セントスルトキハ數百年來ノ舊慣故格ヲ援引證明シテ而ル後ニ始メテ僅ニ之ヲ決定スルコトヲ得ルナリ憲章ハ君民ノ契約ニシテ其ノ著明ナルモノハ一千二百十五年ノ大憲章<sup>マグナカルタ</sup>一千六百八十八年ノ人權法規及一千七百一年ノ王位條例ト爲ス是レ實ニ英國憲法中成文ノ部分ヲ成スモノナリ今一々之ヲ詳説スルノ煩ヲ避クヘシト雖モ要スルニ王權ヲ制限シ民權ヲ擴張スルヲ以テ其ノ主眼ト爲スモノナリ其ノ人權法規ノ如キ一般的純理的ニ人類ノ權利ヲ宣言スルニ非ス



シテ唯英國人民ニ特別ナル因襲的權利ヲ維持スルニ過キス是レ佛國ノ人權宣言ト大ニ趣ヲ異ニスル所ナリ法律ハ即チ國會ノ制定スル所ニシテ是レモ亦憲法ノ一淵源ヲ成スモノナリ蓋シ英國憲法ハ所謂軟質憲法ニシテ之ヲ變更廢止スルニ特別ノ方式ニ依ルコトヲ要セス普通ノ法律ト同一ノ方式ニ依リテ之ヲ變廢スルコトヲ得ルヲ以テナリ此ノ如ク英國憲法ハ種々ノ法規ヨリ成リテ曖昧不明ノ觀ヲ呈スト雖モ是レハ英國人固有ノ保守的精神ヨリシテ劃一明瞭ニ法規ヲ設爲シテ反リテ實際ノ便宜ニ牴牾スルノ弊ヲ避ケンカ爲メ故ラニ此ノ如キ狀態ヲ保持シ以テ能ク社會ノ進運ニ伴フテ運用自在ノ餘地ヲ止ムルニ因レリ是レ洵ニ英國憲法ノ特色ニシテ又其ノ妙所タリ英國ノ諺ニ之アリ曰ク君主ト國會ト協同スルトキハ天下ト海トヲシテ相拍タシムルノ外何事ヲモ爲スコトヲ得ヘシト是レハ主權ノ君主ト國會トニ共屬スルコトヲ謂フナリ故ニ英國ハ名ハ君主國ナリト雖モ其ノ實ハ君民共和ノ國ナリ國會ハ上下兩院ヨリ成リ上院ハ世襲及終身ノ貴族議員ヲ以テ組織シ議員ハ悉ク人民ノ選舉ヨリ出テ君主ノ勅命ニ由ルモノナシ下院ハ一定ノ財產資格ヲ有シ人民ヨリ公選セラレタル議員ヲ以テ組織ス英國ハ未タ

歐洲大陸諸國ニ於ケルカ如ク普通選舉ノ制度ヲ認ムルニ至ラサルナリ佛國ノ憲法ハ一千七百八十九年ノ大革命以後始メテ制定セラレタルモノナリ但其ノ以前ニ於テモ全ク國會ノ制度ナカリシニ非ス史ヲ案スルニ一千三百三年ヒリツアル、ベルノ治世ニ貴族僧侶及市民ヨリ成立セル國會アリシコトヲ記セリ然レトモ其ノ權限ハ極メテ微弱ニシテ僅ニ國費ノ負擔ニ同意ヲ與フルニ過キサリキ其ノ後フランソア一世ニ至ルニ及ヒテ此ノ國會ヲ廢シ代フルニ君主ノ任意ニ勅命セル議員ヲ以テ構成スル名族會議ヲ以テセリ是ニ於テ佛國ノ王權ハ全ク絶對無限ノモノトナレリルイ十六世國帑ノ缺乏ヲ補足センカ爲メニ當初名族會議ヲ召集シ次テ從前ノ國會ヲ召集スルニ及ヒテ偶革命ノ動亂起リ此ノ國會カ變シテ立憲議會トナリ人權宣言ヲ發シ憲法ヲ制定セリ人權宣言ハ一千七百八十九年八月二十六日ヲ以テ發布セラル僅々十七條ノ成典ナリト雖モ其ノ包藏スル所ノ主義極メテ雄大ニシテ實ニ第十九世紀新制度ノ基礎トナリ一世ノ人心ヲ震盪シタルモノナリ其ノ要旨ハ自由平等ノ精神ヲ發揮シ國民主權ヲ確定シ政權ノ分配官吏ノ責任、賦稅ノ公平、財產ノ安全等ヲ保明スルニ在リ唯其ノ規定スル所普遍的



純理的ニシテ毫モ沿革慣習等ヲ顧慮セザリシカ爲メニ頗ル後世ノ物議ヲ招キタリ越テ一千八百九十一年九月十四日憲法ノ制定發布アリ此ノ憲法ハ佛國最首ノ憲法ニシテ即チ立憲議會カ人權宣言ノ主旨ニ本ツキテ制定シタルモノナリ其ノ篇首ニ人權宣言ヲ掲ケ且曰ク今ヨリノ後貴族ナク世襲ナク階級ナク高等法官<sup>パルスマン</sup>ナク家長ノ裁判ナシ今ヨリノ後國民ノ如何ナル部分ニ對シテモ如何ナル個人ニ對シテモ總テノ特權ナク有ラユル佛國人ニ共通ナル權利ニ對スル例外ナシ今ヨリノ後技術職工ノ團體ナク審判官ナシト其ノ改革ノ激甚ナルコトヲ想見スヘシ其ノ後一千七百九十三年王政ヲ廢シテ共和政治ヲ樹立シ一千七百九十五年一局議院制ヲ改メテ二局議院制ト爲シ一千七百九十八年ナポレオン一世帝位ニ即クニ及ヒテ更ニ憲法ヲ改正スル所アリナポレオンノ敗後ルイ十八世王權ヲ回復シ一千八百十四年ノ憲法ヲ欽定セリ一千八百三十年又之ヲ改ム一千八百四十八年ノ革命ニ於テ更ニ王政ヲ廢シテ共和政治ヲ建設シ一千八百五十二年ナポレオン三世帝位ニ即クニ及ヒテ再ヒ帝政トナリセタンノ敗後第三回ノ共和政治ヲ設爲シ一千八百七十五年ノ憲法アリ其ノ後一千八百八十四年多少更定スル所アリ是レ

即チ佛國今日ノ憲法アリ之ニ依リテ見レハ佛國ハ大革命以來憲法ヲ改ムルコト凡ソ十回帝政トナルコト二回共和政治トナルコト三回國體政體ノ變易スルコト走馬燈モ雷ナラス亦甚タシト謂フヘシ今一々此等ノ憲法ヲ詳叙スルコトヲ得スト雖モ其ノ中異常ナルモノ二三點ヲ舉クレハ一千七百九十三年ハ革命ノ動亂カ其ノ絶頂ニ達シ人心極メテ激昂セル時ナリシヲ以テ其ノ憲法中頗ル極端詭激ノ文字アリ其ノ第二十六條ニ曰ク公共ノ救助ハ神聖ナル債務ナリ社會ハ不幸ナル國民ニ或ハ勞働ヲ與ヘ或ハ勞働スル能ハサル者ニ生活ノ方法ヲ與ヘテ之ヲ救助スルコトヲ要スト其ノ第三十五條ニ曰ク政府カ人民ノ權利ヲ侵暴シタルトキ人民ノ全部又ハ一部カ叛亂ヲ企ツルハ最モ神聖ナル權利ニシテ又最モ已ムヘカラサルノ義務ナリト是レ豈叛亂ヲ煽動シ暴力ヲ以テ政府ヲ顛覆スルコトヲ獎勵スルモノニ非スヤ一千七百九十五年ノ憲法ハ權利ノ列記ニ加フルニ義務ノ列記ヲ以テシ其ノ第四條ニ曰ク何人モ善良ナル子善良ナル兄弟善良ナル朋友善良ナル夫等ニ非サレハ善良ナル公民ニ非スト是レ直ニ法律ヲ以テ道德ヲ強制セントスルモノナリ何ソフヲトシノ共和國ニ似タルノ甚タシキヤ一千八百四十八年ノ憲



法ノ前文ハ其ノ精神ノ高尚優美ナルコト人ヲシテ感歎措ク能ハサラシム其ノ文ニ曰ク「佛蘭西ハ共和國ニ編制セラレタリ佛蘭西ハ此ノ確乎タル政體ヲ承認シテ更ニ自由ニ進歩及開明ノ途ニ上リ益社會ノ負擔ト利益トヲ公平ニ分配シ漸次公共ノ費用及租稅ヲ減殺シテ各人ノ福祉ヲ増進シ急激ノ變革ヲ避ケ制度法律ノ漸進恒久ナル作用ニ由リ一切ノ國民ヲシテ道德智識幸福ノ最高度ニ到達安住セシメンコトヲ期ス」ト其ノ華辭文具タルニ終リシハ惜ミテモ猶ホ餘リアリト謂フヘシ現行憲法ニ依レハ立法權ハ國會ニ在リ國會ハ上下兩院ヨリ成リ下院議員ハ普通選舉ノ方法ニ依リテ選出セラル即チ成年(滿二十一年)以上ノ男子ハ悉ク選舉權被選舉權ヲ有シテ選舉ニ與カルコトヲ得ルナリ議員ノ任期ハ四年トス上院議員ハ三百人ニシテ其ノ任期ハ九年ナリ三年毎ニ三分ノ一ヲ改選ス大統領ハ上下兩院合同シテ之ヲ選舉ス行政權ノ首長トシテ國務卿ヲ任免シ法律ヲ頒布シ上院ノ同意ヲ得テ下院ヲ解散スルノ權ヲ有ス司法權ハ裁判所之ヲ行フ裁判官ハ大統領ノ任命スル所ニシテ終身官タリ現今ノ共和政府ハ建設以來殆ト三十年ニ垂ントシ頗ル靜穩ノ觀アリト雖モ人民亂ヲ思フノ心尙ホ未タ消セス往々ニシテ帝政ノ

舊時ヲ慕フ者アリ故ニ憲法ハ共和政體ハ審查議案ノ題目タトコトヲ得ス佛蘭西ヲ統御シタル王家ノ眷族ハ共和國大統領ニ選舉セラレコトヲ得ストノ規定ヲ設ケ以テ政權舊王家ニ移ルノ漸ヲ杜ケリ用意周匝ナリト謂フヘシ然レトモ將來ノ變未タ其ノ如何ヲトスヘカラサルナリ要スルニ佛人ノ特性ハ眞理ヲ愛好シ人類ヲ顧念シ劃一ヲ熱望スルニ在リ眞理ノ爲メニハ一切ヲ犧牲トシ自國ノ歴史特情ヲモ顧ミス一意ニ其ノ眞理ト信スル所ノモノニ向テ奔到セント欲ス是レ其ノ往々ニシテ突飛急激ノ失ニ陥ル所以ナリ又佛人ハ人類ノ運命ヲ顧念シ率先シテ其ノ進路ヲ開拓セント欲ス其ノ法律制度カ普遍的ノ傾向アルモノハ之カ爲メナリ而シテ法律制度ハ必ス一切ノ事項ヲ舉ケテ齊整明確ニ之ヲ成文ノ法條ニ規定シ涓滴ノ滲漏ナカランコトヲ期ス其ノ杆格抵牾シテ往々實際ノ事情ニ適合セサルモノアルハ之カ爲メナリ佛人ノ此ノ特性ハ其ノ憲法ノ變遷ニ見テ明ニ之ヲ知ルヘシ是レ其ノ他邦ノ憲法ト異ナル所ナリ

シヤル、マーニユ大帝ノ歿後佛國ハ君主統一ノ勢ヲ成セルニ反シテ獨逸ハ諸侯分裂ノ狀ヲ呈セリ宜ナル哉普魯西ノフレデリック大王カ獨逸ハ選舉セル元首ヲ



有スル諸侯ノ共和國ナリト評セシコト果シテ諸侯僧侶及市府ノ選出議員ヨリ成  
 レル國會アリテ元首ヲ選舉シ其ノ他一切ノ國事ヲ議定セリ然ルニ諸侯議員ハ多  
 クハ自ラ國會ニ出席セスシテ使節ヲ派遣スルコト、ナリタルカ爲メ議事澁滯シ  
 テ殆ト何等ノ功績ヲモ奏スルコト能ハサリキ其ノ後一千八百四十九年ノ頃獨逸  
 帝國憲法ノ制定アリシモ實行セラル、ニ及ハスシテ止メリ獨逸カ統一帝國ノ實  
 ヲ現ヘセシハ一千八百六十六年ノ普澳戰爭及一千八百七十年ノ普佛戰爭以後僅  
 ヲ三十年以來ノ事ナリ此ノ時ヨリシテ選舉元首ハ變シテ世襲元首トナリ當初ハ  
 大統領ノ稱號ヲ有セシモ爾後皇帝ノ稱號ヲ用非ルニ至レリ故ニ現今ノ獨逸ハ世  
 襲皇帝ヲ戴ク諸侯ノ共和國トナレリ現行憲法即チ一千八百七十一年四月十六日  
 ノ憲法ニ依レハ陸海軍事帝國ノ財政、稅關、商業、郵便、電信、軍事、鐵道及憲法ノ施行ニ  
 關スル法律ノ制定ハ帝國ノ專權ニ屬シテ聯邦諸侯ハ之ニ干與スルコトヲ得ス行  
 政權ハ普魯西王兼獨逸皇帝ニ屬シ皇帝ハ大宰相ト名ヅクル唯一ノ責任大臣ニ由  
 リテ帝國ヲ統治ス立法權ハ上下兩院ニ屬ス上院ハ聯邦各國ノ代表者ヲ以テ組織  
 シ下院ハ十萬人ニ對スル一人ノ割合ヲ以テ普通選舉ノ方法ニ依リ人民カ直接ニ

選出セル代議士ヲ以テ組織ス法律ハ兩院ニ於ケル多數ノ贊成ニ依リテ直ニ成立  
 シ皇帝ハ不裁可ノ權利ナシ蓋シ皇帝ハ普魯西國王トシテ其ノ代表者ヲ上院ニ差  
 遣スルヲ以テナリ聯邦諸國ニモ各特別ノ憲法アリテ大抵帝國憲法ト相似タリ  
 我カ大日本帝國憲法ハ明治二十二年二月十一日ヲ以テ發布セラレ翌二十三年第  
 一期ノ帝國議會開會ト同時ニ施行セラレタリ然レトモ我カ憲法モ亦一朝ニシテ  
 成立シタルモノニ非スシテ多少ノ沿革アリ明治元年三月十四日皇上公卿諸侯ヲ  
 率井五事ヲ以テ天地神明ニ誓ハセラレ大ニ國是ヲ定メ新政ノ基礎ヲ樹立セラル  
 世ニ五章ノ誓文ト稱スルモノ是レナリ其ノ第一ニ曰ク廣ク會議ヲ興シ萬機公論  
 ニ決スヘシト是レ實ニ後年憲法ヲ制定セラル、ノ源泉ナリ當時草創ノ際、輒チ民  
 選議會ヲ興サル、ニ及ハサリシト雖モ太政官中ニ議政官ヲ置キテ專ラ立法ノ事  
 ヲ掌ラシメタリ次テ翌明治二年七月列藩ノ藩籍奉還ヲ聽許シ封建ヲ廢シ郡縣ノ  
 制ヲ創ムルニ當リ議政官ヲ廢シテ待招院集議院ヲ置キ天下ノ賢才異能ヲ招集シ  
 テ國政ニ參與セシメタリ四年七月更ニ官制ヲ改メ太政官中ニ新ニ正院左院右院  
 ヲ置キ左院ヲシテ專ラ立法ノ事ヲ議定セシム其ノ後明治八年四月十四日左右兩



院ヲ廢シテ元老院及大審院ヲ興シ元老院ヲシテ法律案議定ノ任ニ當ラシメ大審院ヲシテ裁判統一ノ職ヲ行ハシメ之ト同時ニ地方官會議ヲ設ケテ地方行政ノ改善ヲ謀リ頗ル民意ヲ參酌シテ國政ヲ行フノ基ヲ開ケリ是ニ於テ立法司法行政ノ三權始メテ相分科シ稍其ノ體面ヲ具フルニ至レリ其ノ後西洋ノ學術思想漸ク我ニ入り來ルニ及ヒテ民權自由ノ論頗ル政談家ノ間ニ行ハレ遂ニ西洋諸國ノ制度ニ模倣シテ憲法ヲ設ケ國會ヲ開キ所謂立憲代議ノ政治ヲ行フヘシトスルノ論盛ニ民間ニ勃興シ明治十二年ノ頃ニ至リ太政官ニ詣リテ國會開設ヲ請願スル者陸續トシテ絶エヌ十四年十月十二日ニ至リテ二十三年ヲ期シテ國會ヲ開ク旨ノ詔勅アリ世論是ニ於テ鎮靜ス二十二年憲法發布ノ事アリ二十三年十一月第一期ノ議會ヲ開キ爾來連續シテ以テ今日ニ至レリ

恭シク案スルニ我カ帝國憲法ハ七章七十六條ヨリ成ル所ノ大典ニシテ第一章ハ天皇ト題シテ天皇カ帝國ノ統治者ニシテ此ノ憲法ノ條規ニ依リテ統治權ヲ行使セラル、コトヲ規定シ統治權ノ作用タル大權ノ種類ヲ列舉セリ第二章ハ臣民ノ權利義務ト題シ臣民ハ法律ニ依ルニ非サレハ其ノ權利ヲ制限セラレ義務ヲ加重

セラル、コトナキ旨ヲ規定セリ第三章乃至第五章ハ統治機關タル帝國議會政府及裁判所ノ權限ヲ規定シ第六章ハ臣民ノ休戚ニ大關係アル租稅及豫算ノ事ヲ規定シ第七章ハ憲法及皇室典範ノ改正變更及憲法發布以前ノ法令ノ效力ヲ規定セリ之ニ依リテ見レハ我カ憲法ハ統治權ノ行使ヲ限定シ臣民ノ權利ヲ保障スルヲ以テ其ノ主眼ト爲スコト照然トシテ明ナリ而シテ統治權カ天皇ニ存セリトスル固有ノ國體ニ毫釐ノ變更ヲモ加フルモノニ非スシテ單ニ專制政體ヲ變シテ立憲政體ト爲シタルニ止マルコト亦之ヲ知ルヘキナリ

### 第二節 行政法

行政法ハ行政權ノ作用ヲ規定スル法律ナリ詳言スレハ行政法ハ行政官府ノ組織權限及行政官府ト人民トノ關係ヲ規定スル法令ノ全體ナリ故ニ行政法ハ憲法ノ一部ナリ憲法ハ行政權ノ大綱ヲ規定シ行政法ハ其ノ細目ヲ規定スルモノナリ或ハ曰ク憲法ハ國家ノ直接機關ヲ規定シ行政法ハ其ノ間接機關ヲ規定スルモノナリト此ノ說ハ國家ヲ統治者ト同視シ君主ヲ以テ國家ノ機關ト爲シ行政官府ヲ以



テ君主ノ機關即チ國家ノ機關ノ機關ト爲スモノナリ然レトモ君主即チ統治者タル我カ國體ノ如キニ於テハ君主ハ國家ノ元首ニシテ其ノ機關ニ非サルト同時ニ行政官府ハ統治者ノ直接機關タルカ故ニ此ノ區別ヲ採用スルコト能ハサルナリ或ハ曰ク行政法ハ一種獨立ノ法律ニ非スシテ爾餘諸法律ノ混淆物ナリ故ニ行政法中ノ或ル規定ハ憲法ニ屬シ或ルモノハ民法ニ屬シ或ルモノハ刑法ニ屬ス此ノ如ク行政法ノ規定ヲ一々析解スルトキハ悉ク爾餘ノ諸法律ニ分屬セシムルコトヲ得ルカ故ニ所謂行政法固有ノ領域ハ之ヲ認ムルコトヲ得サルナリト行政法カ果シテ此ノ如キ雜駁混淆ノ觀ヲ呈スルコトハ余輩モ亦之ヲ認ムト雖モ然レトモ此ノ故ヲ以テ直ニ行政法ハ獨立ノ法律ニ非スト斷スルハ誤レリ商法ノ規定ハ民法ノ一部ヲ成スモノナリト雖モ尙ホ之ヲ稱シテ獨立ノ法律ト爲スコトヲ妨ケサルトキハ行政法モ亦之ヲ獨立ノ法律ト爲スコトヲ得サルノ理ナシ況ンヤ行政法ノ中ニハ戶籍法ノ如キ自治制ノ如キ會計法ノ如キ之ヲ爾餘ノ諸法律ノ中ニ編入セシニハ餘リニ尨大ニシテ不恰好ナルモノ多クナルニ於テオヤ然ラハ此等ノ法規ヲ拾集シテ此ニ一種獨立ノ行政法典ヲ構成シ民法刑法等ト相對立セシメンコト

トハ決シテ爲シ能ハサルノ業ニ非ス今日ハ行政法ノ發達尙ホ幼稚ナルカ故ニ未タ然ルコト能ハスト雖モ將來ハ必ス此ノ如キノ運ニ際會センコト殆ト疑ヲ容レサル所ナリ

行政法ノ編制ハ行政組織行政事務及行政訴訟ノ三編ニ分チ行政組織ニ於テ行政官府ノ構成ヲ論シ行政事務ニ於テ各行政官府ノ擔任施行スル事務ノ準則ヲ述ヘ行政訴訟ニ於テ行政監督ノ一形式タル違法處分裁判ノ事ヲ説明スルヲ以テ普通ノ順序ト爲ス而シテ行政組織ニ就キテハ既ニ統治權ノ機關ノ部ニ於テ之ヲ説キ行政訴訟ニ就キテハ行政制裁ノ所ニ其ノ一端ヲ述ヘタルヲ以テ此ニハ單ニ行政事務ノ概要ヲ述フルニ止ムヘシ

行政事務ハ通常之ヲ大別シテ外政内政軍政法政及財政ノ五ト爲ス

先ツ外政即チ外務行政ハ外國交際ニ關スル一切ノ政務ヲ含ム其ノ主要ナルモノヲ宣戰媾和及條約締結ノ二ト爲ス外政ノ機關ハ外務大臣公使及領事トズ外務行政モ亦他人ノ行政ト同シク法令ノ範圍内ニ於テ行フヘキモノニシテ所謂國際法ハ外務行政ノ準則トナルモノニ非ス然レトモ法令又ハ條約ニ於テ之ニ依ルノ意思



ヲ表示シタルトキハ法令ト同一ノ效力ヲ有スルコト恰モ民法カ慣習ニ法律ノ效力ヲ認メタル場合ト同シ

次ニ内政即チ内務行政ハ廣ク之ヲ解スルトキハ國內ニ於ケル一切ノ政務ヲ包括スヘシト雖モ此ニ内政ト云フハ專ラ公共ノ安寧秩序ヲ保持シ及國民ノ福利ヲ増進スルヲ以テ直接ノ目的ト爲ス所ノ國政ノ部分ヲ指シテ謂フ其ノ範圍頗ル汎博複雑ニシテ戶籍、警察、衛生、土木、宗教、教育、通信、農工商等皆其ノ一部ヲ爲スモノナリ内務行政ノ機關ハ主トシテ内務、文部、遞信、農商務ノ各大臣及府縣知事郡長等ナリトス各種ノ法令ニ依リテ内務行政ノ性質範圍等ヲ論究スルハ所謂行政法ノ主要ナル目的ナリ余輩ハ此ニ一々之ヲ説明スルコトヲ得ス

次ニ軍政即チ軍務行政ハ陸海軍事ニ關スル一切ノ政務ヲ含ム陸海軍ノ統帥及設備ハ天皇カ參謀本部、軍令部、師團鎮守府等ノ機關ニ依リテ行ハル、所ナリ兵員ノ徵集武器其ノ他營造物ノ設備等ハ陸海軍大臣ノ管掌ニ屬ス我カ國ノ兵制ハ全國皆兵主義ニシテ天皇之カ大元帥タリ凡ソ帝國臣民ノ男子滿十七年以上滿四十年以下ノ者ハ皆兵役ニ服スルノ義務アリ兵役ヲ分チテ常備兵役、後備兵役、補充兵役

及國民兵役ノ四ト爲シ更ニ常備兵役ヲ分チテ現役豫備役ノ二ト爲ス然レトモ國民中特別ノ事情アル者ニハ兵役ノ免除延期若クハ猶豫ヲ與フルコトアリ軍務行政ニ就キテ注意スヘキコトハ戒嚴及徵發ノ二事ナリ戒嚴トハ外寇内亂ニ際シ常法ヲ停止シ司法及行政ノ一部ヲ擧ケテ之ヲ軍事處分ニ委スルコトヲ謂ヒ徵發トハ戰時若クハ事變ニ際シ陸海軍ノ全部又ハ一部ヲ動カスニ當リテ必要ナル軍需品ヲ地方人民ニ賦課收用スルコトヲ謂フ但徵發ハ平時ノ演習及行軍ノ際ニモ之ヲ行フコトアリ何レノ場合ニ於テモ徵發ニ應シタルモノハ法律ノ規定ニ從ヒ相當ノ賠償ヲ受クルモノトス

次ニ法政即チ司法行政ハ訴訟手續ニ依ラスシテ司法大臣若クハ裁判所ノ管掌スル一切ノ事務ヲ含ム例ヘハ裁判所ノ廢置及管轄區域ノ變更ノ如キ裁判官並ニ所部官吏ノ任免進退ノ如キ辯護士、公證人、執達吏ノ監督ノ如キ裁判ノ準備執行及各般ノ登記其ノ他非訟事件ノ如キ皆是レナリ裁判所カ此等ノ事務ヲ行フニ就キテハ司法大臣ノ監督ヲ受ク但裁判事務ニ至リテハ全ク裁判所ノ獨立ノ職權ニ屬シ司法大臣ノ干涉ヲ受クルコトナシ



終リニ財政即チ財務行政ハ國家ノ資財ニ關スル一切ノ政務ヲ含ム蓋シ國家ハ百  
 般ノ政務ヲ行フカ爲メニハ之ニ應スルノ資財ナカルヘカラス既ニ資財アレハ之  
 ニ關スル政務ナキコトヲ得ス是レ即チ財政ナリ財務行政ノ機關ハ大藏大臣及會  
 計検査院トス國家ノ歲入出ハ毎年之ヲ豫算シテ帝國議會ニ提出シ其ノ議決及天  
 皇ノ裁可ヲ經タル後之ニ準據シテ收入支出ヲ行フ而シテ經過セル年度ノ會計ハ  
 之ヲ決算シテ帝國議會ニ報告ス是レ國家ノ財政ハ人民ノ休戚ニ關スルコト殊ニ  
 重大ナルヲ以テナリ府縣郡市町村ニ至リテモ亦各特別ノ財政アリ財務行政ニ關  
 シテハ(一)國家ノ財産ノ管理(二)歲入即チ各種ノ租稅及手數料(三)公債(四)會計即チ豫  
 算現計決算等ノ事ヲ説明セサルヘカラス而シテ此等ノ事項ニ關シテハ殊ニ細密  
 ノ法令アリ今皆之ヲ略ス

### 第三節 刑法及刑事訴訟法

刑法ハ刑罰權ノ作用ヲ規定スル法律ナリ蓋シ統治者ハ國家ノ秩序安寧ヲ保持ス  
 ルノ權利及義務アリ故ニ國家ノ秩序安寧ヲ妨害スルノ行爲ヲ爲ス者アルトキハ

之ヲ控制抑壓シテ其ノ非行ヲ逞フセザラシムルノ權利ナカルヘカラス是レ統治  
 者ニ刑罰權アル所以ナリ而シテ刑法ハ此ノ刑罰權ノ作用ヲ規定スル法律ニシテ  
 詳言スレハ國家ノ秩序安寧ヲ妨害スルノ行爲即チ犯罪ニ科スヘキ刑罰ヲ定ムル  
 法律ナリ凡ソ權利侵害ノ行爲アレハ必ス制裁アリ一個人ノ權利ヲ侵害スルトキ  
 ハ民法上ノ制裁ヲ受ケ統治者ノ權利ヲ侵害スルトキハ刑法上ノ制裁ヲ受ク此ノ  
 點ヨリ言ヘハ刑法ハ統治權侵害ニ對スル制裁法ナリト謂フモ可ナリ  
 刑法ハ各科ノ法律中最モ夙ク發達セシコト東西其ノ步趨ヲ同フス蓋シ如何ナル  
 蒙昧粗野ノ社會ニ在リテモ公共ノ秩序安寧ヲ妨害スルノ行爲ハ直ニ人ノ指目ヲ  
 惹キ且之ヲ抑制スルノ必要ヲ感スルコト甚タ容易ナリシカ爲メナルヘシ我カ邦  
 ニ於テモ既ニ古代ヨリ刑罰制度ノ存セシコトハ載藉ノ證明スル所ナリ大寶令貞  
 永式目德川氏百ヶ條ノ如キモ刑罰ニ關スル條項其ノ大部分ヲ占メタリ明治維新  
 後ノ制定ニ係ル新律綱領及改定律例ハ主トシテ明清律ニ模倣シタル者ニテ東洋  
 固有ノ法律トシテハ頗ル詳密ナルモノナリ現行刑法ハ佛人ボアンナドカ主ニ  
 佛國刑法ニ倣ヒテ起草シ明治十五年一月一日ヨリ施行セラレ以テ今日ニ至リタ



ルモノナリ現行刑法ハ實行ノ久シキ漸ク其ノ缺典ヲ現シタルヲ以テ當局者ハ其ノ改正ニ從事シ遂ニ三十年十二月ニ至リテ刑法改正草案ヲ發表シ廣ク世ノ批評ヲ求メタリ想フニ現行刑法ハ一二年ヲ出テスシテ改正ノ運ヲ見ルニ至ルヘシ是レモ亦社會進歩ノ必然ノ結果ニシテ固ヨリ避クヘカラサルノ勢ナリ  
 刑法ノ學ハ刑罰治罪及監獄ノ三端ヨリ之ヲ研究セサルヘカラス刑罰制度ニ於テハ如何ナル行爲ヲ犯罪トスヘキヤ又之ニ如何ナル刑罰ヲ科スヘキヤヲ究メ治罪制度ニ於テハ犯罪ヲ裁判スルノ手續即チ犯罪人ノ逮捕審問處罰ノ手續ヲ論シ監獄制度ニ於テハ刑罰ニ服スル罪人ヲ懲戒訓化スルノ方法ヲ講スルモノナリ而シテ監獄制度ニ關スル研究ノ尙ホ極メテ幼稚ニ屬スルコトハ特ニ注意スヘキノ一點ナリ

余輩ハ刑法ニ就キテ多ク言フヘキモノナシ然ルニ近時刑法學上ニ一種ノ新學派ト稱スルモノ興リ其ノ所論往々人ノ耳目ヲ驚カスモノアリ試ニ其ノ要旨ヲ叙述シテ讀者ノ參考ニ供ス

新學派ハ社會學心理學人類學等ノ點ヨリ犯罪人ヲ研究シテ謂ヘラク犯罪人ハ身

體ノ構造心神ノ發達等頗ル不完全ニシテ寧ロ劣等動物ニ近似スルモノアリ加フルニ遺傳習慣其ノ他其ノ身邊ヲ圍繞スル社會ノ光景等自ラ常人ニ異ナルモノアリテ之ヲシテ自然ニ犯罪の性質ヲ涵養長育セシム故ニ其ノ罪ヲ犯スヤ是非ノ辨別アリ自由ノ意思アリテ故意ニ罪ヲ犯スニハ非スシテ一身ノ事情社會ノ境遇等之ヲ驅リテ此ニ至ラシムルモノナリ即チ因果必然ノ法則ニ支配セラレ已ムコトヲ得スシテ罪ヲ犯スモノニシテ決シテ其ノ中心ヨリ出ツルニハ非ス譬ヘハ猶ホ虛弱ノ身體ヲ有スル者カ寒風ニ觸レテ疾病ニ罹ルカ如ク酒客カ酒家門外ヲ過キテ之ニ入ラサルコトヲ得サルカ如キト一般ナリ故ニ犯罪人ハ不具者ナリ病者ナリ而シテ犯罪人ノ中ニハ慣性的ノモノト一時ノモノトアリ慣性的犯罪人ハ到底之ヲ訓誨シテ社會的生活ニ適應セシムルコトヲ得スシテ即チ社會ノ公敵ナレハ之ヲ屠戮シ若クハ終身禁錮流竄シテ社會的生活ヲ共ニセシメサルノ外ナシ之ニ反シテ一時の犯罪人ハ或ハ之ヲ矯正シテ社會的生活ニ適應セシムルコトヲ得ヘキヲ以テ寛大ニ之ヲ待遇スヘキナリ且犯罪人ヲ生シタル社會モ亦罪ナシト謂フヘカラス即チ社會ノ境遇カ犯罪人ヲシテ罪ヲ犯スニ至ラシメタルモノナルト



キハ犯罪人カ孤獨ニ罪ヲ犯シタルモノト謂フヘカラサルカ故ニ社會モ亦其ノ責  
ム分タサルコトヲ得スト所謂新學派ノ所説人ニ依リテ多少ノ異同アリト雖モ大  
様右ノ如シ此ノ學派ハ從來ノ刑法カ專ラ重キヲ犯罪人ノ心術ノ上ニ置キ徒ニ苦  
虐懲治ノ手段ヲ以テ之ヲ悔改セシメントスルノ弊アルカ故ニ乃チ此ノ弊ヲ救ハ  
ンカ爲メニ起リタルモノニシテ刑罰ノ制度ニ貢獻シタルコト鮮カラス今日此ノ  
學派ニ屬スル有名ナル學者ハ伊太利セザル、ロンブローゾ、アンリー、フエリー、ラハ  
エル、ガロハロー、佛蘭西エミール、デラルダン、オデロン、バロ、アルフレツト、フイ  
エー等ナリトス

余輩ハ固ヨリ一概ニ新學派ヲ排斥スルモノニ非ス然レトモ果シテ其ノ所論ノ如  
クハ犯罪ノ責任ハ如何ニシテ之ヲ説明スルコトヲ得ヘキカ新學派ハ犯罪人ノ罪  
ヲ犯スハ必ス然ラサルヲ得サル所以ノモノアリテ然ルモノニシテ恰モ心神喪失  
者カ罪惡ヲ行フト同シト云フモノナルカ故ニ犯罪人ニ其ノ責任ナシト謂ハサル  
ヘカラス既ニ犯罪人ニ責任ナシトスル以上ハ一切ノ犯罪人ハ悉ク無罪トシテ之  
ヲ罰セサルカ若クハ同種ノ犯罪人ハ悉ク同一ノ刑罰ヲ以テ之ヲ罰スルカ二者必

ス其ノ一ニ出テサルヘカラス例ヘハ謀殺故殺者、過失ニ因リテ人ヲ殺シタル者、發  
狂シテ人ヲ殺シタル者、正當防衛ニ出テ、人ヲ殺シタル者、姦所ニ於テ姦夫ヲ殺シ  
タル本夫等悉ク無罪トシテ之ヲ免除スルカ然ラスハ悉ク死刑ニ處スヘキカ如  
シ是レ果シテ正當ナルカ既ニ犯罪ノ責任ヲ認メサルトキハ新學派カ頼ミテ以テ  
刑罰ノ基礎及標準ト爲ス所ノモノハ一ニ社會ノ利益アルノミ其ノ結果、嚴刑酷罰  
ヲ勸獎スルニ至ル何トナレハ單ニ社會ノ利益ノミヲ見テ犯罪人ノ心術ヲ顧ミサ  
ルトキハ苟モ社會ニ有害ナル者ハ悉ク屠戮シテ遺スナキコト譬ヘハ猶ホ牛疫流  
行ノ時ニ當リテ病牛ヲ撲殺スルカ如クナルヘシトノ論ニ歸宿スヘケレハナリ夫  
レ嚴刑酷罰ハ人間カ嘗テ一タヒ施用シテ其ノ功ヲ奏セザリシ所ニシテ民約論者  
ノ徒カ力ヲ極メテ之ヲ攻撃シテ僅ニ人類ノ尊貴ト自由トヲ恢復セシ所ナリ然ル  
ニ今又昔日ノ舊態ヲ再演セント欲スルモノハ何ソヤ

且新學派カ理化學其ノ他有形ノ學ニ使用スル實驗觀察ノ法ヲ移シテ犯罪人ノ研  
究ニ應用シタルハ是レ其ノ功績ノ埋没スヘカラサル所ナリ然レトモ其ノ研究未  
タ十分ナラスシテ往々速斷臆見ニ陥ルコトアルハ新學派ノ爲メニ惜ムヘキ所ナ



リ新學派ノ泰斗ロンプロゾハ犯罪人ヲ研究シ凡ソ左ニ列擧スルカ如キ性質ヲ具  
フル者ハ先天的犯罪人トモ稱スヘキ者ニシテ必ス犯罪ヲ行ヒ且到底矯正スカラ  
サル者トセリ其ノ性質ヲ擧クレハ一、頭蓋ノ容量狭小ナルコト二、腮ノ發達善良ナ  
ルコト三、眼窠大ニシテ白痴者ノ眼ニ似タルコト四、額骨突出スルコト五、頭形不規  
則ナルコト六、鬚髯稀少若クハ皆無ナルモ頭髮ハ多キコト七、耳形急須ノ手ノ如ク  
ナルコト八、鼻ノ屈曲シ若クハ扁平ナルコト九、男ハ女相ヲ帶ヒ女ハ男相ヲ有スル  
コト十、頬骨高キコト十一、色盲者多キコト十二、左手利用者多キコト十三、腕力弱少  
ナルモ巧技アルコト十四、酒毒ニ中タル者癩癩病者多キコト十五、腦髓異常ナルコ  
ト十六、容易ニ赤面セス其ノ他感覺遲鈍ナルコト十七、幼時ヨリ手淫ヲ好ミ殘忍ノ  
所業ヲ好ミ盜ヲ爲シ虛夸心ニ富ミ虛飾ヲ愛シ狡猾ニシテ虛言ヲ吐キ家族ノ生活  
ヲ好マス教育スルモ其ノ效ナク此等ノ結果トシテ壯年ニ及ヒテ惡相ヲ帶フルコ  
ト十八、嫉妬及復讐ノ念強キコト十九、故ナク人ヲ嫌忌スルコト二十、罰ヲ受クルモ  
意ニ介セス又故ナク怒ヲ發シテ非常ノ亂暴ヲ爲スコト二十一、懶惰放逸ニシテ先  
見ノ明ナク怯懦ニシテ博奕ヲ好ムコト二十二、惡事ヲ爲スモ良心ノ咎ヲ受ケス惡

事ヲ爲スヲ觀ルコト猶ホ快事ヲ行フカ如クナルコト二十三、幼ヨリ刺繡ヲ好ミ其  
ノ刺繡ハ大抵猥褻ニシテ往々陰部ニ施ス者アルコト二十四、筆跡異常ニシテ無用  
ノ裝飾ヲ加フルコト二十五、犯罪人間ニ一種ノ略語ヲ使用スルコト二十六、犯罪人  
間ニ一種ノ結社アリテ其ノ規律極メテ苛嚴ナルコト卽チ是レナリ此等ノ體格及性  
質ヲ具フルモノカ一定ノ境遇ニ處スルトキハ其ノ罪ヲ犯スコト必然ニシテ猶ホ  
水ノ下ニ就クカ如ク火ノ天ニ上ルカ如ク決シテ抑止スルコトヲ得サルモノナリ  
ト云フ其ノ研究綿密ナリト謂フヘシ然レトモ有ラユル犯罪人ヲ研究シテ凡ソ犯  
罪人ハ悉ク此等ノ體格性質ヲ有スルコトヲ證明シ得タリトスルモ人世ハ幸ニモ  
犯罪人少ナクシテ犯罪ヲ爲サル人多キカ故ニ犯罪ヲ爲サル人ノ中ニモ此等ノ  
體格及性質ヲ具ヘタル者ナシトハ決シテ斷言スルヲ得ス若シ犯罪ヲ爲サル人  
ノ中ニ此等ノ體格及性質ヲ具ヘタル者一人ニテモアリタルトキハロンプロゾノ  
結論ハ全ク誤謬ニ屬スルモノト爲サルコトヲ得ス何トナレハ犯罪ヲ爲サル  
人ノ中ニ此等ノ體格及性質ヲ具ヘタル者アルトキハ此等ノ體格及性質ヲ有スル  
者ハ必ス犯罪ヲ行フ者ナリト斷言スルコトヲ得ヘカラサレハナリ故ニロンプロ



ゾノ結論ヲ確實ナラシメント欲スルトキハ獨リ犯罪人カ悉ク此等ノ體格及性質ヲ具フルコトヲ證明スルノミヲ以テ足レリトセス犯罪ヲ爲サル人ノ中ニハ此等ノ體格及性質ヲ有スル者一人モアラサルコトヲ證明セサルヘカラス是レ未タ證明セラレサル所ナリ而シテ犯罪ヲ爲サル人ノ中ニ此等ノ體格及性質ヲ具ヘタル者アルコトハ蓋シ何人モ疑ハサル所ナルヘシ其ノ他人類ニ理性ナシト云ヒ自由ノ意思ナシト云フカ如キモ亦皆證明セラレサルノ言ニ屬ス余輩故ニ曰ク新學派ノ經驗ハ未タ正確ナラスト

之ヲ要スルニ新學派ハ近時流行ノ進化主義實驗主義利益主義必然主義等ニ本ツキテ說ヲ立テタルモノニシテ多少ノ眞理ヲ包藏スルコトアルヘク且刑罰制度ノ改善ニ裨益スルコト尠ナカラサルヘキモ其ノ所論新奇ヲ夸衒シテ以テ自ラ售リ且舊學派ヲ破壞スルニ急ニシテ往々輕浮速斷ノ病ニ陥リタルコトハ蔽フヘカラサルナリ犯罪ハ果シテ因果必然ノ法則ニ支配セラレテ發生スルモノニシテ到底人カヲ以テ制止スルコトヲ得サルモノナランニハ之ヲ罰スルハ全ク徒勞ニ屬シテ初メヨリ罰スルコトナカラシニハ如カサルナリ其ノ犯罪人ヲ生シタル社會ニ

モ亦責アリト云フニ至リテハ何ソ古代ノ贖罪主義ニ似タルノ甚タシキヤ犯罪人ハ社會ノ基礎ヲ攻撃スル者ニシテ到底社會共存ニ適セサル者ナレハ之ヲ誅戮シテ遺スコト勿レト說クハ頗ル社會的復讐主義ニ似タリト謂フヘシ蓋シ新說常ニ新說タルコトヲ得スシテ往々既ニ人ノ記憶ヨリ忘失セラレタル舊說ヲ竊ニ取リ出タシテ之ヲ變形シ修飾シテ衆人ノ觀ニ充テ以テ一時ノ聲譽ヲ博スルモノアリ是レ知ラサルヘカラサルナリ但荆棘ノ中ニ芝蘭アリ砂礫ノ中ニ黃金アリ一家ノ說ヲ立ツル者ハ又必ス多少斬新ノ見ヲ懷ク者ナルカ故ニ一概ニ排斥スルコトヲ得スシテ新舊ノ二派相爭フカ如キ場合ニ於テハ詳ニ其ノ長短得失ヲ比較研究シテ採擇スル所ヲ定メ些モ偏黨ノ嫌アルヘカラサルコト正ニ學者ノ本分ト爲ス獨リ怪ム本邦ノ學徒凡ソ說ノ新タナルモノ出ツルニ逢ヘハ其ノ是非ヲ問ハス得失ヲ究メス直ニ之ニ盲從シ喋々警說シテ己コソ新學派ノ徒ナレト揚々トシテ得色アルコト恰モ小兒カ新奇ノ玩具ヲ得テ其ノ舊物ニ劣ルコト數等ナルヲモ知ラスシテ一意ニ愛翫スルカ如キト同一一般ナルハ洵ニ淺マシキ第ト謂フヘシ安ソ深ク省察スル所ナカルヘケンヤ



次ニ刑事訴訟法ハ犯罪ヲ裁判スル手續ヲ規定スル法律ナリ換言スレハ刑法ヲ適用スル方法ヲ規定スル法律ナリ夫レ刑法ハ犯罪ト刑罰トノ條目ヲ規定スト雖モ之ヲ適用スル方法ノ規定ナキトキハ徒法空文タルニ止マリテ其ノ效力ヲ現スコト能ハサルヘシ是レ刑事訴訟法ノ缺クヘカラサル所以ナリ刑法ハ譬ヘハ猶ホ刀ノ如シ刑事訴訟法ハ譬ヘハ猶ホ柄ノ如シ刀如何ニ銳利ナルモ柄ノ之ヲ運用スルモノナクハ安ソ能ク其ノ銳利ヲ現スコトヲ得ンヤ之ニ反シテ刀ハ稍鈍質ナルモ之ヲ運用スル柄ノ極メテ良好ナランニハ利刀ト其ノ作用ヲ同フスルコトナキニ非ス刑事訴訟法ヲ以テ刑法ヨリモ寧ロ重要ナリトスル者アルハ之カ爲メナリ民法ノ民事訴訟法ニ於ケルモ亦然リ是レ此等ノ法律ヲ稱シテ主法助法若クハ體法用法ノ關係アリト爲ス所以ナリ

刑事訴訟法ノ眼目トスル所ハ犯罪ヲ證明シ之ヲ處罰スルニ在リ犯罪ハ統治權公權侵害ノ行爲ナリ統治者ハ之カ回復ヲ要求セサルヘカラス統治者ヲ代表シ原告トシテ公權侵害ノ回復ヲ要求スル者ヲ檢察ト爲ス其ノ回復ヲ要求スル方法ヲ公訴ト謂フ既ニ原告アリ被告ナカルヘケンヤ犯罪人即チ被告タリ然レトモ被告ハ

有罪ノ判決確定スルマテハ無辜ノ民タリ被告ハ檢察ノ要求ニ對シ有ラユル手段ヲ用非テ自己ノ權利自由ヲ防禦スルコトヲ得サルヘカラス是レ刑事訴訟法中ニ被告ノ身體ヲ保護シ其ノ權利自由ヲ伸張セシムヘキ多クノ規定ヲ包藏スル所以ナリ此ノ原被告兩造ノ上ニ立テテ公平ナル裁判ヲ下ス者ヲ判事ト爲ス檢察カ公訴ヲ提起シ被告カ之ニ抗辯シ判事カ之ヲ裁判スル方法手續ヲ規定スルモノ即チ刑事訴訟法ナリ而シテ立法者苦心ノ存スル所ハ如何ニシテ犯罪抑壓ノ必要ト個人自由ノ保障トヲ調和セシムヘキカ換言スレハ社會ノ公益ト個人ノ私益トヲ調和セシムヘキカヲ決スルニ在ルナリ犯罪ハ公權ヲ侵害スルト同時ニ私權ヲ侵害スルコトアリ私權侵害ノ回復ヲ要求スル者ハ犯罪ニ因リテ損害ヲ受ケタル被害者ナリ其ノ回復ヲ要求スル方法ヲ私訴ト謂フ私訴ハ或ハ公訴ニ附帶シテ刑事裁判所ニ提起スルコトアリ或ハ獨立シテ民事裁判所ニ提起スルコトアリ犯罪ハ通常公訴私訴ヲ併セテ惹起スルモノナリト雖モ或ル種類ノ犯罪ハ單ニ公訴ノミヲ惹起シテ私訴ヲ惹起セサルモノアリ例ヘハ未遂犯ノ場合ノ如キ多クハ皆是レナリ之ニ反シテ單ニ私權ヲ侵害スルノミニシテ公權ヲ侵害セサル行爲ハ私訴ヲ生ス



ルモ公訴ヲ生スルコトナシ例ヘハ過失ニ因リテ他人ノ財産ヲ害シタル場合ノ如キ其ノ一例ナリ私訴ニ關スル規定ハ主トシテ民事訴訟法中ニ在ルナリ  
體法アレハ用法ナカルヘカラス我カ邦既ニ往古ヨリ刑罰制度具存セシ以上ハ其ノ裁判手續モ亦存在セシコト固ヨリ疑ヲ容レス然レトモ其ノ所謂裁判手續ト云フモノ唯慣例ニ依リ拷問自白ノ制度ヲ用非タルノミニシテ法律トシテ認ムヘキ體形ヲ具ヘス且現行制度ト歴史上ノ聯系ナシ現行制度ヘ全ク歐洲ノ制度ニ模倣シタルモノナリ當初ハ治罪法ト稱シボアソナードノ起草ニ係リ刑法ト同シク明治十五年一月一日ヨリ施行セラレタリシカ二十三年十月ニ至リ修正ヲ加ヘ改メテ刑事訴訟法ト題セリ三十二年ニ至リ又多少修正スル所アリ然レトモ不備ノ點尙ホ甚タ多シ想フニ現行刑事訴訟法ハ刑法ノ改正ニ伴ヒ數年ヲ出テスシテ大ニ改正セラル、コトアルヘキナリ

## 第五編 國權及國際法

本編ニ於テハ先ツ國權ノ種類タル平時ノ權及戰時ノ權ヲ述ヘ次ニ國權ノ憑據タル國際法ヲ述ヘントス唯豫メ此ニ一言スヘキコトハ國際法上ニ於テハ一般ニ國家カ法人トシテ國權ノ主體タルモノト認識セラル、コト是レナリ余輩ハ國家ト統治者トハ截然分別スヘキモノニシテ國權ノ主體ハ國家ニ非スシテ統治者ナリト信スル者ナリ故ニ國權即チ國家ノ權利ト云フハ國家カ有スル權利ト云フノ義ニ非スシテ國家ニ關スル權利若クハ國家ノ爲メニ存スル權利ト云フノ意ナリトシ此ノ權利ヲ有スル者ハ即チ統治者ナリトスル者ナリ然レトモ國際法上ノ權利ヲ論スルニ當リテ一般ノ通説ニ反對シテ敢テ異説ヲ立ツルハ妥當ナラス且統治者ハ國家ノ元首ニシテ國家ヲ代表スル者ナリ其ノ外國ニ對シテ或ル權利ヲ有スルハ自家ノ私ノ爲メニスルニ非スシテ國人全體ノ利益ノ爲メニスルモノナルカ故ニ國權ノ主體ハ統治者ナリトスルモ國家團體ナリトスルモ其ノ精神效果ニ於テ甚タシキ相違アルヲ見ス依リテ余輩モ本編ニ於テ立言ノ便宜ニ從ヒ強テ統治



者ト國家トノ區別ニ拘泥セス讀者之ヲ詳ニセヨ

### 第一章 國權

#### 第一節 平時ノ權

##### 第一款 獨立權

國家ハ獨立ノ政治團體ナルカ故ニ自家ノ生存ヲ確保スルカ爲メニ有ラユル手段ヲ用ヰルコトヲ得ヘシ即チ軍隊艦隊ヲ編制保持シ城砦ヲ築造シ及之カ爲メニ其ノ國土内ニ往居スル一切ノ人民ニ租稅ヲ賦課スル等はレナリ是レ國家ノ正當防衛權或ハ自衛權ナリ此等ノ防禦方法ハ如何ナル制限ヲモ受クルコトナシト雖モ唯其ノ設備カ特別ノ條約ニ背反シ若クハ他國ノ安全ヲ害スルノ虞アルトキハ關係國ハ之ニ對シテ其ノ說明ヲ求ムルコトヲ得ヘシ說明ヲ求メラレタル國ニシテ苟モ德義ト利益トヲ重スルトキハ之カ說明ヲ與フルニ吝ナラサルヘシ

國家自衛權ヨリシテ干涉ノ權利ヲ生ス干涉ハ之ヲ行フ者ヨリ見レハ固ヨリ自衛

權ノ一種ニシテ自國ノ利益ヲ保持スルニ必要ナルヘシト雖モ之ヲ受クル者ヨリ見レハ拘ニ國家ノ獨立權ヲ害セラル、モノト謂フヘシ故ニ干涉ノ權利ハ必要已ムコトヲ得サル場合即チ之ヲ用ヰルニ非サレハ至重ノ危害ヲ避クルコト能ハサル場合ノ外ハ之ヲ行フヘカラサルナリ蓋シ干涉ニ正ナルモノト不正ナルモノトアリ或ル國ノ内政ニ干涉シ之ヲ強制シテ必ス一種ノ政體ヲ維持セシメントスルカ如キハ不正ノ干涉タリ之ニ反シテ甲國ノ臣民カ乙國ノ權利ヲ侵害シタル場合ニ乙國カ甲國ニ對シテ之カ回復ヲ要求シ併セテ甲國ヲシテ其ノ國內ノ秩序ヲ保持スルニ必要ナル方法ヲ設ケシムルカ如キハ正當ノ干涉タリ不正ノ干涉ニ對スル干涉條約上ノ義務ノ結果トシテ行フ所ノ干涉或ル人民カ其ノ政府ヨリ慮遇セラル、ニ因リテ之ヲ救護スルカ爲メニ行フ所ノ干涉等モ亦均シク正當ノ干涉タリ近世不正干涉ノ最モ著明ナルモノハ一千七百七十二年獨澳露三國カ波蘭分割ノ目的ヲ以テ其ノ内政ニ干涉シタルカ如キ一千七百九十一年佛國革命ノ初歐洲諸國ノ君主カピルニツ條約ヲ以テルイ十六世ヲ助ケテ革命ノ亂ヲ鎮壓セントシタルカ如キ一千八百十五年佛國ブールボン家王位回復ノ後獨澳露三國カ所謂



神聖同盟ヲ結ヒ自由主義ニ反對シテ歐洲ノ最高警察ヲ以テ自ラ任シ伊太利西班牙ニ干涉シタルカ如キ是レナリ一千八百二十三年歐洲諸國カ西班牙ヲ助ケテ亞米利加殖民地ノ叛徒ヲ征服セントスルヤ英國ノ首相カンニング強硬ナル反對ヲ爲シ合衆國大統領モンロエハ歐洲ノ聯邦會議ニ左ノ宣言書ヲ送レリ所謂モンロエ主義是レナリ其ノ文ニ曰ク

合衆國政府ハ歐洲諸國カ其ノ特殊ノ政體ヲ亞米利加大陸ニ擴張センカ爲メニ企ツル所ノ一切ノ計劃ハ合衆國ノ平和及安寧ニ危害ヲ與フルモノト認ム  
合衆國ハ歐洲諸國ニ屬スル現殖民地ニ關シテ嘗テ干涉セシコトナク將來ニ於テモ亦干涉スルコトナカルヘシ然レトモ合衆國カ獨立國ト認メ且其ノ運命ヲ監視スルノ天職ヲ有スト信スル國々ニ對シテ歐洲諸國カ之ヲ凌壓スルノ目的ヲ以テ干涉ヲ企ツルコトアラハ是レ明ニ合衆國ニ對シテ敵意ヲ發表スルモノナリ合衆國ハ其ノ干涉カ如何ナル形式ヲ以テ爲サル、モ之ヲ看過スルコトヲ得ス(下略)

其ノ後佛國カ墨西哥ニ干涉スルヤ當時合衆國ハ南北戰爭ノ際ナリシニモ拘ハラ

ス尙ホモンロエ主義ヲ主張シテ佛兵ヲ撤退セシメタリ、正當干涉ノ顯著ナルモノハ一千八百三十年歐洲諸國カ希臘ヲ助ケテ土耳其ノ羈絆ヲ脱セシメタルカ如キ一千八百五十六年巴里條約ヲ以テ土耳其耶蘇教徒ヲ保護センカ爲メニ干涉ヲ行ヒタルカ如キ是レナリ之ヲ最近ノ事實ニ徵スルニ歐洲諸國カアルメニヤ虐殺事件ニ對シテ土耳其ヲ強制シテ其ノ秩序ヲ回復セシメントシタルカ如キ合衆國カ西班牙ニ反對シテキューバ獨立軍ヲ助ケントスルカ如キハ正當ノ干涉ナルヘシ之ニ反シテ我カ邦ニ對スル三國干涉ノ如キハ不正ノ甚タシキモノナリ抑モ歐洲諸國カ各種ノ事件ニ關シテ干涉ヲ行フハ必スシモ正義ニ出ツルニ非スシテ二百年以來歐洲外交ノ樞軸タル平權政策ニ本ツキ權力偏重ノ勢ヲ制シテ以テ自國ノ獨立利益ヲ保全セント欲スルニ外ナラサルナリ  
國家ハ自由ノ政治團體ナルカ故ニ苟モ他國ノ權利ヲ侵害セサル限リハ如何ナル行動ヲモ爲スコトヲ得ヘシ即チ國內ノ制度ヲ更革シ其ノ元首ヲ易置スルカ如キハ固ヨリ其ノ自由ニシテ他國ハ特別ノ條約アリ若クハ其ノ改革カ自國ニ危害ヲ及ホス場合ノ外ハ決シテ之ニ干涉スルコトヲ得サルナリ之ヲ國家ノ自主權ト謂



フ故ニ一國內ニ革命ノ動亂アリテ政府ヲ顛覆シ若クハ君位ヲ篡奪シタルカ如キ場合ニ於テ舊主權者カ其ノ權利ヲ拋棄シタルモノト認ムルコトヲ得ヘキ時ニ到ラハ他國ハ其ノ新主權者ヲ承認セサルコトヲ得サルナリ

國家自主權ノ結果トシテ國家ハ隨意ニ國法ヲ制定スルノ權利アリ即チ私法ニ關シテ自國人民ハ外國ニ住居スルモ其ノ人身權ハ尙ホ自國法ニ從フヘキモノトシ其ノ國土内ノ不動産ハ外國人ノ所有ニ屬スルモ尙ホ自國法ニ從フヘキモノトシ公ノ秩序ニ關スル事項ニ就キテハ内外國人ヲ別タス嚴ニ自國法ヲ適用スヘキモノトシ行爲ノ方式ハ之ヲ行フ國ノ法律ニ從ヒ裁判管轄及訴訟手續ハ判決ヲ爲ス國ノ法律ニ從フト定ムルノ類是レナリ是レ即チ國際私法ニシテ我カ邦ニ在リテハ法例ノ規定スル所ナリ刑罰法及刑事訴訟法ハ公安ニ關スル法律ナルカ故ニ國籍ノ如何ヲ問ハス國土内ノ有ラユル住民ニ對シテ適用スヘキコト勿論ナリ從テ犯罪人ハ其ノ犯罪ヲ行ヒタル地ニ於テ裁判セラルヘキモノナリ然レトモ或ル國カ其ノ國土内ニ於テ犯罪ヲ行ヒ他國ニ逃亡シタル者ノ引渡ヲ要求スルコトハ毫モ妨クアラサルナリ是ニ於テ犯罪人引渡ノ問題ヲ生ス犯罪人引渡ハ國家ノ自然

權ナルヤ將タ人定權ナルヤニ就キテ久シク學者間ニ論争アリタリト雖モ今日ノ實際ニ於テハ人定權ナリトスルノ說ニ定マレルモノ、如シ何トナレハ前世紀末以來各國大抵條約ヲ以テ此ノ事ヲ規定スルニ至リタレハナリ犯罪人引渡ニ關スル原則ノ要領ハ左ノ如シ

一、國家ハ決シテ自國ノ臣民ヲ引渡スコトナシ是レ其ノ自主及體面ヲ損傷スルヲ以テナリ

二、引渡ハ唯重罪常事犯人ニ就キテノミ行ハレ政事上ノ犯罪人及輕罪犯人ニハ通常之ヲ行ハス

三、引渡ハ刑ノ執行命令ヲ呈示スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス引渡ノ要求ハ先ツ裁判官カ必要ノ書類ヲ送付シタル後政府ヨリ政府ニ對シテ直接ニ之ヲ爲スヘキモノトス

四、引渡カ同時ニ數國ノ政府ヨリ要求セラレタルトキハ犯罪人ノ本國ニ引渡スヘキモノトス若シ犯罪人ノ本國カ其ノ中ニ在ラザルトキハ最重ノ犯罪ヲ理由トシテ要求シタル政府ニ引渡スヘキモノトス



五引渡ハ條約以前ノ犯罪ニ就キテモ行ハル、モノトス何トナレハ條約ハ單ニ引渡ノ手續ヲ定ムルニ過キスシテ條約ナシト雖モ引渡ハ尙ホ行ハルヘキモノナレハナリ

政事上ノ犯罪人ヲ引渡サルコトニ就キテハ久シキ以來學者間ニ論争アリシ所ナレトモ遂ニ一千八百八十三年白耳義ノ國法ニ於テ始メテ之ヲ確認スルコト、ナレリ此ニ一種ノ簡便ナル引渡アリソハ軍隊若クハ艦隊ノ逃亡者ノ引渡ナリ陸海軍ノ兵卒カ逃亡シタルトキハ司令官公使及領事ハ直ニ其ノ地方ノ官衙ニ對シテ逃亡者ノ逮捕引渡ヲ求ムルコトヲ得商船ノ水夫ニ就キテモ亦同シ

國家ハ一個ノ團體ナルカ故ニ其ノ獨立生存ニ必要ナル外物ヲ領有スルノ權利ヲ有ス之ヲ國家ノ領有權ト謂フ故ニ他國ハ一國カ其ノ領有物ヲ自由ニ使用スルコトヲ妨害スルコトヲ得ス國家領有權ノ結果トシテ國家ハ外國人ニ其ノ國土内ニ在ル不動産ノ所有ヲ禁シ及其ノ住居商業ノ經營ニ對シテ制限ヲ加フルコトヲ得ヘシ又外國軍隊ニ或ル地方ノ通行ヲ禁シ外國軍艦ニ暴風若クハ難破ノ場合ヲ除キテ或ル港灣ニ繫泊ヲ禁スルコトヲ得ヘシ然レトモ全ク外國人ヲ排斥シテ鎖

國ノ主義ヲ守ルコトヲ得ス且隣國ヨリ自然ニ流レ來ル水流ヲ受クルノ地役義務アリ他ニ通路ヲ有セサル國人ニ通行ヲ許與スルノ義務アリ又條約ヲ以テ一定ノ土地若クハ航行スヘキ河川ノ共同使用ヲ許シ又ハ自國ノ土地若クハ水上ノ使用權ヲ制限スルコトハ自由ナリトス例ヘハ一千八百八十一年ノ條約ヲ以テ米國カミシシツピー及センコトラン兩河ノ自由航行ヲ各國ニ許與シ一千八百十五年ノ條約ヲ以テ佛國カユニンダノ城堡ヲ毀壞シ一千八百五十六年ノ條約ヲ以テ魯國カ黑海ニ定數ノ艦隊以上ヲ設備セサルコトヲ約シタルノ類是レナリ

國家ノ領有權ハ外國ヲ排除シテ其ノ國土ヲ使用收益處分スルノ權利及其ノ國土ノ上ニ主權ヲ行使スルノ權利ヲ包含ス國家ノ公領私領及一私人ノ所有地ハ均シク其ノ版圖ニ屬ス之ヨリシテ戰爭及復仇ノ場合ニ於テハ一私人ノ財產カ反リテ國家ノ爲メニ責ヲ負フコトアリ國土及其ノ包藏物若クハ國土内ノ作業ハ悉ク國家ノ管轄ニ服スルヲ以テ原則トス然レトモ國家カ外國ニ有スル財產ハ其ノ所在地ノ主權ニ服從セサルヘカラス國家ノ版圖ハ土地及水澤ヨリ成ル住民アル土地ハ勿論無人未開ノ地及國境内ノ海水モ國家ノ版圖ニ屬シ其ノ天然及人工ノ產出